佛國新領地アルゼリニ於ケル行政
獨逸エルサス、ロートリンゲン制度要領
印度ノ行政及財政

77
172

佛國新領地アルゼリニ於ケル行政

目次

第一　アルゼリ行政史
第二　アルゼリ中央行政
第三　町村行政
一、完制町村
二、混制町村
三、土人町村
第四　土人行政
一、軍政地方
二、民政地方
第五　土人ノ國民分限
第六　租税

一、國稅
二、町村稅
三、土人稅

第七　土地所有權

アルゼリニ於ケル行政

アルゼリ行政史

第一期（千八百三十年七月五日ヨリ千八百三十四年七月二十二日ニ至ル）

千八百三十年七月五日佛國軍司令官トアルゼリ君主殿下トノ間ニ左ノ條約ヲ締結セリ

一　カスバ砲臺及アルゼニ屬セル總テノ砲臺並ニアルゼ港ハ本日午前十時（佛國時）ヲ以テ佛國軍隊ニ引渡スヘシ

二　佛國軍司令官ハアルゼリ君主殿下ニ對シ其ノ身體ノ自由及其ノ所屬財產ノ安全ナル所有ヲ保證ス

三　アルゼリ君主殿下ハ其ノ家族ト共ニ其ノ所有財產ヲ携有シテ其ノ欲スル所ニ退隱居住スルハ勝手タルヘシ若シアルゼリ領內ニ居住スルトキハ殿下及其ノ家族ト共ニ佛國軍司令官ノ保護ノ下ニ在ルヘシ又殿下及其ノ家族ノ保護トシテ一隊ノ護衛兵ヲ附スヘシ

四　佛國軍司令官ハ徵募ノ兵士ニ對シ同一ノ保護ヲ與フヘキコトヲ保證ス

回敎ノ信仰ハ自由タルヘシ各階級人民ノ自由、信敎所有權商工業ハ總テ從前ノ通リタルヘシ人

民ノ妻ハ決シテ辱シメラルヽコトナシ

佛國軍司令官ハ其ノ名譽ニ掛ケテ本條約ヲ締結ス

本條約ハ今朝十時前ニ之ヲ交換スヘシ佛國軍隊ハ交換濟ミタル後ハ直ニカスバニ入リ次テアルゼ府海陸砲臺ヲ占領スヘシ

千八百三十年七月五日

アルゼ府都外ノ營ニ於テ

ヒユセンパシヤ

ブールモン伯

(二) アルゼ府攻落ノ後佛國軍隊司令官ブールモン將軍ノ下ニ一ノ行政委員組織セラレタリ此ノ委員ハ司令官ノ權力ノ下ニ立チアルゼ府及占領地ノ假行政ニ任シ並ニ後日確立スヘキ行政組織ノ調査ヲ命セラレタリ

(三) 行政委員ノ就職後最モ先務トセシモノヽ一ハアルゼ府及其近傍ノ警察ヲ行フニアリタリ依テ千八百三十年七月十三日ノ命令ヲ以テ警察長官(中將相當)ヲ設置シ且土民ヲ以テ一ノ委員ヲ組織シ之ニ市會ノ名義ヲ以テ緊急必要ナル場合ニハ警察ノ事務ヲ幇助セシメタリ之カ爲ニ同年八月九

日ノ命令ヲ以テ府ノ爲ニ入府稅及鹽稅ヲ起シ之ヲ徵收スルコトヲ此ノ委員タル市會ニ許可シタリ

(四) グローゼ將軍ハブールモン將軍ニ代リ叛徒ノ征討ヲ行フト同時ニ行政組織ニ務メタリ將軍ハ西班牙軍以來老功經驗アル人ナリボーヌ、ヲラン、ブツブワリツク、ブリダ等ヲ攻落シ大ニ酋長チートリノ軍ヲ破リ遂ニメデアヲ占領シタリ而シテ民政ノ點ヨリ將軍ノ施設ヲ見レハ稅關ヲ設置シアルゼリ君主及國外追放ノ土耳古人ノ財產ヲ沒收シテ國ノ領有物トナシ(千八百三十年九月八日ノ命令)海上入市稅ヲ設施シタリ

將軍ハ又千八百三十年十月十六日ノ命令ヲ以テ行政事務ヲ三部ニ分割シテ之ヲ內務、司法、財務ノ三トナシ行政委員ヲシテ之カ事務ヲ分擔セシメタリ又豫算及決算ノ方式ヲ定メタリ

司法ニ關スル問題卽チ司法權ノ組織ハ實ニ占領地ニ於ケル最モ込ミ入リタル問題タリシ行政委員ハ假ニ此ノ問題ヲ決定シタリ其ノ決定ノ主義ハ投降條約ヲ尊敬スル爲ニハ土人裁判所ヲ保存セサル可ラス又回敎的ノ權利ノ安全ヲ保持シ歐洲人ノ保護ヲ保全セサル可ラスト云フニアリ

右等ノ主意ヨリシテ千八百三十年十月二十二日ノ命令ヲ發シ回敎人間ニ渉ル事件ハ回敎人裁判官ノ裁判ニ歸シ猶太人間ニ渉ルモノハ其ノ裁判官ニ裁判セシメ別ニ佛國裁判所ヲ設置シテ歐洲人間

ノ訴訟ヲ裁判シ輕罪裁判所ヲ設ケ輕罪及違警罪ヲ裁判シ土人ノ重罪ハ總テ軍法會議ニ於テ裁判シ歐洲人ノ重罪ハアルゼ裁判所ニ於テ豫審シタル後チ本國重罪裁判所ニ送付スルモノトセリ

（五）　内務大臣内閣議長カジミルペリエル氏ハ千八百三十一年十二月一日ノ勅令ヲ以テアルゼリ占領地政府ニ民政局ヲ設置シ各省ニ關スル事務ハ各省大臣ノ指揮命令ヲ受ケシメ又行政會議ヲ設置シタリ此ノ會議ノ議長ハ軍事總督之ニ當ルモノトス軍事總督ハクローゼル將軍ニ代リテベルトゼーヌ將軍之ヲ勤メタリ

（六）　ベルトゼーヌ將軍ハ軍事上ニ不幸ナリシノミナラス民政長官ト衝突ヲ來シテ其職ヲ全フセス其ノ結果ハ拿破崙一世ノ幕僚タリシロビゴ侯爵之ニ代リ又民政局ヲ廢スルニ至リタリ

（七）　爾後征討軍ヲ續クルト共ニ試驗的ノ行政ハ數々行ハレ所謂朝令暮改ノ有樣ヲ呈シタリ此ノ試驗的行政ノ結果ハ良否共ニ本國ノ輿論ヲ喚起シ政府ヲシテ速ニ改良策ヲ斷行セサルヲ得ザルニ至ラシメタリ是ニ於テカ總督ボワロル將軍ノ建議ニ依リ千八百三十三年七月七日ノ勅令ヲ以テ一ノ委員ヲ組織シ親シク實地ニ就テアルゼリ問題ヲ調査セシムル爲メアルゼリニ派出セシメタリ次テ千八百三十三年十二月十二日ノ勅令ヲ以テ更ニ委員ヲ組織シタリ此ノ委員ハ巴理ニ在リテアルゼリ派遣ノ委員ヨリ報告セル材料ニ付テ調査スベキコトヲ任セラレタリ

右二委員調査ノ結果ハ有名ナル千八百三十四年七月二十二日ノ勅令トナリテ發布セラレタリ此ノ勅令發布後ヲ以テアルゼリ行政史ノ第二期トス

第二期（千八百三十四年ヨリ千八百四十八年ニ至ル）

（八）　第二期ハテル地方ノ征伏トアブデルカデルノ猛烈ナル抵抗ノ時期ヲ云フ軍事上ヨリ觀ルトキハ第二期ハ實ニ赫々タル戰爭ヲ以テ印セラル

民政上ヨリ觀ルトキハ第二期ハ千八百三十年以來ノ占領地ヲ以テ征伏地ト改メタリ卽チ千八百三十四年七月二十二日ノ勅令ハ北亞非利加佛國領有地ノ總督ヲ設置シタリ此ノ總督ハエルロン將軍ヲ以テ之ニ任シ總テ文武ノ權限ヲ委任シタリ總督ノ下ニ民政長官、檢事長、兵站總監、財政長官ヲ置キ此ノ長官ヲ以テ行政高等會議ヲ組織セシムム

又同時ニアルゼリノ施政ハ總テ勅令ヲ以テ規定スヘキモノトナシ以テ法律ヲ以テ直接ニアルゼリノ政治ヲ規定スルコトヲ避ケシメタリ

千八百三十四年七月二十二日ノ勅令ハ左ノ如シ

第一條　北亞非利加ニ於ケル佛國領有地ニ於ケル軍事及民政ノ統轄ハ總督ニ委任セラル

第二條　總督ノ下ニ陸軍司令長官、海軍司令長官、檢事長、兵站總監、財政長官ヲ

置キ總督ノ指揮命令ヲ受テ各其ノ職權內ニ於テ軍政及民政ノ事務ニ任ス

第三條　總督ハ前條ノ職員ヲ以テ會議ヲ組織ス

總督ハ會議ニ於ケル問題ノ性質ニ依リ主任官吏ヲシテ出席討議ニ與ラシムルヲ得但シ表決ニ加フルコトヲ許サス

第四條　更ニ勅令ヲ以テ規定セラルヽマテハ北亞弗利加佛國領有地ニ於ケル事務ハ總テ勅令ヲ以テ支配セラルヘシ

第五條　總督ハ國ノ必要アリト認ムルトキハ會議ニ於テ勅令案ヲ議定シ之ヲ陸軍大臣ニ提出スヘシ

緊急ノ場合ニ於テハ總督ハ命令ヲ以テ假ニ前項勅令案ノ規定ヲ發布シ之ヲ施行スルヲ得

第六條　總督及會議ノ職權竝ニ行政組織裁判所ノ構成及財政ノ組織ハ特ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

陸海軍ノ行政ハ現行ノ法律及勅令ニ依ル

七月二十二日ノ勅令ハ千八百三十四年九月一日ノ勅令ヲ以テ補充セラレタリ九月一日ノ勅令ハ總督ノ權限及高等行政會議員タル各長官ノ權限ヲ定メタリ又同日ノ命令ヲ以テアルゼ府及新領地ノ

行政ヲ民政長官ニ委任シタリ

前項ノ命令ハヲラン府及ボーヌ府ニ於テ民政支局長ヲ設置シ其他軍隊占領ノ地方ニハ民政事務長ヲ設ケタリアルゼ府、ヲラン府及ボーヌ府ニハ民政局ト全ク經費ヲ異ニセル市政政廳ノ如キモノヲ組織シタリ

（九）　司法ノ組織ハ此ノ第二期ニ至リ著大ナル變更ヲ受ケタリ此ノ著大ナル改革ヲ司法制度上ニ及ホセシモノハ千八百三十四年八月十日ノ勅令トス此ノ勅令ハアルゼ府、ヲラン府及ボーヌ府ニ始審裁判所ヲ設ケアルゼ府ニ商法裁判所及高等裁判所ヲ置キ回教徒裁判所及猶太人裁判所ヲ從來ノ通リ存續スルヲ以テ要點トセリ此ノ勅令ノ制度ハ殖民ノ增進ト共ニ擴張セラレテ今日尙ホ未タ施行セラレツヽアルモノナリ

（十）　民政局長官ト總督トノ間ニ於テ數々起レル職權ノ衝突ハ其ノ結果トシテ民政局ノ廢止ヲ惹起セリ（千八百三十八年十月三十一日勅令）是レヨリ先キ此ノ衝突ヲ避クルカ爲メ民政局長官ノ權限ヲ增セシモ其ノ効ナカリシ（千八百三十六年八月二十六日勅令）

右ノ千八百三十八年十月三十一日ノ勅令ハ始テ北亞非利加征伏地ニ向テアルゼリノ名辭ヲ用ヰタリ而シテアルゼリニ向テ特別ナル制度ヲ制定セリ卽チアルゼリ行政府ニ內務局長、檢事長、財務

局長ヲ置キ總督ノ命令ノ下ニ於テ各々行政權ヲ分掌セシメタリ民政支局長ヲ廢シヲラン府及コンスタンチーヌ府ニ內務支局長ヲ設ケタリ又民政事務官及軍司令官ハ各地ノ必要ニ應シ又裁判官ノ不足アルトキ之ヲ補ハシムル爲ニ各地ニ設置シタリ千八百

各裁判所ヨリ十「キロメートル」以內ノ地方ニ於テハ民政事務官及軍司令官ヲシテ治安裁判官ノ總テノ權限ヲ與テ其職ヲ行ハシメタリ

（十一）千八百三十九年八月九日ノ勅令ヲ以テ財政制度上ニ大ナル進歩改良ヲ施サレタリ千八百三十年八月九日ノ勅令ヲ以テ始テ制定セラレタルアルゼ府ノ豫算ニ關スル規定ハ廢止セラレ各町村ノ租稅ハ總テ殖民地全體ノ經費ニ充テラレ各町村各其收支ノ計算ヲ爲スヲ得サルニ至レリ勅令ハ各種ノ租稅及國有財產ノ收入ハ本國及殖民地ニ分配シ其會計ハ會計檢查院ヲシテ監督セシムルモノト定メタリ

（十二）陸軍大將ブユジョーノ在任間ハ（千八百四十一年乃至千八百四十七年）アルゼリ殖民ノ最モ著明ナル時期ナリシ世人ノ以テシンシンナチユスニ比スルブユジョー將軍ハ左手兵力ヲ持シ右手文化ノ政治ヲ擴充シツヽ以テアルゼリヲ征伏セリ人民ヲシテ民兵ヲ組織シテ以テ自ラ兇徒ノ攻擊ヲ防衛スルコトヲ得セシメ之カ爲メ大ニ地方ノ平靜ヲ得タリ地方ノ平靜ハ大ニ商業農業ノ發達ヲ助ケ遂ニ農商業上保全ヲ與フノ必要ヨリシテ農商ノ保安ニ關スル本國ノ法律規則ヲ適用セサルヲ得サルニ至リタリ

千八百四十二年六月一日及十月十九日ノ勅令ハ登記規則、公證人規則、評價人規則ヲアルゼリニ施行シタリ次テ千八百四十二年二月二十六日及九月二十六日ノ勅令ヲ以テ裁判所ノ組織ヲ改正シ大ニ佛國裁判所ノ組織ト近似セシメタリ卽チ治安裁判所、民事裁判所、商事裁判所、輕罪裁判所及控訴院ヲ設置シタリ又同時ニ司法省令ヲ以テ辯護士、代訟人、公證人等ニ關スル規定ヲ發シタリ又千八百四十三年四月十六日ノ勅令ハ民事訴訟法ヲアルゼリニ公布シタリ

土人ニ對スル政治ハブユジョー將軍ノ最モ熱心ヲ注キシ所ナリ千八百三十七年ニ創立セラレシ總領事ベリシヱ氏ノ管理セシ亞剌比人局ヲ三州ニ分置シタリ而シテ各軍區ニ於ケル亞剌比人ニ關スル事務ハ之ヲ軍區ノ中央ニ集メ軍區ノ上長官ヲシテ管掌セシメタリ

此時ヨリ民事裁判所ノ設置アル土地ニ於テハ回教徒裁判所ハ佛國法律ヲ以テ罰セラレタル重罪及輕罪ノ刑ヲ宣告スルノ權ヲ失フモノト定メラレタリ又民政ノ未タ施行セラレサル地方ノ人民ハ軍法會議ヲ以テ支配セラルヘキモノト定メラル（千八百四十一年二月二十八日及二十六日ノ勅令）

（十三）アルゼリ行政史第二期ノ最モ著シキモノハ千八百四十五年四月十五日ノ勅令トス本勅令

ハ是マテナキ精密ヲ以テ總督ノ權限ヲ定メ又行政區畫ヲ三州ニ分割シタリ此ノ三州ハ征伏以來實際上ニ存立セシ行政區ナリトス

本勅令ハ地方ヲ殖民地方即チ民政地方並ニ混制地方ノ三部ニ分チ各部ニ依テ各施政ノ方向ヲ異ニシタリ民政地方及混制地方ニ於テハ郡村ノ團體ヲ組成シ軍政地方ハ之ヲ四部ニ區畫シタリ總テ此等ノ地ハ陸軍大臣ノ所管ニ歸シ而シテ亞剌比人ノ部落ハ何レノ地ニアルヲ問ハス總テ軍政ノ下ニ立ツモノトス

本勅令ノ大體ニ付テ之ヲ見ルトキハ本勅令ハ總テノ權利ヲアルゼ府ノ中央政廳ニ集ムルヲ以テ大旨トセリ總督ハアルゼ府ニアリテ民政局長官、內務及土木局長官、商業及財務局長官ヲ指揮シ及行政會議ノ意見ヲ聞キ以テ政令ヲ全領地ニ及ホセリ

地方ノ行政ニ付テハ千八百四十五年四月十五日ノ勅令ハ地方ヲ分テ郡市村部落トナシ各行政區ニ民政支ノミ其行政ハ總テ中央府ノ監督ニ歸セリ本勅令ハ局長、民政事務官、邑長及部落長ヲ設置セリ

（十四）此ノ如ク甚タシク中央集權制ヲ行ヒシモ千八百四十七年九月一日ノ勅令ヲ以テ各町村ニ法人ノ資格ヲ與ヘ千八百四十八年一月三十一日度ヲ緩和シタリブユジヨー將軍ノ後ヲ承ケタルチーマル侯爵ハ千八百四十七年九月一日ノ勅令ヲ以テヲラン府及コンスタンチーヌ府民政長官ヲ設ケ中央政廳ノ內務及財政局ヲ廢止シタリ次テ千八百四十七年九月二十八日ノ勅令ヲ以テ各町村ニ法人ノ資格ヲ與ヘ千八百四十八年一月三十一日ノ勅令ハ最モ必要ナル六大府ニ完全ナル市ノ權利ヲ付與シタリ六大府ハアルゼ府ブリダ府ヲラン府モスダガナン府コンスタンチーヌ府及ボーヌ府是ナリ

第三期（千八百四十八年ヨリ千八百五十一年ニ至ル）

（十五）千八百四十八年ノ佛國革命ハアルゼリ施政ノ制度上ニ大ナル變革ヲ及サヽルヲ得サリシ」佛國ノ假政府ハ革命ノ始ニ際シテハ海外領地ノ行政ニ手ヲ着クルノ暇ヲ有セサリシ其ノアルゼリノ施政ニ手ヲ着ケシハ唯タ奴隸廢止ヲ宣言スルニ止リタリ然ヒ亞非利加遠征軍ノ一卒タリシカベニヤック將軍カ共和政治ノ行政首長ノ職ニ就キシヨリ彼ノ亞非利加ニ於ケル實歷ト其ノ行政上ノ材幹トハ自由主義ノ改革ヲ大ニアルゼリ施政上ニ及サシメタリ

千八百四十八年八月十六日ノ勅令ハ民政地方ヲ總テ町村制度ニ組織シ町村會議員ノ選擧權ヲ與ヘタリ又教育事務ハ之ヲ陸軍省ノ所管ヲ脫セシメ宗教、司法、關稅、登記及國有財產ノ管理ノ事務ハ自ラ之ヲ主管ノ各省ニ歸セシメ同時ニアルゼ府大學及中學ヲ創設シタリ（千八百四十八年九月二十一日及十月六日勅令）

（十六）第三期ニ於テ最モ著明ナルモノハ千八百四十八年十一月四日ノ憲法第百九條ヲ以テアルゼリノ土地ヲ以テ之ヲ佛國領土ト宣言シ從來此ノ地方ノ施政ハ總テ勅令ヲ以テ規定セシモノヲ爾後特別法律ヲ以テスヘキモノト改メタルニアリ

右ノ宣言ヨリシテ千八百四十八年十二月九日ノ命令ヲ以テ民政地方ヲ分テ三縣トナシ縣ヲ分テ郡町村ト爲シ以テ本國ノ各縣ト同一ノ制度ノ下ニ支配セラルヘキモノト定メタリ右ノ縣郡町村ニハ知事、郡長、町村長ヲ置キ而シテ未タ町村制度ノ施行ニ適セサル地方ニハ民政事務官ヲ設置シ又縣ニ縣參事會及選擧的縣會ヲ設置シタリ

縣廳ノ組織ハ本國ト同一ノ制度ニシテ縣ノ歳入歳出ハ豫算ヲ以テ定メラル知事ハ一般ノ行政ニ付テハ陸軍大臣ニ直隷シ各省所管ノ事務ニ付テハ各省大臣ノ指揮監督ヲ受ケサル可ラス

軍政地方ニ於テハ總督ノ指揮命令ヲ受テ師團又ハ旅團長之カ行政ヲ管掌ス之ヲ要スルニ總督ノ權限ハ從來ヨリ見レハ余程縮少セラレ高等行政ニ付テハ行政會議主動力ヲ有スルニ至リタリ故ニ總督ハ事實上軍事總督且ツ軍政地方ノ行政長官タルニ止ルニ至レリ

（十七）右ノ有名ナル勅令ハ千八百四十八年十二月十六日ノ規則ヲ以テ補定セラレタリ此ノ勅令及規則ハカペニヤックカ共和國行政主長ノ在職中ニ發シタル著明ナルモノナリシト雖トモ十分ナ

ル實行ヲ見ルコトヲ得サリシ何トナレハ縣會ハ組織セレラス町村會ハ全ク行政權ヨリ任命セラレタレハナリ

（十八）憲法第四條ノ精神ヲ遵守スル爲ニ國民議會ハ委員ヲ設置シアルゼリニ於ケル施政ノ制度ヲ組織スヘキ特別法律ヲ調査スヘキコトヲ命シタリ

右ノ委員ハ千八百四十八年及千八百四十九年ヲ全ク調査ノ爲ニ費シ千八百五十年ノ末ニ至リ大部ナル報告トアルゼリ制度ノ草案ヲ呈出シタリ報告及草案共ニ精確適實其ノ注意ノ周到ナリシコトハ何人モ確認スル所ナリ世ノ進歩ト共ニ多クノ變遷ヲ經過シタリト雖モ其ノ委員ノ調査ハ今日尚ホ其ノ好果ヲ有スルコトヲ失セサルナリ不幸ニシテ此報告中千八百五十一年ノ議院ニ於テ討議ニ付セラレシモノハ僅ニ三件ニ過キサリシ

右調査ノ結果ニシテ第一ニ發表セラレタルハ商業及關稅ニ關スル千八百五十一年一月十一日ノ法律トス此ノ法律ハ天產物及製作品ノ佛國及アルゼリ間ニ於ケル貿易ヲ自由ナラシメタリ之ニ次ク

ヲ所有權ノ確立ニ關スル千八百五十一年六月十五日ノ法律トス本法律ノ規定中今日尚ホ實施セラレツヽアルモノ甚タ多シトス本法律ハ國有、縣有、町村有財產ノ區別ヲ定メ私有財產ニ付テハ佛國人タルト土人タルトヲ問ハス其ノ侵スヘカラサルコトヲ確認シタリ而テ土人ノ私有財產ニ付テ

ハ其ノ權利移轉ノ不明ヲ避ケシムル爲メ特別ナル規定ヲ設ケタリ鑛業ニ關シテハ本法律ハ總テ本國法律ヲ適用スルモノタルコトヲ定メタリ第二ニ發布セラレタルモノハ千八百五十一年八月四日ノ法律トス此ノ法律ニ依テアルゼリ銀行ハ始テ創置セラレタリ

加之ノミナラス調査委員ハ本國實施ノ法律ニシテ從來政府カアルゼリニ施行スルニ付テ躊躇セシモノヲアルゼリニ施行スルノ必要ヲ促シタリ故ニ救恤濟貧課ハ設置セラレ（千八百四十九年七月十三日）特許法（千八百五十年十一月二十二日）商業會議所法（千八百五十一年一月二十日）墓地法（千八百四十一年五月二十四日）醫業及藥劑業ニ關スル法（千八百五十一年七月十二日）及商品賣買上不正取締法（千八百五十一年九月十四日）ハアルゼリニ施行セラルヽモノト定メラレタリ

（十九）此ノ時期ノ間ニ叛徒ノ征討モ困難ヲ感ス砂漠附近ノ地マテ進メラレタリ是ニ於テカアルゼリモ稍々鎭定ニ歸シアルゼリモ將ニ十分繁盛ノ地ニ達セントセリ之ヲ第三期ノ終リ第四期ノ始トス

第四期（千八百五十一年ヨリ千八百五十八年ニ至ル）

（二十）十二月二日ノ「クーデタ」ニ向テハアルゼリハ歡迎ノ意ヲ表セサリシアルゼリ人民ハ「クーデタ」ノ結果トシテ專制政治ノ來ランコトヲ痛ク恐レタリ而シテ亞非利加軍隊ハ曾テ其將官トシテ多クノ戰功ヲ奏シタリシラモリシユール將軍、ブドー將軍、シヤンガルニエー將軍及カベニヤク將軍カ相次テ警吏ニ捕縛セラレタルヲ聞キ皆ナ驚愕セサルモノナカリキ然レトモ幸ニシテ殖民事務長官ノ注意ト寬大トニ依リブユジヨー將軍ニ依リ及共和政府ニ依テ從來施行セラレタル進步的ノ事業ハ一モ退步ノ運命ニ遭遇セサリシ

（二十一）第四期ハ終始ランドン大將ノ政府ナリシ此ノ第四期ニ於テハ全般ノ行政ニ付テ法令上大ナル變更ヲ見スト雖モ其ノ行政ノ事實ニ至リテハ大ナル變更ヲ生スルヲ見タリ從來アルゼリノ施政ハ主トシテ軍隊政治ニシテ軍隊司令官ニ依テ行政セラルヽヨリモ單ニ支配セラルヽノ有樣ニ過キサリシ軍隊司令官中獨リ民政ニ留意セシハブユジヨー將軍ノミニシテ將軍ハ實ニ右手劍ヲ提ケ左手耒耜ヲ携ヘタルノ人ナリ然ルニ不幸ニシテ叛徒ノ勢猖獗ニシテ將軍ヲシテ殖民事業ニ對スル其ノ創業的ノ大材ヲ十分ニ振フコトヲ得サラシメタリ

ランドン將軍ハ一武人ニ過キスト雖モ殖民制度ハ軍政的ナラスシテ民政的ナラサル可ラサルモノト確信シタリ是ニ於テ一方ニハ萬里遠征本國ノ爲ニ其ノ血ヲ濺クコトヲ避ケサリシ軍隊ノ歡心ヲ失セサルコトヲ勉メ一方ニハ民政ヲ擴張スルコトヲ熱心ニ務メタリ將軍ハ殖民政治ノ發達ニ補ア

ルモノハ取テ行ハサルモノナク就中道路交通ノ便ヲ開キ土木事業ヲ起シタリ其ノ道路ノ如キハ過半ハ軍隊ヲシテ之ヲ修築セシメタリ

第四期ハ前ニ述ヘタル如ク法制ノ時期ヨリモ寧ロ實施ノ時期タリシト雖モ亦行政ニ關スル法制ノ發布ナカリシニアラサルナリ其ノ發布セラレタル法制ハ第一ハ千八百五十一年ノ制定ニ係ル農商會議所ヲ本國ノ農商會議所ト同一ノ規定ニ從ハシメタルモノ、第二アルゼリ征伏以來公有、私有ノ混合セシ財產ヲ分割セシモノ、第三重罪裁判所ノ設置ニ係ルモノ、但シ陪審ノ制ヲ取ラス同時ニ治安裁判所ノ制度ヲ擴充シタリ、第四千八百五十二年三月二十五日ノ勅令ヲ以テ確立セラレタル佛國地方分權ノ制度ハアルゼリニモ適用スルモノト定メラレタリ

第四期ニ於テアルゼリノ征討ハ全ク其ノ功ヲ終リタリ

第五期（千八百五十八年六月二十四日ヨリ千八百六十年十一月二十四日ニ至ル）

（二十二）第五期ニ於ケル行政ハアルゼリノ制度ヲ本國ノ制度ト近遜セシムル目的ヨリ成レル法制ノ施行セラレタル時期ナリトス

千八百五十八年六月二十四日ノ勅令ヲ以テアルゼリ及殖民省ヲ設置セラレタリ拿破崙三世ノ皇姻ゼローム、ナポレヲン其ノ大臣ニ任セラレランドン大將總督ノ任ヲ退キタリ

千八百五十八年八月三十一日ノ勅令ハ行政委員及書記官長ハ廢止セラレナポレヲン親王ハ巴里ニ居リテアルゼリノ行政ヲ施セリ

然ルニ人民ノ一揆暴動ヲ防禦スルノ必要ヨリシテ軍司令官ハ之ヲ存シ以テ緊急ノ場合ニ當リ非常權ヲ行ハシムルコトヽセリ

（二十三）此ノ第五期施政ノ方針ハ其結果トシテ知事ノ權力ヲ擴張セザル可ラサルニ至レリ千八百五十二年ノ地方分權ノ制度ハ千八百五十八年十月二十七日ノ命令ヲ以テアルゼリニ適用スルモノト定メラレタリ加之ノミナラス各州ニ州會ヲ設ケ總テ民政地方及軍政地方ノ事務ヲ議セシメタリ而シテ其重ナル職權ハ州ノ豫算議定權ニ在リ然ルニ州會議員ハ選擧ヨリ成ルニアラスシテ皇帝ノ勅命スル所ナリ

各州駐在軍隊ノ司令將官ハ之ヲ軍區司令官ト稱シ軍政地方ニ於テハ知事ノ職ヲ行ハシメ而テ其下ニ民政會議ヲ設ケ民政地方ニ於ケル州參事會ノ職ヲ行ハシム

（二十三）殖民省設置以來殖民大臣ノ最先ニ計畫セシモノハ佛人及土人ニ對スル裁判制度ノ改良ナリ此ノ改正制度ハ控訴院ノ組織ヲ全ク本國ト同樣ナラシメ又回教徒裁判所ヲ改良シ其ノ裁判官ノ職權ヲ治安裁判官ノ職權ト同樣ナラシメ土人ヲシテ場合ニ依リ佛國民事裁判所又ハ控訴院ニ控

訴スルコトヲ得セシメタリ又土人間ノ事件ト雖モ双方ノ合意ニ依ルトキハ佛國裁判所ニテ裁判スルコトヲ得ルモノト定メラレタリ

（二十四）部落ノ土人ハ國庫又ハ部落ニ對シテ負債ナキコトヲ證明スルトキハ官ノ許可ヲ得テ民政地方ニ轉住スルコトヲ得セシメタリ又千八百五十八年八月二十五日ノ命令ヲ以テ其ノ部落ヲ去テ民政地方ニ來住スルモノハ租稅ヲ免除シテ之ヲ奬勵シタリ然ルニ此ノ奬勵法ハ共ニ著シキ効果ヲ奏セサリシ

千八百五十九年二月十七日ノ勅令ハ軍政地方ニ於ケル和解ノ自由ヲ許シ又千八百五十八年十一月二十四日ノ命令ハ部落ニ於テ犯サレタル犯罪ハ其部落ヲシテ連帶責任ヲ負ハシムル規定ヲ廢止シタリ此ノ二令ハ大ナル感動ヲ生セシメタリ

（二十五）右ノ二勅令ハ大ニ世論ノ非難ヲ來シ其ノ反對ノ甚シキ遂ニナポレヲン親王ヲシテ殖民大臣ノ職ヲ退カシムルニ至リタリ

次デシヤスルーローバ殖民大臣トナリ只管世論ノ沸騰ヲ緩和スルコトヲ務メタルモ其ノ効ヲ見ス彼ハ就職以來著大ナル施設ヲ爲サス唯タ農商ノ事業ニ付テ計畫ヲ爲シタルニ過キス彼ハ行政權ヲ巴里ニ集中シ行政事務ヲ全ク巴里ニ移シアルゼリヲシテ其ノ政府ヨリ大ニ遠カラシメ而テ其施政

ハ總テ干渉ニ過キタリシヲ以テアルゼリノ行政ハ却テ益〻澁滯不振ヲ來スニ至リタリ「統治ハ遠クヨリ爲スヲ得ルハ行政ハ近接セサレハ能ハス」トノ金言ハ此ニ至テ其ノ至言タルヲ顯ハセリ然ルニ知事ノ職權ヲ增加シタルハ稍〻中央集權ノ弊ヲ救濟スルヲ得タリ千八百五十八年十二月四日アルゼリ及殖民省ハ遂ニ廢止セラレタリ

第六期（千八百六十年十一月二十四日ヨリ千八百七十一年九月四日ニ至ル）

（二十六）アルゼリ省ヲ廢シ總督制度ヲ復舊シタルヲ以テ各般ノ施設ハ陸軍大臣ノ指揮命令ノ下ニ立テル千八百五十二年乃至千八百五十八年ノ總督政治ノ有樣ニ立チ歸ラサルヲ得サルニ至リタリ故ニ千八百六十年十一月二十四日ノ勅令ハアルゼリ行政事務ニ關セシ舊人員ハ總テ之ヲ巴里ヨリアルゼリニ移シ巴里政府ニハ陸軍大臣ノ所管ノ下ニ單ニ簡易ナル一ノアリゼリ行政事務課ヲ置クニ止メタリ

（二十七）皇帝奈破崙三世ハ親シクアルゼリニ至リ實際ヲ觀察シテ以テ同地ニ於ケル施政ノ方針ヲ確定スルノ必要アリト信シ千八百六十四年盛大ナル儀式ヲ以テ始テアルゼリニ旅行シタリ實地觀察ノ結果ヨリシテ拿破崙三世ハアルゼリヲ以テ佛國ニ屬隷セル一ノ王國ト爲スヘキモノト其ノ意見ヲ定メタリ爾後政府ノ方針ハアルゼリニ他ノ殖民地ト同一ノ政事ヲ施行スルコトヲ廢止スル

ニ傾向セリ拿破崙三世ノ旅行ハ實ニアルゼリノ爲ニ不幸ノ結果ヲ生シタルモノト云ハサル可ラス」

過半ノ亞剌比部落ノ占領セル廣漠ナル土地ハ回教ノ法律ニ從フトキハ政府ノ占有ニシテ部落人民ハ政府ノ土地ノ賃借人ニ過キサルナリ然ルニ奈破崙三世ハ此土地ヲ彼等ノ私有ニ歸セシメント欲シ千八百六十八年四月十二日ノ元老院令ヲ議定セシメタリ此ノ元老院令ハ部落ノ享有セシ土地ニ於ケル權利ヲ部落ノ所有權ト確認シタリ

同時ニ拿破崙三世ハ千八百六十四年七月七日ノ勅令ニ依リ土人ノ支配ハ從來領土主義ナリシヲ之ヲ屬人主義ト改メタリ卽チ何ノ處ニ在ルヲ問ハス土人ハ總テ軍政ヲ以テ支配シ佛國人ハ總テ民政ノ下ニ立タシメタリ

千八百六十五年拿破崙三世ノ再ヒアルゼリニ旅行シテ歸國スルヤ益々其ノ前說ヲ確執シ其ノ意見ハ其ノ有名ナル書翰ニ依テ發表セラレタリ

右等ノ事情ヨリシテ第六期ニ於テアルゼリ殖民事業ノ發達ニ向テハ何ノ施設モ見サルナリ然ヒアルゼリニ於ケル社會ノ進歩ハ實ニ較着ナリシ是レ全ク人民ノ事業心ト奮勵心ノ發達ニ依ルモノニシテ政府ノ關渉羈勵ノ然ラシムルモノニアラサルナリ

（二十八）此ノ第六期ニ發布セラレタル法令ハ千八百六十五年七月十四日ノ元老院令ニシテ人民

ノ身分ニ關スルモノト外國人及亞剌比人ノ歸化ヲ簡易ナラシメタルモノナリ

元老院令ハ左ノ如シ

身分及歸化ニ關スル元老院令

第一條　回教土人ハ佛國人民トス但シ彼等ハ回教法律ニ依テ支配セラルヘシ又アルゼリニ於ケル文官ニ任セラルヽコトヲ得ヘシ」

回教土人ハ陸海軍人タルコトヲ許サルヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ彼等ハ佛國ノ公法私法ノ下ニ支配セラレサル可ラス

第二條　廢止

第三條　外國人ニシテ三年以上アルゼリニ居住セシコトヲ證明スルモノハ佛蘭西人ノ公民權ノ享有ヲ許可セラルヽコトヲ得

第四條　滿二十五歲以上ニアラサレハ本令第一條第二條及第三條ニ依テ佛國公民權ヲ得有スル能ハサルモノトス

第五條　左ノ事項ハ行政命令ヲ以テ規定スヘシ

一　陸海軍兵役ニ回教土人及猶太教人ヲ採用スルコト、及其ノ勤務進級ニ關スルコト

二　土人ノ任用シ得ラルヘキ文事ノ官職ヲ指定スルコト

三　本令第一條第二條及第三條ノ規定スル許可ノ手續ヲ定ムルコト

（二十九）身分及歸化ニ關スル元老院令第五條ニ依リ行政命令ヲ以テ左ノ施行細則ヲ定メタリ（千八百六十六年四月二十一日）

第一章　陸海軍兵役ニアルゼリ土人ヲ採用スルコト及其勤務及進級

第一條　アルゼリ土民軍ハ佛國軍隊ノ一部トス土民軍ハ佛國陸軍隊ノ現員ニ算ス

第二條　土民軍ハ志願者ヨリ徵募ス

第三條　土民軍ヲ志願スル土人ハ左ノ條件ヲ備フルヲ要ス

一、十七歲以上三十三歲以下ニシテ身長一「メートル」五十「サンチメートル」以上ノ者

二　身體强壯兵役ニ堪フルニ足ル者

三　品行端正、佛國軍隊ノ勤務ニ當ルニ適當ナル者

第四條　年齡ノ計算ハアルゼリ慣用ノ算定法ニ依ル品行ノ認定ハ其ノ土人所轄ノ亞剌比局ノ上申ニ基キ土民軍司令官之ヲ決ス

第五條　服役年限ハ四年トス之ヲ採用スルトキハ土民軍士官又ハ下士官二人及通譯官一人立會

ノ上兵站副監之ヲ命ス

土民軍ハ給料ヲ受ク其ノ額ハ總督ノ上申ニ依テ陸軍大臣毎年之ヲ定ム其ノ給料ノ一半ハ採用ノ月其ノ一半ハ二年後ニ之ヲ支給ス通譯官ハ志願者ニ服務ノ條規ヲ說示シ之ヲ遵奉スヘキコトヲ回教々典ニ誓テ約セシム

第六條　服役年限ノ盡クル三ケ月以前ニ於テ志願ノ上陸軍會議ノ許可ヲ得ルトキハ土民軍又ハ佛國軍隊ノ再役ニ就クコトヲ得

第七條　土民軍兵ノ進級ハ千八百三十二年四月十五日ノ法律ニ依リ拔擢ヲ以テス

第八條　左ノ法令ハ土民軍兵ニ適用スヘキモノトス

一　陸軍刑法及他ノ紀律及服務ニ關スル法令

二　將校ノ身分ニ關スル千八百三十四年五月十九日法律

三　寡婦孤兒ノ恩給扶助ニ關スル法律但シ佛國民法ニ依レル婚姻ヲ行フタルモノニ限ル

第二章　海軍ニ於ケル採用勤務及進級

第九條　海軍ニ於ケル土民水兵ノ採用勤務進級ハ陸軍ニ同シ云々

第三章　文官ノ任用

第十條　回教土人ハ佛國公民權ヲ得有シタル後ニアラサレハ本令ニ列記セルモノヽ外他ノ官職ニ就クコトヲ得ス

文官ニ任用セラレタル土人ハ佛國文官ト同シク恩給法ニ依テ支配セラル但シ其ノ寡婦ノ扶助料ハ佛國民法ニ依レル婚姻ヲ行フタルモノニアラサレハ之ヲ受クルヲ得ス

第四章　土民ノ歸化

第十一條　回教人及猶太人ニシテ千八百六十五年七月十四日ノ元老院令第一條及第二條ニ依リ佛國公民權ヲ得有セントスル者ハ其ノ本籍ノ邑長又ハ其ノ住居地所轄ノ亞剌比局長ノ面前ニ出頭シテ佛國公法及私法ノ支配ヲ受ケタキ旨ヲ宣告シ並ニ其ノ請求ヲ爲スヘシ此ノ宣言及請求ハ之ヲ調書ニ記入スヘシ

第十二條　邑長又ハ亞剌比局長ハ其ノ願人ノ祖先及品行ノ取調ヲ爲シ其ノ結果ハ宣言及請求ヲ記入セル調書ト共ニ州ノ軍司令官ニ出シ司令官ハ其ノ意見ヲ付シ總テノ書類ヲアルゼリ總督ニ送附スヘシ

第十三條　總督ハ之ヲ司法大臣ニ送付シ司法大臣ハ參事院ノ意見ヲ聞キ之カ決定ヲ爲ス

第十四條　前條ノ願人軍隊ノ服役中ニアル者ナルトキハ第十一條ノ調書ハ其ノ所屬司令官又ハ

士官之ヲ調製シ其ノ兵役勤務上ノ狀況書及其ノ品行證明書ト共ニ之ヲ州ノ軍司令官ニ送付スルモノトス

第五章　アルゼリニ住スル外國人ノ歸化

第十五條　アルゼリニ住スル外國人ニシテ佛國公民ノ資格ヲ得ント欲スル者ハ其ノ他ノ邑長亦ハ歸化取扱官吏ニ其ノ請求ヲ爲スヘシ其ノ請求アリタルトキハ調書ヲ作ルヘシ

第十六條　外國人前條ノ請求ヲ爲ストキハ其ノ現ニアルゼリニ住シ且三年以上アルゼリニ居住セシ證明書ヲ呈出スヘシ此證明書ハ官廳ノ證明ニ係ルモノタルヘシ若シ官廳ノ證明ナキトキハ證人四人ノ證言ニ依リ其ノ地ノ治安判事ノ作リタル公正證書ヲ以テスヘシ

第十七條　外國人ノアルゼリニ於テ佛國軍隊中ニ於テ經過シタル年限ハ前條ノ居住年限ニ算スルモノトス

第十八條　外國人歸化ノ請求アリタル場合ニハ本令第十二條第十三條及第十四條ノ手續ニ依ル

第六章　通則

第十九條　回教土人、猶太人及アルゼリニ住スル外國人ハ滿二十一歲以上ニアラサレハ本令第十一條及第十五條ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス此ノ年齡ハ出生證書ヲ以テ證明スヘシ出生證書ナ

キトキハ證人四人ノ證言ニ依リ外國人ナルトキハ其ノ地ノ治安判事、土人ナルトキハ其ノ地ノ回教人裁判官ニ依テ作ラレタル公正證書ヲ以テスヘシ

第二十條　佛國公民タルコトヲ許可セラレタル土人又ハ外國人ノ登記稅ハ一「フラン」ト定ム

第七期（千八百七十年ヨリ千八百八十二年ニ至ル）

（二十九）第七期ハ進歩事業ノ多望ナル時期ナリ

拿破崙三世ハ充分其ノ意見ヲアルゼリニ斷行セザリシモ其ノ意見ニ付テハ自由主義ノ大ナル反對ヲ惹起シタリ亞剌比王國ヲ建設セントスル空想ニ向テハ世論ハ殖民ノ必要及經濟上ノ利益ヨリシテ之ヲ攻擊シタリ當時ノ大家プレボストパラドル氏ハ書ヲ著シアルゼリハ以テ佛國ヲ擴大ニスル地ト爲サヽル可カラサルコトヲ論セリ其ノ書ノ一節ニ曰ク亞弗利加ハ印度ノ英國ニ於ケルカ如キモノト爲ス可カラス又單ニ我軍隊ノ戰場又ハ練兵場タルニ止ラシム可ラス彼ハ實ニ佛國ノ壤地ナリ速ニ佛人ヲ以テ充タシ佛人ヲ以テ領有シ佛人ヲ以テ開拓セサル可ラスト此ノ意見ハ大ニ世論ノ同意ヲ得議院ハ實地調査委員ヲ選定シテ之カ調査ニ從事セシメタリ調査ノ結果ハ千八百七十年五月三十一日ノ勅令トナリ知事ヲシテ總督ノ隷屬ヲ脫シテ獨立セシメ又軍政地方ニ於ケル州軍司令官ノ民政上ノ權力ヲ減殺シタリ

（三十）千八百七十年ノ國難ハアルゼリノ行政ニ充分ノ力ヲ盡スノ餘地ナカラシメタリ然ヒ政府ハ軍政總督制度ヲ廢シテ民政總督制度ヲ施設シタリ又テル地方ヲ總テ民政地方ト定メタリ然ヒ同地方ノ事情ハ純然タル民政ノ施行ヲ許サヽルモノアリ故ニ此ノ改革ハ充分ノ實施ヲ見スシテ終ルアルセリニ在ル猶太人ヲ總テ佛國公民ト宣言シタリ

（三十一）千八百七十年ノ國難ニ際スルヤアルゼリ府及コンスタンチーヌ府ノ土人蜂起シテ叛旗ヲ上ケ以テ佛國ニ抗シタリ回教ノ大教主エルモクラニ叛徒ノ主領トナリ激烈ナル抵抗ヲ試ミタリ叛徒ノ鎭定スルヤアルゼリハ自力ヲ以テ兵火ニ罹リタル建物ノ回復及戰爭ヨリ生シタル損害ノ修覆ヲ負擔シ得タリ

現今ノアルゼリ行政制度ハ其ノ商業及殖民事業ノ上ニ有力ナル働ヲ與ヘタリ故ニアルゼリヲシテ佛國ノ壤土ト同一ノ狀況ヲ呈セシムルニ至ルコトハ決シテ遠キニアラサルナリ

第二　アルゼリ中央行政

（三十三）アルゼリハ戰捷ノ權利ニ依テ佛國ノ有トナル抑モ戰敗國ハ戰勝軍ノ單純ナル占領ニ依テ其ノ國籍ヲ失ヒ其ノ法律ハ滅スルモノニアラス支配者ノ變スルモ其ノ國ノ法制ハ消滅セサルコトハ國際公法及慣例ノ確認スル所ナリ（戰勝軍カ占領地ノ行政權ヲ行フモ其國ノ法制ハ消滅セサルナリ）然ヒ占領セラレタル地域カ戰勝國ノ附屬國又ハ領有國トナリタルトキハ戰勝國ノ現行法令ハ總テ戰敗國ニ向テ遵由ノ効力ヲ生ス但シ戰勝國ノ權利ヲ認ムル條約又ハ他ノ文書ヲ以テ例外ヲ設ケタルモノハ此ノ限ニアラズ

（三十四）アルゼリノ占領地域カ佛國ノ領有トナリタルハ千八百三十四年ニアリ故ニ此ノ時以後ハ國際法ノ原則ニ依テ佛國ノ法令ハ總テアルゼリノ法令トナル即チ此ノ時以前ニ佛國ニ於テ發布セラレタル總テノ法令ハ領有ノ宣言アリタル一事ヲ以テアルゼリニ公布セラレタルモノトナリタリ

然ヒ千八百三十年ノ憲法ニ依テ發布セラレタル千八百三十三年四月二十四日ノ法律ハ東印度及亞非利加ニ於ケル佛國領地ハ國王ノ勅令ヲ以テ支配スヘキコトヲ規定セリ故ニ千八百三十四年ニ於テアルゼリヲ佛國ノ領地ト宣言シタルコトハ二ノ結果ヲ生シタリ第一ハ當時佛國ニ成リ立チシ總テノ法令ヲシテアルゼリニ遵由ノ効力ヲ有セシメタルコト、第二ハ將來アルゼリノ行政ハ特別ナル勅令ヲ以テ施行セラルヘキコト是ナリ故ニ此ノ時以後ニ於テ佛國ニ於テ發布セラルヽ法律ハ特ニ之ヲアルゼリニ適用スルコトヲ宣言セラレサレハアルゼリニ向テ其ノ施行ノ効力ヲ有スルコト能ハサルモノトナレリ

（三十五）行政史ニ於テ略述シタル如クアルゼリハ或ハ占領地トナリ或ハ殖民地トナリ或ハ海外ニ於ケル郡縣地トナリ或ハ亞剌比王國ノ如クナリテ其行政ハ種々ノ變遷ヲ經過シ來リタリ故ニ其ノ始ヨリ施行セラレタル多クノ法令ハ依テ以テ一種特別ノ組織ヲアルゼリニ與ヘタリ然ヒアルゼリヲ以テ內地ト同一ノ狀況ニ進マシメントスル傾向ハ征伏ノ當日ヨリ今日ニ至ルマテ未タ曾テ休止セサルナリ

中央行政組織ハ屢々變更シ其政權ハ時トシテハ巴里ニ集中シ時トシテハ巴里ヨリアルゼリニ移リ一ニ當時政治家各自ノ意見ニ依テ改正變更ヲ企テラレタリ

（三十六）アルゼ府ニ中央行政府ヲ設ク今日ノ中央行政府ハアルゼ府ニアリ民政總督之カ長トナリ其ノ下ニ行政會議及高等行政會議ヲ設ク民政總督ハ內閣會議ニ於テ內務大臣ノ上申ニ依リ之ヲ任命ス（九六）

（三十七）民政總督ハ行政權ヲ代表シ又委任條項ニ於テハ立法權ヲ有ス故ニ法律命令ヲ公布スル

ノ權アリ又安寧秩序ヲ保持スルノ權ヲ有ス故ニ緊急ノ場合ニハ其ノ責任ヲ以テ本國法ヲ施行シ又戒嚴ヲ施行スルノ權アリ

(三十八) アルゼリ總督ノ權限ハ實ニ屢々消長セリ初ハ純然タル軍事總督ニシテ次テ陸軍大臣ノ代表者トナリ千八百六十年ニ至リテ純然タル獨立セル總督トナリ千八百七十年以後ハアルゼリ行政長官トナレリ

千八百三十四年ノ勅令ハ總督ヲシテ文武ノ官職ヲ統轄セシメタリ然ニ千八百四十八年ニ至リ教育宗教、司法ノ事務ハ各其ノ主管ノ大臣ニ歸セシム千八百六十年ノ官制亦此ノ事務ノ分掌ヲ維持セリ千八百八十一年ノ勅令ハ教育、宗教、司法ノ外海軍、財政、工部、農商、遞信等ノ事務ヲ主管ノ省ニ歸セシメタリ然ニ各省大臣ハ多クハ其ノ職權ヲ總督ニ委任セリ故ニ總督ヲシテ各省ノ事務ヲ總轄セシメシ以前ト其ノ實ハ差異アルコトナシ是レ海外領地ノ行政上然ラサルヲ得サル必要ノ存セルモノアルニ由ラスンハアラス

總督ハ其ノ規定ノ職權外ニ法律命令ヲ以テ本國ニ於テハ大統領ノ大權ニ屬スル事項等ヲ委任セラレタルモノアリ委任ノ事項ハ其ノ數甚タ多ク玆ニ擧ケ盡スヲ得サルナリ

司法事務ハ司法大臣ノ直轄ノ下ニアリト雖ニ總督ハ又之ニ預聞ス毎月アルゼ法院ノ檢事長ハ司法事務ノ報告ヲ總督ニ提出ス又司法大臣ニ提出スル報告ノ一通ハ亦總督ニ提出スヘキモノトス土人官吏又ハ佛人官吏ニ對スル訴追ハ檢事長カ司法大臣ニ報告ヲ提出スルト同時ニ總督ニ提出スルニアラサレハ之ヲ行フヲ得ス

(三十九) 陸海軍ニ關スルコトハ總テ本國ト同一ノ法令ニ依テ行ハル若シ民政總督カ武官タルトキハ陸海軍大臣ノ委任ヲ受ケ陸海軍ノ司令權ヲ行フヲ得之ニ反シテ總督カ文官タルトキハ其ノ下班ニ陸海軍司令官ヲ置キ軍隊ノ指揮ヲ取ラシム

總督ハ在アルゼリ外國人ニ對シテハ佛國ヲ代表ス又接境國ノ政府及在アルゼリ外國政府ノ代表者等ト交涉スルノ權ヲ有ス外國領事ハ本國政府ノ信任狀ヲ總督ニ呈供シタル後ニアラサレハ領事ノ職權ヲ行フコトヲ得ス又總督ハ千八百四十九年十二月三日ノ法律ヲ以テ佛國內ニ於テ內務大臣ニ與ヘラレタル外人追放ノ權利ヲ行フコトヲ得

(四十) 土人ニ對シテハ總督ハ立法權、行法權ヲ有シ及佛國々民ヲ代表ス總督ハ土人ニ對シ國境ヲ侵サシメス佛國ノ政權ヲ敬セシメ各部落間ノ秩序平和ヲ維持セシメ及交通ノ自由、公共ノ安寧ヲ保全スルニ必要ナル總テノ命令處分ヲ行フコトヲ得又法律ハ土人ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ總督ニ無制限ノ權利ヲ行フコトヲ得セシム是レ多クノ法律命令カ亞剌比局ノ指揮ヲ總督ニ任シテ

終始變ラサル所以ナリ

（四十一）　總督ノ事務ハ二ケノ會議ニテ幇助セラル一ハ高等行政會議ニシテ高等行政會議ハ千八百六十年十二月十日ノ命令ヲ以テ設ケラル其ノ組織ハ後チ千八百七十年及千八百七十五年ニ改正セラレタリ其ノ職權ハアルゼリノ總豫算及租稅ノ課率配賦方法ヲ議スルニアリ其ノ組織ハ左ノ如シ

一　總督（議長）
一　書記官長（副議長）
一　行政會議々員
一　駐在軍司令將官
一　各州知事
一　各縣會ノ各代表者六名、其ノ任期ハ三年ニシテ十月ノ會議ニ於テ縣會ニ於テ互選ス

高等會議ハ各縣會ニ於テ豫算ヲ議決シタル後ニ通常會ヲ開キ總督ヨリ提出セラレタル豫算案ヲ議シ其ノ議決シタル豫算ハ總督ヨリ之ヲ各省大臣ニ送付シ各省大臣ハ之ニ付テ各其ノ主管ノ部分ヲ定メ之ヲ總豫算附錄ノ特別豫算ニ組入ルルモノトス

（四十二）　行政會議ノ職權ハ前者ヨリ多ク且ツアルゼリ行政及政治ノ上ニ直接ノ働キヲ有ス行政會議ハ種々ノ名稱ヲ以テ征伏ノ當時ヨリ存立セリ第一ニハ行政委員（千八百三十年十月）、第二ニハ委員（千八百三十一年）、第三ニハ行政會議（千八百四十八年）、第四ハ行政高等會議（千八百四十五年）、第五ハ行政會議（千八百五十八年）、第六ハアルゼリ高等會議（千八百七十年）ト稱シ千八百七十年ニ至リ行政會議ノ組織ハ左ノ如シ（千八百七十五年八月十一日勅令）

一　總督（議長）
一　書記官長（副議長）
一　控訴院長
一　アルゼ府ノ僧正
一　檢事長
一　參謀長
一　海軍司令長官（將官）
一　工兵司令長官（將官）

一　土木總監
一　財務總監
一　大學總長
一　其他報告議員四名

知事及軍司令官ハ會議ニ列シ討議ニ與カルコトヲ得

（四十三）　行政會議ノ職權ハ千八百六十年十二月十日及千八百六十一年四月三十日ノ命令ヲ以テ定メラル然ニ法律命令ヲ以テ特ニ其ノ職權ニ歸シタルモノ甚タ多シ其ノ職權ノ大體ニ付テ見ルトキハ佛國參事院ノ政府ニ於ケルカ如シ故ニ行政會議ハ總督政府ノ參事院ト云フヲ得ヘシ是ヲ以テ各般ノ行政與カリ聞カサルコトナシ

（四十四）　行政會議ノ決定ハ總督ヲ羈束スルヲ得ス又彼ハ裁判權ヲ行フコトナシ然ニ山林行政ニ關シテハ裁判權ヲ行フ如キ二ノ場合アリ第一ハ山林ノ燒失シタルトキ其ノ傍近ノ部落ニ罰金ヲ科スルトキ、第二ハ賣却シタル山林ノ代價ヲ未タ拂ハサル場合ニ於テ之ヲ燒失シタルトキハ其ノ代價ヲ拂フ爲メニ伐採スル木數ヲ云ヒ渡ストキ是ナリ其ノ他裁判權ニ類似シタル權限ヲ有スルコトナシ

（四十五）　アルゼリヲ軍政地方及民政地方ノ二者ニ分チタルヲ以テ中央政府ノ事務亦二部ニ分タル卽チ一ハ亞剌比土人事務ニシテ總督ノ直轄ニ屬シ一ハ民政事務ニシテ書記官長之ヲ掌理ス右ノ行政事務ハ各々數課ニ分割セラレ其ノ職權ハ數々變更セラレタリ千八百七十一年ニ設置セラレタル民政局ハ千八百七十九年十一月ノ勅令ヲ以テ廢止セラレ新設ノ書記官長局ヲ以テ之ニ代ヘタリ然ニ單ニ其ノ名稱ヲ改メタルニ止マリ其ノ事務ニ至テハ大差アルヲ見サルナリ

總督ハ亞剌比局及書記官長局ノ事務ヲ總轄シテアルゼリノ行政ヲ總理ス總督ノ職權ハ甚タ廣ク萬般ノ行政ニ渉リ之ヲ列擧スルコト難ク總督ノ官制ニ於テモ單ニ高等行政權ハアルゼ府ニ集中シ總督之ヲ行フト廣ク規定スルニ止レリ故ニ總督ハ萬般ノ行政ニ直接ナル監督ヲ行ヒ又之ニ指揮命令ヲ與フルノ大權ヲ有スルモノナリ

（四十六）　左ニアルゼリ中央行政府組織ニ關スル千八百六十年十二月十日ノ勅令ヲ擧ク（本勅令ハ千八百七十年十月ノ勅令ヲ以テ定メラル）

アルゼリノ政治及行政ニ關スル勅令

第一條　アルゼリノ政治及行政ハアルゼ府中央政廳ニ於テ總轄シ總督之ヲ行フ、總督ノ任命ハ

國務大臣之ニ副署ス

第二條　總督ハ皇帝ニ直隷シ政治上及行政上ノ狀況ハ直ニ皇帝ニ上奏スルノ權アリ

第三條　總督ハアルゼリニ於ケル海陸軍ヲ統督ス但シアルゼリ海陸軍ニ對シテ陸軍大臣ハ臨戰軍及駐在軍ノ上ニ有スル其ノ權限ヲ殺カルヽコトナシ

第四條　創除

第五條　司法、教育、宗教ニ關スル事務ハ各其ノ主管者ノ管轄ニ歸ス但シ佛語及土人語學校及土人學校ノ事務ハ總督ノ主管ニ屬ス

第六條　教育、宗教、司法ニ關スル外總督ハ總テノアルゼリ官吏ヲ任命ス、教育、宗教、司法ニ關スルモノヽ外皇帝ノ直接任命ニ係ル官吏ノ任命ハ總督先ツ陸軍大臣ニ上申シ陸軍大臣ハ勅裁ヲ仰クヘシ

第七條　教育、宗教、司法ニ關スルモノヽ外勅旨ニ依テ行ハルヽ政治及高等行政ハ總督ノ提議ニ依リ陸軍大臣ヨリ勅裁ヲ仰クヘシ之ニ關スル勅令ハ陸軍大臣之ニ副署スヘシ

他省ノ主管ニ屬セサル事件ニ付テハ總督總テ之ヲ決裁ス

第八條　アルゼリ法院ノ檢事長ハ毎月總督ニ報告ヲ爲シ又司法大臣ニ呈出スル總報告書ノ副本ハ總督ニモ呈出スヘシ

共和第八年憲法七十五條ニ依リ參事院ノ意見ヲ求ムル爲メ司法大臣ニ呈出スル報告ノ一通ハ總督ニモ呈出シタル後ニアラサレハ檢事長ハ佛國官吏又ハ土人官吏ニ對スル訴追ヲ爲スコトヲ得ス

第九條　諮問會議（コンセイユ、コンシユルタチーフ　コンセイユ、ドターベルヌマン）（行政會議ニ同シ）ヲ設ケ總督ヲ以テ之カ議長ニ充ツ

第十條　國有財產ニ關スル件又其ノ賣却ニ關スル件ハ如何ナル名義ヲ以テスルニ係ハラス總テ總督ノ權ニ屬シ總督ハ諮問會議ノ意見ヲ問フヘシ

十八年以上ヲ超過スル國有財產ノ貸付ハ何タル種類ノ財產ヲ問ハス參事院ノ意見ヲ聞キ勅裁ニ依ルニアラサレハ之ヲ行フコトヲ得ス

國有財產ノ處分ニ付テ參事院ノ意見ヲ要スルモノハアルゼリニ於テハ諮問會議ニ諮問スルコトヲ要ス

右ノ外諮問會議ニ諮問ヲ要スル事項ハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムヘシ

第十一條　總督ハアルゼリノ毎年總豫算ヲ調製シ稅率及賦課法ヲ定ム

第十二條　前條ノ豫算及租稅ノ賦課法ハ高等行政會議ノ會議ニ附スヘシ

第十三條　高等行政會議ノ議決ヲ經タル豫算及賦課法ハ總督之ヲ裁定シ國務大臣ヨリ皇帝ニ上奏スヘシ

第十四條　高等行政會議々決ノ後チ總督ハ款項以下ノ科目ヲ定ム

第十五條　州及町村ノ歳入歳出ハ現行法ノ通リタルヘシ

第十六條　總豫算及州豫算ノ費目ハ總督ヲ以テ支拂命令官トス直接ニ支拂命令ヲ爲サス下班ノ官吏ヲシテ之ヲ爲サシムル爲總督ハ其命令權ヲ委任スルコトヲ得、委任命令官ノ身分ハ大藏大臣ニ報告セラルヘシ

第十七條　州會ハ千八百五十八年十一月二十七日ノ勅令ノ規定スル所ニ依ル、軍司令官及知事ノ州會ニ於ケル職權ハ此ノ勅令ノ規定スル所ニ同シ但シ總督ハ師團區司令官ノ要塞司令官ヲ以テ州會ニ於ケル自己ノ代表者ト爲スコトヲ許可スルコトヲ得

第十八條　本勅令ニ牴觸スルモノハ總テ其ノ効力ヲ失フモノトス

（四十七）第九條ニ依テ設置セラレタル諮問會議ノ職權ハ千八百六十一年四月三十日ノ勅令ヲ以テ規定セラル其勅令左ノ如シ

諮問會議ノ職權ニ關スル勅令

第一條　左ノ事項ニ關シテハ諮問會議ノ意見ヲ經ルコトヲ要ス

一　行政區域、裁判管轄區域、町村區域及首府ノ設定變更ニ關スル件

二　殖民區域ノ設定ニ關スル件

三　土民ノ保證ニ關スル件

四　人民ノ中央地ヲ定ムル件

五　殖民地ノ地域區畫ニ關スル件

六　三十「エクタール」以上ノ土地下渡及鑛山ノ許可及沼池乾燥ノ許可ヲ與フル件

七　九ケ年以上ノ期限ヲ以テ國有土地ニ付テ起業ヲ許可スル件但シ此ノ土地ニ付テ免許人ニ賦課スル各種ノ負擔千「フラン」以上ニ達スル場合ニ限ル（土地、山林、石坑、製鹽場、漁場、溜沼漁權ニ付テ）

八　鹹獵及其ノ他ノ漁業ニ關スル件

九　代價一萬「フラン」以上ニ達スル國有不動產ヲ隨意賣却スルトキ

十　右第九ノ場合ニ該當スルモノヲ政府ノ爲メ買上クルトキ

十一　山林ニ山林制度ヲ施行スルトキ

十二　國有不動產ヲ州町村病院其ノ公共營造物ノ爲ニ讓渡ストキ
十三　國有不動產ヲ民政又ハ軍政事務ノ爲ニ使用スルトキ
十四　土地收用ヲ爲サントスルトキ公益ナルヤ否ヤヲ定ムル件
十五　寄托物ノ封印及其ノ撤去
十六　取引所、商法會議所、農業諮問所、合資會社、修身共濟會社、銀行、割引所、商業仲裁所、病院、孤兒院、慈惠院、質屋其ノ他公共ノ利益ヲ目的トスルモノヲ設置スルトキ
十七　州及町村ノ行政官吏ノ爲メニ退隱料ニ關スル法規ヲ設クルトキ
十八　州又ハ町村又ハ公共ノ營造物ノ爲ニ寄附又ハ遺贈讓與ヲナシタルモノアリタル場合ニ之ヲ受クルトキ
十九　國稅州稅、町村稅及關稅、入府稅ノ新設、變更、廢止ニ關スル件
二十　土人ノ租稅及手數料ノ徵收方法及其ノ課率ヲ定ムルトキ
二十一　國道及州道ノ開築ニ關スル件
二十二　費用三萬「フラン」以上ニ達スル國及州ノ土木事業ノ起工計畫工事見積書ヲ定ムルトキ其ノ他工事施行ノ方法及命令書ヲ定ムルトキ

二十三　政府ノ爲メ物品買上約定ヲナスストキ其ノ手續條件等ハ右第二十二ニ同シ
二十四　州又町村ニ於テ借入ヲナスストキ
但シ町村ニ於テ直接ニ借入ルヽコトヲ許サレタル場合ハ此ノ限ニアラス
二十五　州豫算中ニ於テ收入三十萬「フラン」以上ニ達スル町村豫算及土人租稅ノ附加稅豫算ノ出納報告ヲ檢查スルコト
二十六　土民ノ身分、宗教、裁判及教育ニ關スル法規

第二條　諮問會議ハアルゼリニ於ケル行政、商業、財政及殖民ニ關スル法律、勅令、規則ノ草案ニ付テ諮問セラレ其ノ意見ヲ提出スルヲ得
以下ノ條文ハ略ス

（四十八）千八百七十年十月二十四日アルゼリ行政組織ニ關スル改正勅令發布セラル

第一條　廢止

第二條　千八百六十年十二月十日ノ勅令千八百六十一年四月三十日及五月二十二日ノ勅令千八百六十二年十一月三日ノ勅裁千八百六十三年六月十一日及千八百六十四年七月七日ノ勅令ヲ廢止ス

第三條　アルゼリニアルゼ縣、チラン縣、コンスタンチーヌ縣ノ三縣ヲ置ク

第四條　現今ノ軍政地方ニ住スル歐洲人及土民ハ從來ノ通リ軍政ノ下ニ置カルヘシ

第五條　アルセリノ政治及行政ハアルゼ府中央行政廳ニ於テアルゼリ三縣民政總督之ヲ總轄ス

第六條　三縣ノ總海陸軍ノ司令官ハ軍政地方ニ於ケル歐洲人及土人ヲ支配ス司令官ノ下ニ亞剌比亞局ヲ置キ土人ニ關スル事務ヲ管理セシム

第七條　各縣ノ行政ハ總督ノ指揮命令ヲ受ケ知事之ヲ行フ知事ノ職權ハ本國知事ノ職權ニ同シ知事不在ナルトキハ書記官長之ヲ代理ス

第八條　知事ノ下ニ各課ヲ置キ縣ノ事務ヲ分掌セシム

歐洲人ノ數多クシテ町村會ヲ組織スルニ足ルト認ムル地ハ之ヲ町村ニ編制シ知事ノ管理權内ニ屬セシム

第九條　知事及縣ノ行政ニ任セラレタル海陸軍司令官ハ三月毎ニ行政上ノ詳細ナル狀況ヲ民政總督ニ提出スヘシ

第十條　民政總督ハ各省ノ事務ニ付テハ其ノ主管ノ大臣ト往復ス又毎年アルゼリ行政ノ狀況ヲ内閣ニ提出スヘシ内閣ハ印刷シテ之ヲ代議院ニ配付スヘシ

第十一條　廢止

第十二條　アルゼリ總督府ニ書記官長ヲ置ク其ノ職權ハ行政命令ヲ以テ定ム

第十三條　及第十四條廢止

第十五條　アルゼリ縣會及町村會ノ現行規則ニハ變更ヲ及ホスコトナシ但其ノ組織及撰擧方法ハ別ニ之ヲ定ム

第三　町村行政（縣行政及郡行政ノ部ハ略ス）

（四十九）　アルゼリニ於テハ町村ニ三種ノ別アリ第一完制ノ町村、第二混合制ノ町村、第三土人町村是ナリ

完制ノ町村ハ民政地方ニ土人町村ハ軍政地方ニ限ル混制ノ町村ハ千八百八十年マテハ軍政地方又ハ民政地方ニモ存セシト雖モ同年以後ハ民政地方ニノミ存スルニ至レリ是レ民政地方ノ擴充セラレタルニ由レリ

右三種ノ町村ニ付テハ各々法制ヲ異ニセルモノ多シト雖モ其ノ法人ノ資格ヲ有シ又町村行政ニ必要ナル職權ヲ有スル點ニ付テハ皆ナ相異ナル所ナシ

一　完制ノ町村

（五十）　完制ノ町村ハ千八百四十七年九月二十八日ノ勅令ヲ以テ始テ組織セラル其ノ第一條ニ曰クアルゼリニ於ケル人民ノ集合地ニシテ町村ニ必要ナル發達ヲ爲セルモノハ勅令ヲ以テ町村ト爲スコトヲ得ト右ノ町村ニ必要ナル發達トハ住居セル歐洲人ノ數町村ノ負擔ニ堪フルニ十分ナル場合ヲ云フモノト解釋セラレタリ

町村ノ費用ハ各種ノ租稅ヲ以テ支辨セリ千八百四十七年ノ勅令ハ町村ニ各種ノ徵稅權ヲ與ヘタリ卽チ營業稅街路露店稅又量稅（例ヘハ尺ヲ以テ賣買スルモノハ一尺ニ付幾何ノ稅ヲ課スルモノヲ云フ此稅ハ固ヨリ卸商ノ大取引ニ限ル）屠獸稅道路稅等ヲ起スコトヲ許シタリ次テ海上入市稅、家屋稅、村道徭役稅、犬稅ノ起ルニ從テ町村ノ收入增加シ後ニ至リ海上入市稅ハ順次ニ增加セラレ遂ニ町村收入ノ最モ大部ヲ占ムルニ及ヒタリ

（五十一）　完制町村ノ行政制度ト大ナル差異アルヲ見ス其ノ異ナル所ハ土人又ハ外國人ニ關スル事項ノミ千八百六十八年ノ勅令ニ依ルトキハ民政地方ニ住スル土人ハ其ノ町村ノ行政機關ニ依テ支配セラレ他ノ住民ト同樣ニ町村ノ租稅ヲ負擔ス而テ回敎人慈善課ノ事務及市場回敎人產婆競賣人ノ監督幷ニ回敎人學校ノ事務ハ町村ノ職權ニ付セラレタリ

數區ニ分レタル町村中ニアル土人ノ部落ハ必要ナル場合ニハ總督ノ命令ヲ以テ之ヲ町村ノ區トナスコトアリ而テ居住常ナキ土人ノ集合ハ總テ町村警察權ノ下ニ服セラル但シ一般ノ警察權ハ尙ホ彼等ノ上ニ行ルヽモノトス

（五十二）　町村會ノ權限ハ佛國町村會ト異ナル所ナシ其ノ異ナル所ハ總督ノ監督權ヲ以テ干與スルコト甚タ少ナク唯タ左ノ二ケノ場合ニ限レルニアリ

一　償還期限ノ十二年以上ニ涉ル公債ニシテ臨時收入ヲ起スニアラサレハ之カ償還ニ充ツルヲ得サルモノヲ起スニ當リ行政會議ノ議決ヲ經テ國王ノ裁可ヲ請フトキ

二　十二年以上ニ涉リ町村ノ臨時收入ニ依ラサルヲ得サル土木事業ノ契約ヲ締結スルトキ

町村會ノ組織ハ佛國ノ町村會ト大ニ異ナレリ佛國ニ於テハ町村會議員ハ二十五歲以上ニシテ公權ヲ有スル佛國人ニ限ルノ反シテアルゼリニ於テハ佛人土人及外國人ヲ以テ組織ス卽チ町村選擧人名簿ハ第一佛人及歸化人第二回敎土人第三猶太土人及外國人ノ三種ノ住民ヨリ成ル

右第二及第三ノ住民ハ其數百人以上ニ達スルトキハ町村會ニ代表者ヲ選出スルノ權ヲ有ス但シ其ノ議員ノ數總議員ノ三分一ヲ超過スルヲ得ス又三人以下ニ下ルコトヲ得ス

佛國人ハ滿二十一歲以上ニシテ千八百七十四年佛國町村制ニ規定セル條件ニ該當セルモノ及一年

以上町村稅ノ家屋稅ヲ負擔セルモノハ選擧人名簿ニ記入セラル

土人ハ滿二十五年以上ニシテ二年以上其ノ町村ニ本籍ヲ定メ且ツ左ノ條件ニ該當スル者ニアラサレハ選擧人名簿ニ記載セラレサルモノトス卽チ土地所有者又ハ土地小作人タル「營業稅ヲ課セラレタル商業又ハ二業ヲ行フコト政府又ハ縣又ハ町村ノ官吏タルコト「レジヲンドヌール」勳章又ハ軍事勳章又ハ紀念章ヲ有スルコト退官恩給ヲ有スルコト

外國人ハ右ノ條件ノ外ニ少ナクモ三年以上アルゼリニ住居セシモノナラサルヘカラス

土人及外國人ハ右等ノ條件ヲ具備スルモ自ラ要求ヲナシ又其ノ出生ノ時日及場所ヲ申出ツルニアラサレハ人名簿ニ記載セサルモノトス

（五十二）　町村選擧人名簿ニハ佛人猶太土人回敎土人及外國人ノ四種ノ別アルコトハ前既ニ之ヲ述ヘタリ千八百六十六年十二月二十七日ノ勅令ノ發布セラレタル時マテハ猶太土人ハ佛國臣民タリシト雖モ佛國公民ニアラサリシナリ而ルニ千八百七十年十月二十四日ノ勅令ハ之ニ以テ佛國人ト宣言シタリ是ニ於テ此ノ勅令ハ千八百六十六年ノ特別法卽チ猶太土人ハ佛國臣民ニシテ公民ニアラストフ規定ヲ廢止スルノ効力アルヤ否ヤハ一時生シタル疑點ナリシ然ルニ千八百七十年ノ勅令ハ前法ヲ廢止スルノ効力アルコトハ疑ヲ容ルヘキモノニアラサルナリ卽チ此ノ勅令以來猶太土人ハ佛國臣民ノ法律ハ其ノ私權ノ安全ヲ保シ他ノ佛國人同樣ニ私權ヲ行フニ妨ケアルヲ見サルナリ然ルニ投票手續ニ關スル規定ハ千八百七十年ノ勅令ノ發布ニ依テ廢止セラレタルニアラサルヲ以テ猶太土人ハ回敎土人ノ如ク投票用紙ニハ其ノ國語ヲ使用スルノ權利ヲ有セリ故ニ投票開函ノ際ニハ佛國語ナラサル投票ヲ檢査スル爲ニ猶太語通譯官ヲ設ケサルヲ得サルナリ

（五十四）　町村長ハ佛國公民又ハ歸化人ニシテアルゼリニ居住シ土地又ハ建物ノ所有者ニアラサレハ之ヲ勤ムルヲ得ス然レトモ回敎土人ノ多數ナル町村ニ於テハ彼等ノ便利ノ爲ニ土人ヲ以テ助役ト爲シ村長ノ指揮監督ヲ受ケテ之カ行政ヲ掌ラシムル總督ハ其ノ命令ヲ以テ土人助役ヲ設クヘキ町村及其ノ助役ノ數ヲ定ム

縣又ハ郡ノ首府ノアル町村ノ土人助役ハ總督之ヲ任命シ他ノ町村ニ於テハ知事之ヲ任命ス助役ハ有給トス其ノ給額ハ町村會ノ意見ヲ聞キ總督之ヲ定ム此ノ給料ハ町村ノ義務的負擔トシテ其ノ歲出豫算ニ揭記ス

町村長ニ依テ委任セラレタル職權ノ外助役ハ左ノ職務ヲ有ス卽チ第一ニ國ノ治安及警察ニ關スル必要ナル報告注意ヲ町村長ニ提出スルコト第二ニ租稅檢査ノ際ニ國庫又ハ町村官吏ヲ補助スルコト

ト第三ニ徴稅官ノ需メアルトキハ之ヲ補助スルコト第四總督ノ特別訓令ニ依テ助役ノ職務ト定メラレタルモノ

町村長ノ特別ナル委任ナキ限リハ土人助役ハ身分簿ノ保管ノ職ニ當ルヲ得ス然ルニ土人ノ出生又ハ死亡ニ關スル件ハ之ヲ扱ヒ常ニ精確ナラシムルノ義務アルモノトス土人助役ハ佛人助役ト同シク町村會ニ出席スルノ權ヲ有ス其ノ不在ナルトキハ知事ノ指名スル町村會議員ノ土人ヲシテ代理セシメ議員ナキトキハ住民中ノ著名ナル者又ハ知事ノ指名セルモノヲシテ代理セシム

土人ノ田野看守人ハ町村長及土人助役ノ司法警察權ノ施行ヲ補助セサル可ラス又彼等ハ使丁ノ職ヲ取ルコトアリ卽チ官廳ヨリ發スル召喚狀又ハ其ノ他ノ命令狀ヲ其ノ町村ノ土人ニ送達スルノ職ヲ行フ

（五十五）町村會議員ノ撰擧ハ連名投票ヲ以テ行フ然ルニ町村ノ境域廣ク且ツ投票時間ノ永キニ渉ルヲ避クルノ必要ヨリシテ町村ヲ數區ニ分割スルコトアリ此ノ撰擧區ノ分割ハ知事之ヲ行ヒ而シテ各分區ハ少ナクモ二人以上ノ佛人ノ議員ヲ出スヘキモノナラサル可ラス

町村會ノ組織ハ左ノ如シ

一　人口二千人以下ノ町村ニ於テハ議員九人

二　人口二千一人以上一萬人以下ノ町村ニ於テハ議員十二人

三　人口一萬一人以上三萬人以下ノ町村ニ於テハ議員十八人

四　人口三萬人以上ノ町村ニ於テハ議員二十四人

民政總督ハ命令ヲ以テ十五年毎ニ毎町村ニ於テ撰出スヘキ議員ノ數ヲ定ム

二　混制ノ町村

（五十六）千八百六十八年以前ニ於テ民政地方ノ或部分ニシテ未タ町村ニ組織セラレス又或町村ニモ附屬セサル地方ハ町村行政權ヲ有スル民政委員又ハ民政委員ノ指揮ヲ受クル或ル組合ニ依テ支配セラレタリ千八百五十六年四月十六日ノ勅令ニ依ルトキハ住民ノ所有權管理ノ爲ニ組合又ハ委員ヲ設クルコトヲ許サレタリ而シテ委員又ハ組合ハ知事ニ於テ之ヲ任命セリ此等地方ノ豫算ハ知事之ヲ定メ各地方ヨリ町村稅ノ性質ヲ有スルモノヲ徵收シ總テノ地方ノ經費ニ充用セリ而シテ各地方毎ニ其ノ收入支出ヲ異ニセサリシナリ

軍政地方ニ於ケル混制町村ノ民政委員ノ職ハ其ノ地軍隊司令官ヲシテ行ハシメ組合及委員ノ任命ハ師團長ヲシテ行ハシメタリ師團長ハ豫算ヲ定メ其ノ施行ハ一部ハ兵站總監ニ其ノ一部ハ要塞局長ニ委任セリ軍政地方ハ混制町村及千八百六十三年ノ勅令ニ依テ組織セラレタル亞剌伯亞部落及

軍隊司令官ノ命令ノ下ニ立チ亞剌伯亞局ニ依テ支配セラルヽ非組織的部落ノ三種ヨリ成ル

（五十七）千八百六十八年五月二十日ノ總督ノ命令ニ依テ混制町村始テ成ル町村ヲ組織スルノ權ハ千八百六十六年ノ勅令ヲ以テ總督ニ與ヘラル故ニ町村ノ區域變更及町村ヲ數部ニ分割シ又ハ之ヲ廢置分合スルノ權ハ總督ニ屬セリ多クノ變遷ヲ經タル後チ今日ニ於テハ混制町村ノ數ハ三十二ニ止マレリ

混制町村ハ普通町村ノ重ナル性質ハ皆ナ之ヲ具有セリ卽チ法人ノ資格ヲ有シ其ノ歲入歲出ハ豫算ヲ以テ定メ其ノ他町村財產ヲ所有セリ故ニ普通町村ニ及ハサル所ハ自治ノ權及撰擧ノ權ニ欠クル所アルニ止マレリ其ノ完制町村トノ差ヲ要言スレハ自由少ナク上級監督權ノ大ナルニアリ故ニ混制町村ヲ以テ佛國ノ町村ニ比スレハ未タ全ク後見ヲ免除セラレサル幼者ノ如シ

混制町村ノ始ニ於テハ土人及歐洲人雜居ノ地ニシテ自ラ維持ノ資產ヲ有スルモ完制ナル町村制度ヲ施行スルニハ尙ホ歐洲人ノ數十分ナラサル人民ノ集合地ヲ以テ混制町村ト稱シタリ然ルニ此ノ解釋ハ今日ニ於テハ精確ニアラサルニ至レリ今日ニ於テハ混制町村トハ殖民及土人部落ノ中央ニシテ民政總督ニ於テ一ノ行政區劃ト定メタル土地ノ區域ヲ稱スルモノトナレリ

各殖民部落ハ其ノ公共ノ用ニ供スル爲メ土地又ハ其ノ他ノ所有權ヲ住民全體ニ於テ共有セリ此ノ所有權ハ殖民部落ヲシテ町村ノ一區タルノ資格ヲ得セシメ次テ此ノ部落ヲシテ法人ノ資格ヲモ得セシムルニ至ル

混制町村ノ一區ヲナス殖民部落ハ法律ニ依テ示サレタル特別ノ場合ニアラサレハ其部落ノ代表者ヲ出スコトヲ得ス其ノ代表者ヲ出ス場合ハ左ノ如シ卽チ第一其ノ附屬セル町村又ハ其ノ町村ノ他ノ區ニ對シテ訴訟ヲ起シ若クハ其ノ被告トシテ答辨スル場合第二其ノ所有セル財產ノ賣却代價又ハ其賃貸金ヲ其ノ部落ノミニテ使用シ得サルトキ他ノ部落トモ協議スル爲メ代表者ヲ出ストキ

二混制町村ヲ合スルトキ又混制町村中ノ殖民部落若クハ土人部落ヲ引キ離シテ一ノ混制町村ヲ組織シ若クハ他ノ町村ニ合併スルニハ行政會議ニ諮問シテ其ノ意見ヲ聞キ總督ノ命令ヲ以テ之ヲ公布ス

混制町村區域中ニアル殖民部落ニシテ其ノ獨力ヲ以テ又ハ其ノ隣接ノ土人部落ト合シテ一ノ完制町村ヲ組織スルニ十分ナル發達ヲナシタルトキハ總督ハ之ヲ完制町村トナスノ權ヲ有セリ千八百六十八年皇帝ニ奏上セル報告ニ曰ク混制町村ハ其ノ町村中ニ歐洲的ノ元素十分ニ發達シ又土人ノ元素ハ歐洲風ニ化シ進歩ノ狀況顯著ナル日ニ至テハ完制町村トナス亦害ナカルヘキナリト

（五十八）混制町村ノ始ニ當リテハ其村長ハ其ノ管區ノ司令官之ヲ勸メ其ノ下ニ民政助役一人ヲ

置キ且官吏及歐洲人土人ノ住民ヲ以テ委員ヲ組織シ町村會ノ議決スヘキ事項ニ付テハ此ノ委員ヲシテ其ノ意見ヲ提出セシメタリ

今日ニ至リ大ニ右ノ制度ニ變更ヲ及セリ千八百七十五年十二月二十四日ノ命令ニ依ルトキハ民政地方ニ於ケル混制町村ノ長ハ行政官ト稱ス此ノ行政官ハアルセリ民政事務官中ニ於テ法學士ニシテ十年以上行政事務ニ從事シ亞剌伯亞語ニ通セル者ヲ撰任ス而テ行政官ノ下ニアル助役ハ四年以上行政事務ニ從事シ亞剌伯亞語ニ通セル者ニ限ル然ヒ師團長ノ推撰ニ係ルトキハ亞非利加軍ノ現役士官又ハ非職士官ニシテ亞剌伯亞語ニ通スル者ハ此ノ行政官ニ任用セラルヽコトヲ得

町村長ノ職ヲ行フ左ノ行政官ニハ町村長ニ要スル總テノ條件ニ通用ス故ニ彼等ハ佛國人ニシテ滿二十五歳以上タラサル可ラス

今行政官及助役ノ俸給ヲ左ニ示ス彼等ハ俸給ノ外馬匹買上費次具費給養費等ヲ受ク

一級行政官	五千「フラン」
二級行政官	四千五百「フラン」
三級行政官	四千「フラン」
一級助役	三千「フラン」
二級助役	二千七百「フラン」
三級助役	二千四百「フラン」

（五十九）町村長ノ職ヲ取ル行政官ノ職務ノ大要ヲ擧クレハ左ノ如シ第一行政官ハ檢事長ノ指揮ヲ受ケ身分官吏ノ職ヲ行フ第二新ムル法律命令ヲ頒布シ又必要ナル場合ニハ新舊ヲ論セス他ノ法律命令ヲ土人ニ知ラシム第三行政警察權ヲ行フ就中火藥武器ノ製造賣買ヲ監査シ回教人ノ所有セル銃器ノ檢査取締ヲ爲ス第四宗教團體ヲ監督スル之ヲ要スルニ回教人民ノ高等警察ヲ任セラル治安ヲ保持スル爲ニ行政官ハ土人ヲシテ番衛及巡視ノ務ニ服セシムルコトヲ得之カ爲ニ行政官ハ各土人部落ヲシテ馬又ハ騾ヲ有スル土人トヲ調査シテ之カ名簿ヲ調製セシメ馬又ハ騾ヲ有スル者ハ巡視ニ當テ之ヲ有セサル者ハ番衛ノ勤務ヲ取ラシム又行政官ハ番衛ノ位置ヲ指定シ且ツ番衛又巡視ニ當ルヘキ土人ノ年齡人員ヲ定ム又行政官ハ要路ノ政務官若クハ回教外ノ宗教者ノ往復道路ヲ警戒セサル可ラス又行政官ハ其ノ施行セル各般行政ノ詳細ナル報告ヲ毎月提出セサル可ラス

混制町村ニハ多クハ憲兵及軍隊ヲ配置セラル行政官ハ治安保持ニ必要ナル場合ニハ此ノ兵力ノ援助ヲ請求スルヲ得

千八百八十一年六月二十八日ノ新法律ニ依リ行政官ハ土人ニ特別ナル犯罪ニ對シテハ之ヲ處罰ノ權ヲ七ケ年ノ期限間與ヘラレタリ

（六十）混制町村ニ町村委員ヲ設ク其ノ委員ハ第一行政官（議長）第二佛人ノ町村助役（行政官ノ助役ニアラス）第三佛人委員第四土人助役ヨリ組織ス

佛人ノ數充分ナラサル町村ニ於テハ住民中ノ土地所有者ヲ以テ委員トナシ所有者サキトキハ鄰接町村ノ住民中ヨリ之ヲ撰任ス

助役及町村委員ハ三年ノ任期ヲ以テ知事ニ於テ任命ス任期盡クルトキハ再任セラルヽヲ得委員ノ通常會ハ毎年二月五月八月十一月ノ四期トス其ノ會期ハ六日ヲ超過スルヲ得ス知事又ハ郡長ハ臨時會ヲ召集スルコトヲ得臨時會ノ期限ハ召集ヲ以テ定ム臨時會ハ召集令ヲ以テ定メラレタル議題外ヲ議スルヲ得ス

（六十一）町村委員ノ議權ハ左ノ事項外ニ及フヲ得ス

一　町村財產ノ管理方法

二　町村有山林及牧場ノ享有及配分方法並ニ其ノ收益者ニ課スル條件ヲ定ムルコト

三　町村ノ經常及臨時歲出歲入豫算

四　町村固有ノ所得稅ノ徵收方法

五　町村財產ノ賣買交換保存改良及公共用ニ供スル使用方法

六　町村財產ノ賃貸ノ條件幷ニ町村ノ用ニ供スル財產ノ賃借條件

七　建築修繕保存毀壞等總テ起工ニ係ル土木事業

八　道路ノ開築

九　車道及入合牧場

十　町有又ハ町村營造物ニ對シテ寄附セラレタル物品金錢ヲ受領スルコト

十一　町村ノ名義ヲ以テスル訴訟

十二　行政官ノ提出スル毎年ノ會計檢查

十三　收入官吏ノ提出スル會計檢查

左ノ事項ニ付テハ委員ハ其ノ意見ヲ提出ス

一　宗教管域ニ關スル件

二　救助區域ニ關スル件

三　混制町村內ヲ通過スル國道劃定線

四　知事又ハ郡長ノ諮問ニ係ル事項

五　地方ノ利益ニ關スル事項

（六十二）　行政官ノ助役ノ外ニ佛人ノ町村助役ト土人ノ助役トアリ佛人助役ノ主タル職權ハ身分帳ヲ保存シ其ノ受持區内ニ警察規則ヲ施行シ且ツ委任命令ニ依リ行政官ノ司法警察權ノ施行ヲ助ケ又撰擧ノ管理者ヲ務ム而シテ皆ナ名譽職トス

土人ノ助役ハ千八百七十四年ノ命令ヲ以テ部落ノ酋長ヲ以テ總テ之ニ任ス其ノ主タル職務ハ行政府ト回教人民トノ間ニアリテ下情ヲ報シ上命ヲ傳達スルニアリ而テ租稅ノ賦課徵收ニ付テ收稅官吏ヲ幇助シ又其ノ地内ニ於テ犯罪アリタルトキハ犯罪者ヲ行政官ニ申告スルコトハ其ノ主タル義務ナリトス彼等ハ其ノ俸給トシテ土人租稅ノ十分ノ一ヲ受ク

三　土人町村

（六十三）　土人町村ハ始テ千八百六十八年五月二十日ノ勅令ヲ以テ組織セラル此ノ町村ハ佛國軍隊ノ永久占領セル地ニシテ未タ混制町村ニ達セサル總テノ地方ヲ包含ス土人町村制度ハ混制町村ニ移ル一時ノ制度ニシテ混制町村カ完制町村ニ移ル經過制度ナルカ如シ土人町村ノ區域ハ一族團區ニ同シ而テ一町村ハ數箇ノ部落ニ分タレタリ此ノ部落ハ普通町村ニ於ケル分區ノ如シ

土人町村ハ法人ノ資格ヲ有ス其ノ行政ハ陸軍族團區司令官（族團長少將相當）之ヲ掌ル其ノ下ニ族團區會議ヲ置キ大隊區司令官（分營區ヲ數區ニ分チタルモノ）工兵隊長族團區兵站副監亞剌伯亞局長其他著名ナル土民四人以上ヲ以テ之ヲ組織ス土人町村ニ於テハ族團區會議ヲ以テ町村會ノ職ニ充テ族團區司令官ヲ以テ町村長トナシ兵站副監ヲ以テ會計吏ノ職ヲ取ラシム此ノ大隊區ヲ以テ一區トナセシ土人町村ハ原則トシテハ普通町村ノ組織ヲ有スルモノナリ然ヒ其ノ區域ハ廣クシテ佛國ノ一縣ノ大ニ匹敵スルヲ以テ事實上之ニ對シテ町村ノ制度ヲ施行スルヲ得サリシナリ是ニ於テ千八百七十四年十一月十三日ノ命令ヲ以テ漸タヤナル土人町村ヲ設置シ以テ大改革ヲ行フノ必要ニ迫リタリ左ニ此ノ改革ニ關スル總督府令ノ全文ヲ擧ク

第一條　千八百六十八年五月二十日ノ命令ヲ以テ組織セラレタル土人町村ハ千八百七十五年一月一日ヨリ之ヲ廢止ス

第二條　從來大隊區ト稱セシ土地及行政區域ハ順次土人町村トナシ其ノ自治權及獨立ノ歲出入豫算ヲ有セシム

財政上ノ資力乏シク又行政機關ノ發達十分ナラサルヲ以テ直チニ獨立町村ニ組織スルヲ得サル大隊區ハ假ニ土人町村ノ一區トナスヘシ

第三條　旅團區土人町村（一旅團區ヲ以テ一町村トセシモノ）ヲ分離シテ新設シタル新土人町村ハ尙ホ軍政ノ下ニ支配セラルヘシ

第四條　前條ノ新町村ハ場合ニ依リ大隊區司令官ニ依テ支配セラル司令官ノ下ニ町村委員ヲ置ク

資力十分ナル町村ニ於テハ軍事行政官ノ下ニ民政助役ヲ置キ土人町村書記ノ職ヲ行ハシム

民政助役ハ總督之ヲ命シ國庫ヨリ俸給ヲ受ケ又土人町村ノ豫算中ヨリ手當ヲ受クル事ヲ得ヘシ」

民政助役ノ設ナキ町村ニ於テ町村書記ノ職ハ學校教員ニ委任スルコトヲ得ヘシ

第五條　工兵隊ハ土人町村ノ土木事業ヲ以テ其ノ務ノ一トナシ土木事業ニ關スル經費ノ支拂命令ヲ任セラル

師團司令官ハ工兵監ノ發議ニ基キ境域廣ク又資力充分ナル町村ニ於テハ特ニ土木ニ關スル官吏ヲ任命スルヲ得此ノ官吏ハ工兵士官ノ指揮命令ヲ受ケ町村費ヲ以テ支辨スル各種ノ土木事業ノ施行及調査ニ從事ス

第六條　軍政地方土人町村ノ豫算及會計報告ハ師團司令將官ニ依テ檢查確定セラル

土人各町村ノ會計報告ハ年度ノ終ニ於テ其ノ一部ヲアルゼリ總督ニ提出スヘシ

第七條　旅團區町村ノ會計ハ千八百七十四年十二月三十一日ヲ以テ決算セラレ剰餘アル場合ニハ其ノ全額ハ規則及慣例ニ基テ新土人町村ノ間ニ之ヲ分配スヘシ

第八條　千八百六十八年五月二十日ノ總督府令ハ其ノ効力ヲ失ハス左ノ事項ニ關シテハ同令ハ軍政地方土人町村ニ適用スルモノトス

一　町村有領地ノ定義

二　町村有財產ノ管理方法

三　歲入及歲出ノ科目

四　會計ノ檢查及其ノ報告提出ノ方法

第九條　軍政地方土人町村ハ配賦ノ方法ニ依リ師團區普通ノ經費（一般ノ行政費監獄費醫者費等ニシテ州稅トモ稱スルヲ得ヘキモノナリ）及アルゼリ全般普通ノ經費（國稅ノ如キモノナリ）ヲ負擔スヘシ此ノ配賦セラルヽ負擔額ハ師團司令官ノ上申ニ基キ總督之ヲ定ム

第十條　本令ニ牴觸スル規定ハ總テ之ヲ廢止ス

（六十四）　右ノ總督府令ニ依リ新ニ分置シタル土人町村ハ尙ホ軍政ノ下ニ置カル而テ大隊區司令官ハ土木事業ヲ除ク外ハ邑長及支拂命令官ノ職ヲ取リ土木事業ハ工兵隊長之ヲ行ヒ且其ノ支拂命

令官ヲ務ム

混制町村及土人町村ノ部落卽チ町村ノ區ハ佛國町村ノ區ノ如ク法人ノ資格ヲ有シ財產ヲ所有スルヲ得

各部落ニ部落會アリ此ノ會ハ部落中著名ノ者ヲ以テ組織シ人民ノ多少ニ依リ八人十人又ハ十二人ヲ以テ會員トナシ部落酋長之カ議長ヲ務ム此ノ會員ハ二十五歲以上ニシテ私權ヲ有スル者ナルヲ要ス師團司令官之ヲ任免シ其ノ年限ハ三年トス酋長ノ外ハ會員ニハ手當ヲ支給セズ

各部落ニ書記一人ヲ置キ土人ノ身分帳ノ保管ヲ任ス若シ部落中ニ土人語及佛語學校ノ設アル場合ニハ學校教員ヲシテ身分取扱ノ職ヲ取ラシム

部落會ハ毎年四回通常會ヲ開ク旅團區司令官ハ臨時會ヲ召集スルコトヲ得部落會ハ部落有財產ノ管理及處分土木事業及土木費ノ賦課徵收竝ニ部落ノ訴訟ニ付テ會議ヲナス又宗教教育稅率及租稅ノ賦課法共同耕地配分ノ爭ニ付テ諮問ヲ受ケ其ノ意見ヲ提出ス

部落會ノ議決ハ認可ヲ經サレハ執行ノ効力ヲ有セス千八百七十年十月五日ノ總督府令ハ公益ト認メラレタル土木事業ノ爲メ部落ニ於テ行政廳ノ許可ヲ得テ附加稅ヲ起スコトヲ許可シタリ

第四　土人ノ行政

（六十五）　土人ノ行政ハアルゼリ征服ノ當時ヨリ佛國政府ノ尤モ苦慮シ尤モ力ヲ盡セシ所ノモノナリ大膽ナル騎兵ニシテ又勇強ナル步兵トナリ其ノ教育及歷史ハ之ニ戰ヲ好ムノ性ヲ涵養セシメ勢ヲ知ラス死ヲ恐レ其ノ宗教ヲ異ニスル者ハ總テ之ヲ邪惡トナシ之ヲ排攘スルニ避ケサルモノハ亞剌伯亞人ノ特性ナリ彼等ノ痛ク佛國遠征軍ヲ惱シタルモ亦此ノ特性アリシニ依ル彼等ハ實ニ長ルヘキ强敵ナリ故ニ彼等ヲ御スルニ當テハ嚴霜烈日ノ威ヲ以テ之ヲ伏スルト同時ニ其ノ需要ヲ欠カシメス其ノ風俗及信仰ハ飽マテ之ヲ敬重シテ安スル所アラシメサル可ラス且殖民ハ日ヲ逐テ盛ニ歐洲ノ風俗ハ四方ニ及ヒ彼ノ勇敢ナル土人ハ道德宗教ノ思想ヲ初メ習慣法律ヲ異ニセル移住人ノ爲ニ日ニ其ノ領有ヲ侵蝕セラレントス此際ニ當リ殖民上ノ利益ノミヲ計ラハ土人ヲ驅逐セサル可ラス土人ノ利益ヲ重セハ土地ノ多クハ彼等ノ占ムル所ナリ殖民ノ發達ヲ妨クルモノナシトセス此ノ如ク相反シ相戾レル利益ヲ有セル土人及歐洲人ヲ以テ充サレタル土地ノ行政ハ如何ニ非常ノ困難ヲ經過シ來リシカハ想像スルニ餘アリ

アルゼリ總督中尤モ有名ナル大將ブユジョーハ千八百四十七年四月十日各將官ニ訓諭ヲ發シ以テアルゼリ行政ノ方針ヲ示シタリ此ノ行政ノ方針ハ後ノ總督タル者ハ皆ナ之ヲ遵奉セサルモノナカリシ不幸ニシテ拿破崙三世之ニ反スル新ナル方針ヲ定メ其ノ結果遂ニ殖民上ノ利益ト土人ノ利益

トノ衝突ヲシテ日ニ盛ナラシムルニ至リタリ左ニ大將ブユジヨーノ各將官ニ發シタル訓諭ヲ譯ス

將官諸士亞剌伯亞人ニ對スル余ノ政略ハ之ヲ强壓シ之ヲ驅逐スルニアラス之ヲシテ我カ殖民ニ化同セシムルニアルコトハ余カ屢諸士ニ宣言セシ所ナリ卽チ總テ彼等ノ土地ヲ奪ヒ之ヲ他ニ驅逐スルニアラス其ノ土地部落ノ人口ニ比シテ廣漠ニ失スルトキハ彼等ガ既ニ久シク所有セル土地ノ一部內ニ之ヲ集合團結セシムルニアリ

余ハ永久ノ所持ハ所有權ニ均シク所有權ト同一ノ取扱ヲ受クヘキモノト信ス但シ純然タル所有權トハ少シク區別ヲ設ケサル可ラス卽チ單ニ永久所持ノ名義ヲ有スル部落ノ土地ヲ創減シ其ノ人民ヲ其ノ部落內ノ一部ノ土地ニ集合セシムルコトヲ得ル場合アリタルトキハ其ノ創減シタル土地ニ對シテハ賠償ヲ與フルヲ要セサルナリ但シ此ノ場合ト雖モ部落ニ對シ賠償ヲ與フルコトハ政略ノ宜ヲ得タルモノト云ハサル可ラス而テ此ノ賠償ハ部落ノ希望スル公益ノ性質ヲ有スルモノタルヲ要ス卽チ部落ノ爲ニ橋梁道路ヲ修築シ又ハ灌漑用ノ堰堤ヲ築キ若ハ回教寺院ヲ建築スヘシ又ハ土人ノ村落ヲ作ルヲ補助スル爲ニ木材鐵材又ハ職工等ヲ與ヘ又ハ土人住居ノ周圍ニ移植セシムル爲ニ必要ナル樹木ヲ配與スヘシ

此ノ部落ニ對スル恩惠ハ大ニ政略ニ裨益スルノミナラス部落ノ發達ヲ助テ國家富盛ノ國ヲ爲スコト勘少ニアラス故ニ決シテ之ヲ怠ルコト勿レ此ノ亞剌伯亞人ニ對スル方針ハ殆ト全ク政府ノ採納スル所ナルノミナラス議院ノ意思亦此ニ存ス且ツ此ノ方針ハ既ニ實行セラレタリ他ノ部落ニ對シテ實行セラルヽハ亦遠キニアラサルヘシ

千八百四十六年亞非利加臨時豫算委員モ永久ノ所持ハ所有權ト同視スヘキコトヲ報告セリ

右ノ精神ハ諸士カ歐洲人ノ殖民計畫ヲ爲スニ當テ忘ル可ラサルモノナリ而テ此ノ精神ハ殖民事業ノ進步ヲ決シテ妨クルモノニアラサルナリ然モ內部ニ於ケル部落領有ノ土地ハ決シテ狹少ニアラス卽チナラン「一州ニ於テ既ニ十五萬「エクタール」以上ニ達ス然ルニ決シテ之ヲ憂フルニ足ラサルナリ我レハ之ニ對シテ土人密集ノ政畧ヲ取ラシト欲スルナリ（卽チ各地ニ散在セル者ヲ纏テ集合定住セシメ其ノ餘リタル土地ハ之ヲ取リ上クルナリ）

前述ノ方針ニ依ルトキハ殖民上ノ計畫ハ土人ノ利益ノ相戻ラスシテ其ノ發達ヲ見ルヲ得ヘシ而モ土人ノ不平ハ機ヲ見テ破裂スヘク殖民事業ノ進步ニ對シテハ大ナル危險ト云ハサル可ラス此ノ危險ヲ緩和シ又全ク此ノ危險ナカラシメント欲セハ土人ニ耕作土地其ノ他ノ所有權ヲ保有セシメ土地ニ着住セシムルニアリ又新造村落ニ於テハ到ル處果樹ヲ栽培セシムルコトヲ奬勵ス

ヘシ果樹ノ栽培繁茂ホド人ナシテ其ノ土地ヲ愛護セシムルモノナシ一年ノ收獲ヲ捨テ暴動一揆ヲ爲スモノハ多シ然ドモ綠陰油然タル樹木ヲ犧牲ニシテ反ヲ謀リ一揆ヲ起スモノハ少ナシトス

土地ヲ檢定測量スル際ニハ土人ナシテ其ノ土地ハ收奪セラルヽカヲ疑ヒ恐レシムルヲ以テ十分ノ注意ヲ以テ此等ノ恐怖心ヲ彼等ニ起サシムルコト勿レ土人ノ不安心又不平心ハ屢々此ノ測地ノ機會ニ發生セシハ從來ノ經驗ニ徵シテ明ナリ諸士之ヲ忽諸ニスル勿レ

右ノ點ノミナラス總テ他ノ土人ニ對スル措置ニ付テハ諸士ノ愼重ナル注意ヲ望マサルヲ得サルナリ

大將　チユークチスリー

一　軍政地方

（六十六）既ニ述ヘタル如クアルゼリハ軍政地方及民政地方ノ二區ニ分タル民政地方ハ知事郡長行政官及區長ニ依テ支配セラル軍政地方ノ行政ハ師團區司令官旅團區司令官分管區司令官之ヲ掌ル

アルゼリ陸軍ハ其ノ管區ヲ分チ各管區ニ司令官ヲ置キ各管區ヲ以テ行政區域トナスアルゼリヲ分テ三師團區トナシ師團區ヲ分テ旅團區トナシ旅團區ヲ分テ分管區トス各州ヲ以テ一師團區トナス」

ナラン州師團區ニ四旅團區アルゼリ師團區ニ五旅團區コンスタンチーヌ州師團區ニ四分營區ヲ置キ各旅團ノ司令官ハ少將ヲ以テ之ニ充ツ

各師團區ノ司令官ハ中將ヲ以テ之ニ充テ軍政地方人民ノ行政ヲ掌ラシム師團司令官ハ行政官トシテハ民政地方知事ト同樣ノ職權ヲ有ス而テ其ノ民政事務ハ民政局亞剌伯亞局ヲ設ケ又土人酋長ヲシテ補助セシム

民政課ハ其ノ名稱ノ示ス如ク土人ノ民政ヲ司ル課員ハ課長一人職員若干名ヲ以テ組織ス皆ナ州廳ニ於テ行政事務ヲ取リシ者ヨリ撰任ス其ノ俸給ハ州廳官吏ノ俸給ニ同シ

師團長ノ權限ハ知事ニ均シキモノナルヲ以テ其ノ各省大臣又ハ總督トノ關係ニ於テモ尙ホ知事ノ各省及總督ニ於ケルカ如クナラサル可ラス故ニ師團長ハ定期ニ其ノ管內行政事務ノ報告ヲ總督ニ提出シ又知事ニ協議シテ州豫算ノ調製ニ任セサル可ラス

行政費ノ支拂命令ハ兵站監之ヲ爲シ土木事業ニ關シテハ要塞局又ハ砲兵局之カ支拂命令ヲ出ス

（六十七）旅團區司令官ハ少將又ハ相當將官ヲ以テ之ニ任シ師團長ノ如ク其ノ管區內ニ於ケル軍政及民政ヲ掌ル其ノ民政事務ヲ補助セシムル爲メ民政事務官ヲ設ケ總督之ヲ任免シ總テ司令官ノ指揮命令ノ下ニ立タシム其ノ職務ハ民政事務就中專ラ左ノ事項ニ任セシム第一稅率及租稅ノ統計

第二國有財產ノ管理第三土人邑ノ會計第四邑道ノ開築及修繕ニ要スル徭役第五山林及河川ノ收利第六水流使用方法及水力利用ノ特許第七殖民及土木ノ計畫第八土人ノ所有權及身分ノ取扱

（六十八）　民政事務官ハ試補及本官ノ二アリ彼等ハ師團長ノ上申ニ依リ書記官長ノ報告ノ後チ總督之ヲ任命スト雖モ試補ハ左ノ資格ヲ有スルニアラザレハ任用セラルヽコトヲ得ス

一　佛國人ニシテ二十二歲以上三十歲以下タル者

二　法學士タル者

試補ハ二千四百フランノ俸給ヲ受ク

左ノ條件ヲ具フルモノニアラサレハ本官ニ任用セラルヽコトヲ得ス

一　二年以上試補タリシコト

二　事務ヲ執ルニ差支ナキ程度ニマテ亞剌伯亞語ニ通スルコト

但シ曾テ特別官立學校ノ生徒タリシ者及アルゼリ行政事務官トナリ少ナクモ五年以上國庫ノ俸給ヲ受ケ且ツ亞剌伯亞語ニ通スル者ハ年齡ノ條件ヲ適用セス本官ニ任用セラルヽコトヲ得

本官ノ民政事務官ハ三千「フラン」以上四千「フラン」以下ノ俸給ヲ受ク

（六十九）　佛國行政區域ノ外ニ土人ノ行政區域アリ之ヲ分テ五階級トナス千八百四十五年ノ王命ヲ以テ階級ノ權限及位班ヲ定メタレ𪜈全ク實際ニ適セサルモノナキニアラス卽チ下級ノ酋長ハ直接上級ノ酋長ニ服スルモ其ノ第三次以上ノ上級行政區酋長ニ對シテハ上班ノ權限ヲ認メサルモノアルカ如シ

天幕ノ一團タル逐草部落ハ亞剌伯亞社會ノ組織ノ一素ナリ此ノ第一次ノ部落ハ合シテ亦一團トナリ第二次ノ部落ヲ爲ス行政區域ノ最下級タル行政區長ハ實ニ之カ酋長ナリ

第二次ノ團體亦相寄リテ第三次ノ部落ヲ作リ第四階級ノ酋長ノ下ニ支配セラル第三次部落ノ合シタルモノ第四階級ノ酋長ニ支配セラルヽコトアリ又第三階級ノ酋長ニ支配セラルヽコトアリ

陸軍ノ大隊區ハ此ノ第三次ノ部落ノ多數ヨリ成ルモノトス

（七十）　亞剌伯亞局ハ兵權ヲ以テ右ノ各行政區ノ酋長ヲ指揮監督セサル可ラス

土人酋長ノ職權ハ未タ明ニ規定セルモノアルヲ見ス然𪜈回教土人ノ上ニ至大ノ勢力ヲ有スル慣習ハ主權者ノ明文ノ規定ヨリモ寧ロ明白ニ酋長ノ職權ヲ規定セリ今彼等ノ職權ヲ擧ルトキハ卽チ佛國政權ノ指揮監督ノ下ニ在テ政治及司法警察權ヲ行ヒ租稅ヲ徵收シ及司令官ノ發スル命令ヲ施行スルニアリ

第五級行政區ノ酋長ハ政權ヲ有スルモノナリ彼ハ行政區ノ長トシテ實ニ一ノ官吏ノ資格ヲ有ス彼

ハ第四級行政區ノ酋長ノ命令ヲ受ケ左ノ行政事務ヲ行フ第一其ノ管區内ニ於ケル耕作上ノ爭ヲ判シ第二租稅ノ賦課ニ助力シ第三罰金及租稅ノ配賦及徵收ヲ司リ第四軍事ノ爲メ徵發セラレタル牛馬ヲ集メ第五部内住民ニ對シテ警察權ヲ行ヒ又佛國町村長ト同樣ナル職權ヲ行フ

酋長ハ部内ノ著名ナル住民ヲ召集シテ部落會議ヲ組織シ重要ナル事項ニ付テ其ノ意見ヲ求ム

（七十一）第四級行政區ノ酋長ハ部落中（第三次）ノ尤モ著名ナル住民中ヨリ師團長之ヲ撰任ス其ノ職權ハ第一亞剌伯亞局又ハ土人大酋長ヨリ傳達セラレタル佛國司令官ノ命令ノ施行ニ付テ責任ヲ有ス第二下級部落ノ酋長ヲ從ヘ其ノ部落内ニ於ケル租稅ヲ徵收ス第三警察權ヲ行フ、第四市場ヲ支配シ命令違背ノ行爲ヲ裁判シ又法律若クハ宗教法規ニ觸レサル輕微ナル喧嘩爭論ヲ裁判ス、第五陸軍ヨリ徵セラルヽ騎兵ヲ纏メ集ム彼等ハ一定ノ俸給ヲ受ケス然ヒ租稅及罰金ノ徵收費ヲ給セラル」

（七十二）第三級行政區ノ酋長ハ總督ニ依テ任命セラル彼等ハ第四級ノ酋長ヲ監督シ又第二級又ハ第一級行政區酋長ノ命令ヲ受ク然レ共命令ハ上級酋長ヲ經由セス直チニ佛國行政廳ヨリ傳達セラルヽヲ例トス

彼等ハ第四級酋長ト同シ職權ヲ有ス其ノ裁判權ハ稍大ニ且ツ廣クシテ各部落ノ人民ヲ裁判スルヲ得而テ下級部落ノ兵事及徵稅ノ事務ハ總テ之ヲ指揮監督ス

獨立ナル第一級第二級第三級酋長ハ總督之ヲ任命ス此等ノ酋長ハ其ノ部内ニ於テ政治及行政ノ權ヲ行フ其ノ大數ハ兵隊ヲ有シ佛國政府ハ治安ヲ維持セシムル爲メ之カ給養ヲ爲ス然ヒ此ノ兵隊ハ犬隊區司令官ノ許可ナキトキハ如何ナル運動ヲモ爲スコトヲ得ス

（七十三）土人部落ノ行政ハ未タ一定ノ法規ノ制定セラレタルモノナシ風俗習慣歷史ハ各部落間ニ實ニ甚シキ徑庭アリ而テ回教法典ノ解釋ヲ異ニスルヨリシテ各部落間ニ風俗習慣ノ相異反戻ヲ生スルコト數々少ナシトセス故ニ畫一ノ法制ヲ設クルコトハ困難ノ甚シキモノナリ然ヒブユジヨ山將軍ハ千八百四十四年此等ノ點ニ付テ標準ヲ定メタリ

土人行政ノ規則ハ數々設ケラレ又數々變更ヲ經タリ佛國行政官及土人酋長ノ權力ハ數回ノ變遷ヲ經過セリ千八百三十年ヨリ千八百三十四年マデハ土人ノ行政ハ全ク土人酋長ノ下ニ置カレ酋長ハ行政ノ全權ヲ委セラレタリ千八百三十四年ニ於テ土人酋長ハ陸軍司令官ノ下ニ從ハシメラレタルモ千八百三十七年ニ至リ此ノ制度モ廢止セラレタリ之ト同時ニ亞剌伯亞事務局ヲ設置シ此ノ事務ハ千八百三十九年ニ參謀將官ノ職務ノ一トナリ千八百四十一年ニ至リ新ナル獨立ノ一局トナリ千八百四十四年ニ亞剌伯亞局ヲ設置シタリ

亞剌伯亞局ハ其ノ設置ノ初ニ當リテハ甚タ大ナル權力ヲ有シタリ千八百四十四年二月十二日ノ規

則ハ司令官ニ委スルニ師團長ノ許可ヲ得テ百「フラン」以上五百「フラン」以下時トシテ五百「フラン」以上ノ罰金ヲ科スルノ權ヲ以テシタリ殆ト總テノ犯罪ハ此ノ加減ノ自由ナル罰金ヲ以テ處分シ時トシテハ土人ノ土人ニ對スル殺人罪モ此ノ罰金ヲ以テ處分シタリ（後ニ其ノ規則ノ全文ヲ譯出スベシ）

右ノ專斷ナル亞剌伯亞局ノ權力ハ千八百五十八年マデ維續セラレタリ五十八年ニ至リ其ノ弊害ノ甚シキヲ認メ此ノ專橫ナル酋長又ハ司令官ノ裁判權ニ代フルニ懲罰委員ヲ組織シ以テ土人犯罪ノ裁判所ヲ搆成シタリ千八百五十八年九月二十一日始テ省令ヲ以テ此ノ委員ヲ組織シタリ其ノ後千八百六十年千八百七十二年千八百七十三年ニ於テ改正ヲ經タリ然ルニ此ノ制ハ今日ハ全ク廢止セラレ千八百七十四年十一月十四日ノ命令ヲ以テ現行制ヲ發セラレタリ（後ニ全文ヲ譯出ス）

（七十四）　千八百七十四年十一月二十六日ノ命令第二十六條ニ依ルトキハ軍政地方ノ行政ヲ任セラレタル陸軍司令官ハ亞剌伯亞局士官及前衛士官ニ委任スルニ禁錮八日以下ニ處シ罰金三千「フデン」以下ヲ科スルヲ得ル權限ヲ以テスルヲ得亞剌伯亞局ノ軍政及民政事務ノ繁多ニシテ困難ナルヲ思フトキハ此ノ罰金及禁錮ノ權限ハ不十分ナルヲ感スベシ

（七十五）　土人酋長ハ軍政地方ニ於テハ陸軍司令官ノ重ナル補助吏員タリ其ノ權限ハ征服以來變

遷定リナシ然ルニ常ニ其ノ權限ハ減縮セラレツヽアルノ狀勢ヲ呈セリ佛國カアルゼリヲ征伏シ始テ土耳古ニ代テ其ノ政權ヲ行ヒシトキハアルセリノ政治上及宗教上ノ權力及兵馬ノ權ハ全ク數箇ノ家族ノ手中ニ在リ而テ此等ノ家族ハ豪族制度ヲ組織セリ其ノ習慣歷史ヲ頑守スル亞剌伯亞人ハ此等ノ豪族ニ結合セル緣因ヲ決シテ破ラサルナリ假令行政上此ノ上下ノ關係ヲ破壞セシ時サヘモ尙ホ上下ノ關係ハ敬重シテ存置セサルヲ得サル場合ニ遭遇シタルコト數々ナリシ此ノ酋長ト被治者ノ關係ノ程度ハ部落ニ依リ地方ニ依リテ同シカラサルナリ故ニ亞剌伯亞局酋長ノ權力ハ同一樣ニアラス千八百四十五年ノ勅令ハ酋長ノ職權ハ回敎ノ慣例ニ依リ及總督ノ訓令ニ依ルモノナルコトヲ規定セリ

（七十六）　千八百四十四年二月ノ總督府令ハ罰金ヲ科スルニ付テノ酋長ノ權力ノ範圍ヲ定メタリ然ルニ實際ニ於テ此ノ權限ハ遵守セラレタルコトナシ千八百六十年千八百七十二年及千八百七十三年ノ命令ハ罰金ノ金額ヲ減シ遂ニ千八百七十四年十一月十四日ニ至リ酋長ハ違警罪其ノ他ノ微罪ニアラサレハ罰スルヲ得ズ而テ其ノ科シ得ベキ罰金ノ額ハ二十「フラン」以上ニ及フコトヲ得サルノミナラス其ノ罰金ハ其ノ隷屬スル佛國官廳ノ許可ヲ經ルニアラサレハ徵收スルヲ得サルモノトナレリ

酋長ハ又酋テ其ノ部下人民ヲ任意ニ禁錮スルノ權ヲ有シタリ然ドモ今日ニ於テハ此ノ權利ヲ有セス如何ナル上級ノ酋長ト雖ドモ部下ヲ禁錮拘留ニ處スルコトヲ得ス若シ現行犯ノ場合又ハ公共ノ治安ニ直ニ危害ヲ及スヘキ場合ニ於テ已ヲ得ス犯人ヲ逮捕スルトキハ直ニ佛國行政廳ニ報告シ犯人ヲ之ニ交付スヘシ

（七十七）　土耳古政權ノ下ニ在リシトキハ酋長ノ權力ハ血統ニ依テ相續セシヲ以テ政權ノ委任ハ唯タ名義ニノミ止マリタリ然ドモ今日ニ於テハ之ニ異ナリ酋長任免ノ全權ハ總督之ヲ有ス酋長任免ノ辭令ハ之ヲ佛國官報又ハアルゼリ官報ニ登載スルモ土人ノ多數ハ皆ナ是レ不文ノ者ナルヲ以テ官報ノ登載ハ人民一般ニ周知セシムルヲ得ズ故ニ酋長ノ任免ハ官報ニ登載スルト同時ニ公共市場ニ於テ高聲ヲ以テ宣言シ以テ關係アル土人ニ周知セシムルノ方法ヲ行フ

酋長ハ特別ナル儀式ヲ行ヒタル後チ其ノ職ニ就ク此ノ儀式ニ於テハ印璽及被服ヲ授與ス

（七十八）　未タ歸化セサル土人ハ警察法ニ付テハ歸化人ト同シク私法ニ付テハ回教法典ノ解釋及官ノ許可ヲ得タル注釋家ノ說ニ基ケル法規ニ依テ支配セラル且ツ土人ハ特別ナル刑法寧ロ土人法典ト稱スヘキ規則ノ下ニ置カル

軍政地方ニ於ケル土人ノ刑罰ハ實ニ單純ナルモノナリ此ノ刑罰法ハ千八百四十四年二月十二日ブ

ユジョー將軍ノ命令ヲ以テ創始セラル此ノ刑罰法ハ如何ナル種類ノ犯罪ヲ問ハス總テ罰金ヲ科ス唯タ土人ノ歐洲人ニ對シテ犯シタル罪ハ殆ト全ク軍法會議ニテ裁判ス

土人刑罰法ノ罰條ハ左ノ如シ

左ノ犯罪人ニ對シテハ第四級酋長ハ二十五「フラン」以下第三級酋長ハ五十「フラン」以下第二級酋長及第一級酋長ハ百「フラン」以下ノ罰金ヲ科スルコトヲ得

一　軍事及政治上ノ犯罪

一　徭役輸送ヲ命セラレ之ニ服セサル者

一　第五級酋長ノ命ニ從ハサル者

一　官吏（土人ノ役員）ニ對シテ侮辱ヲ爲シタル者

一　官吏ニ對シテ其ノ威嚴ヲ損スヘキ讒謗誹毀ヲ爲シ若クハ人民ノ騷擾ヲ挑發スヘキ演說ヲ爲シタル者

一　書狀配達夫ノ賃金支拂ヲ拒ミタル者

一　旅人款待ニ關スル慣習ニ違背シタル者就中旅人ノ政府官吏タル場合ハ其ノ罪尤モ重シトス

一　佛國貨幣ヲ受クルヲ拒ミタル者

一 市場ニ於テ秩序ヲ紊シ騒擾スル者
一 租稅ノ不納又ハ延滯ヲ爲シタル者
一 佛國官憲ニ對シ侮辱ノ言辭ヲ用ヰタル者
一 戰時召集ノ時故ナク不在セシ者
一 土人ノ役員ニ對シ暴行ヲ爲シタル者
一 他ノ部落ニ於テ騷動ヲ爲シタル者
一 犯罪人又ハ脫營兵ヲ宿舍セシメタル者
一 敵ノ役員又ハ敵ノ間諜ニ宿舍恩惠ヲ與ヘタル者
一 敵ノ部落人民ト交通スル者
一 特別ナル許可ヲ得スシテ銃器火藥其ノ他軍用ニ供スル物品ヲ賣買シタル者
一 官ニ屬スル動產不動產ヲ故ナク所持スル者
一 馬匹武器其ノ他ノ軍用物件ヲ竊盜シタル者

二 常事犯罪

一 被告人又ハ證人トシテ裁判所ニ出庭スルコトヲ拒ミタル者

一 道德ニ反セル行爲アル者
一 鬪爭喧嘩ヲ爲シタル者
一 土地ノ境界又ハ牧場權ニ付テ他人ノ權利ヲ犯シタル者
一 共同ノ所有權ヲ害シタル者卽チ果樹ヲ毀壞シ井ヲ不良ニ爲シタル者等ノ如シ
一 第四級酋長ノ裁判施行ヲ拒ミタル者
一 土人間ノ竊盜及贓物受寄

左ノ犯罪人ニ對シテハ佛國陸軍司令官ハ百「フラン」以上ノ罰金ヲ科ス

一 軍事上及政治上ノ犯罪
一 謀反ヲナシ又ハ之ヲ敎唆シタル者
一 火藥ヲ製造シタル者
一 軍隊ニ屬スル家畜馬匹武器其ノ他ノ物件ヲ竊取シタル者
一 官廳ノ印判ヲ僞造又ハ竊取シタル者
一 郵書ヲ竊取シタル者
一 詐僞ヲナシタル者

二　常事犯罪

一　詐偽取財

一　偽造貨幣ヲ製造シ又ハ使用シタル者

一　土人ヲ殺シタル者

（七十九）征伏塗ク終リ佛國政權ノ確立セラルヽニ及ヒ罰金ノ刑ハ唯一ノ制タルコトヲ廢止セラレ行政處分ヲ以テ禁錮ノ刑ヲ科スルノ習慣ヲ生シタリ千八百五十八年ニ至リ軍事的ナル此ノ任意專斷ナル刑罰制度ハ廢止セラレ刑罰委員ナルモノヲ設ケ以テ裁判ヲ行フニ及ヒタリ然ルニ彼ノ任意的專斷制度ノ刑罰ハ事實上塗ク廢絕セラルヽニ至ルニハ多クノ歲月ヲ經過スルヲ要シタリ

（八十）刑罰委員ノ犯人ヲ處シ得ヘキ刑罰ハ千八百七十四年十一月十四日ノ規則ヲ以テ定メラレタリ

一　大隊區刑罰委員ハ二ケ月以下ノ禁錮ニ處シ及二百「フラン」以下ノ罰金ヲ課スルコトヲ得

一　旅團區刑罰委員ハ一年以下ノ禁錮ニ處シ及千「フラン」以下ノ罰金ヲ課スルコトヲ得

一　前ニ列擧シタルモノヨリ以上ノ禁錮及罰金ハ上級ノ刑罰委員ノ職權ニ屬スルモノトス

（八十一）是ヲテ列擧シタル刑罰ハ刑罰法中ニ規定セル犯罪ニ限リテ之ヲ課スルモノナリ此ノ刑罰ノ外ニ土人ハ單ニ治安ニ危險ナリト認メラレ以テ二ケノ嚴罰ニ處セラルヽコトアリ卽チアルゼリノ追放及畫地幽閉是ナリ此ノ二處分ハ久シキ歲月間軍隊司令官ノ專決ヲ以テ宣告セラレタリ今日ニ於テハ總督又ハアルゼリ府刑罰委員ニアラサレハ之ヲ宣告スルヲ得ス被追放人ハ其ノ追放年限中ハ總督ノ特許ナキ以上ハ追放地ニ來ルコト能ハス此ノ禁ヲ犯シタル者ハ三ケ月以上二年以下ノ禁獄ニ處シ再犯ノ場合ニハ二倍ノ刑ヲ科スルヲ得

畫地幽閉ニ處セラレタル者ハ土人監獄所在地ニ幽閉シ監獄ヨリ之ヲ給養ス此ノ費用ハ土人所轄ノ旅團區地方稅ヲ以テ支辨スルモノトス

（八十二）土人刑罰法ノ任意ニシテ又其ノ單純ナルハ土人刑法ノ特色ナリ然ルニ此ノ特色外ニ一種ノ注意スヘキ特質アリ卽チ犯罪地部落ヲシテ此ノ犯罪ニ連帶責任ヲ有セシムルコト是ナリ此ノ連帶責任ハ千八百四十四年一月二日ブユジヨー將軍ノ訓令ヲ以テ設ケラル其ノ理由及適用ノ方法ハ同將軍ノ左ノ書面ニ依テ明カナリ

各州ニ於テ數々犯サレタル殺人罪及竊盜ニ付テハ我々ハ殆ント其ノ兇者ヲ捕縛スルヲ得サリシ犯罪アル毎ニ我々ハ多クノ嫌疑者ヲ捕フルモ確實ヲ得サルコト多シ是ニ於テ遂ニ犯罪地ノ部落全體ニ對シテ罰金ヲ科セサルヲ得サルニ至ル此ノ如キ犯罪ノ跡ヲ絕チ又犯人ヲシテ苟モ免ル、

コトナカラシメン爲メ余ハ此ノ場合ニ於ケル一般ノ順序ヲ示サントス

竊盜罪又ハ殺人罪ヲ犯シタル後ニ於テ犯人ノ最モ先ツ注意スル所ハ隱匿ニアリ捜索密ナレハ犯人ノ注意モ亦密ナリ犯人若シ注意シ居ラレサルモノト信シタルトキハ自ラ安シ自ラ注意スルコト亦淺シ是ニ於テカ緻密ナル探偵ハ眞ノ犯人ヲ得ルコト容易シ

就中土人ニ於テハ竊盜又ハ殺人兇行者ハ決シテ全ク其ノ非行ヲ隱シ終リ居サルナリ土人ハ能ク互ニ相知リ皆ナ一ノ住居ヲ有シ家族ヲ有シ又多數ノ朋友知己ヲ有セリ若シ殺人ノ所爲復讐ノ爲ニ出ツルモノトセンカ彼等ノ朋友知人ハ殺人ノ原因ヲ聞知セサル者ナカルヘシ若シ殺人ノ所爲カ利欲ノ爲ニ出タリトセンカ彼ノ朋友知人ハ其ノ强奪ノ物品ヲ見サルコトナカルヘシ故ニ犯罪ノ秘密ハ容易ニ土人ヨリ買收スルコトヲ得ヘシ是レ犯人探知ニ用ヰル所ノ眞法ナリ且ツ我々カ部落ノ連帶責任ヲ維續セント欲スル所以ナリ此ノ方法ハ一人ノ不眞ノ爲ニ災ヲ萬人ニ及ホスモノナリ故ニ最後ノ場合ニアラサレハ適用ス可ラス

連帶責任ヲ以テ眞民ニ罰金ヲ負擔セシメ以テ國庫收入ノ一部ヲ補フコトハ眞ノ必要ニアラス眞正ノ犯人ヲ罰シ以テ土人一般ヲ戒飾スルコトハ土人制御ノ上ニ於テ必要ニシテ且ツ大利アルコトハ忘ル可ラサルナリ

故ニ若シ二ケ月後ニ至ルモ犯人ノ發見セラレサルトキハ第一級酋長自ラ罰金ヲ科セラルヘキコトヲ余ハ酋長ニ豫告セントス又第四級酋長ハ其ノ部落内ニ於テ殺人又ハ竊盜數行ハレ其ノ犯人ノ發覺セラレサルコトアル場合ニハ其ノ職ヲ免セラルヘシ各部落ハ其ノ部内ノ犯罪ニ付テハ連帶責任ヲ有ス故ニ此ノ負擔ヲ免レント欲セハ犯人ヲ告發スルノ外道ナキコトヲ部内人民ニ了知セシムル爲メニハ各部落ニ訓諭ヲ發スヘシ

此ノ刑罰法ノ施行ハ六十日間ノ猶豫ヲ與フ是レ此刑罰ノ目的ハ徒ニ彼ヲ壓虐スルニアラス全ク全國ノ治安ヲ保持スルニアルコトヲ證スルカ爲ナリ

贓品ヲ其ノ部内ノ市場ニテ賣買セシメ又ハ他ノ部落若クハ他ノ州ノ犯人ヲシテ其ノ部落内ニ隱匿セシメタルトキハ酋長ハ罰金ヲ科セラレ又ハ免職セラルヘキコトヲ各酋長ニ向テ諭メ訓諭シ置クコトハ尤モ必要ナリトス

土人酋長及其ノ部内土人ニ對シテ右等ノ處分ヲ取ルノ外犯罪アリタル地方ニハ敏捷ナル探偵ヲ發シ犯人ヲ發見シタル場合ニハ優ニ之ヲ賞與スルニ躊躇ス可ラス何トナレハ二三ノ犯人ヲ罰シ以テ苟モ惡事ノ免ル可ラサルコトヲ例示スルハ公共ノ治安ヲ保持スルニ餘リアルヘケレハナリ

余ハ直ニ此ノ訓令ヲ實施シ以テ瓦好ナル結果ヲ見ンコトヲ希望シテ止マサルナリ

千八百四十四年一月十二日アルゼ府ニ於テ

大將　ブユジョー

（八十三）　大將ランドンハ其ノ總督在職中ニ部落ノ連帶責任法ハ其ノ實際ノ利益ハ實ニ爭フヲ得サルモ其ノ原ル點ニ於テ瓦好ナル結果ヲ得タリ此ノ連帶責任法ヲ嚴重ニ施行シ社會ノ治安ヲ保持ス理論トシテハ薄弱ナル點アルコトヲ免レサルヲ以テ遂ニ甚シキ反對論ヲ生シ千八百五十八年アルゼリ省創設ノ始ニ於テ奈破崙ニ依リ此ノ制度ハ廢止セラレタリ然ルニ此ノ深慮ナラサル決行ノ結果ハ各部落ニ於テ人事及財產ニ關スル犯罪ノ增殖トナリ政府ハ陸軍司令官ニ委スルニ或ル場合ニ限リテハ連帶責任法ヲ執行スルヲ得ルノ權ヲ以テセサルヲ得サルニ至リ次テ又間モナク從來ノ責任法ヲ總テ回復スルニ至リタリ

千八百五十八年以來連帶責任法ハ軍政地方ニ數々實行セラレ罰金ハ部落ノ總テノ土人ニ科セラルヽコトアリタリ千八百四十四年ノ訓令ニ依ルトキハ連帶責任ヲ宣告スルノ權ハ總督ニ依テ旅團區司令官ニ委任セラレタリ然ルニ千八百五十八年ノ訓令ハ此ノ權ヲアルゼリ省大臣ニ與ヘタリ千八百六十年ノ勅令ハ之ヲ以テ總督ノ權限ト定メタリ

此ノ連帶責任法ハ今日ニ於テハ軍政地方ノ部落ニ限リテ之ヲ施行ス民政地方ノ部落ニハ施行スルヲ得サルナリ

（八十四）　山林火災ノ場合ニモ連帶責任法ヲ適用ス此ノ責任法ニ關スル委員ノ報告ニ曰ク豫防ノ方法ハ懲罰ノ程度ニ比例セサル可ラス嚴重ナル懲罰ニハ嚴重ナル豫防ヲ要ス佛國ハ在アルゼリ佛人ニ對シ有效ナル保護ヲ與フルノ義務アリ個人刑罰ニシテ其ノ效力ナクハ法律ハ連帶責任法ヲ設クルコトヲ妨ケサルナリ此ノ責任法ハ佛國法理ノ反對セサルノミナラス却テ其ノ確認スル所ナリ山林火災ノ場合ニ於テ部落ノ連帶責任ヲ適用スルコトハ騷擾ノ場合ニ町村ヲシテ責任ヲ負ハシムルト其ノ原則ヲ異ニスル所ナシ連帶責任法ハ理論上之ヲ認ムヘキノミナラス土人ノ狀態ハ實ニ之カ必要ヲ認ムルモノアリ土人ハ共同ノ所有權ニアラサレハ個人ノ所有權ヲ知ラサルナリ個人ノ所有權ハ法律上ハ既ニ認メラルル然ルニ事實上其ノ存立ヲ見ルノ期ハ甚タ遠シ故ニ各個人ニ罰金ヲ科スルカ如キハ殆ト出來得ヘカラサルモノト云ハサルヲ得ス右ノ理由ヲ以テ委員會ニ於テハ連帶責任ノ必要ヲ認メ軍政地方ハ固ヨリ民政地方ニ於テモ連帶責任罰金法ヲ新ニ規定スヘキ必要アルモノト決定シタリ云々

（八十五）　土人ハ戰ニ敗レタル敵兵ノ動產及不動產ハ勝利者ニ屬スルモノト信セリ故ニ歐洲ノ戰

法ニ於テ許サヽル分捕ハ回教法ハ却テ之ヲ承認セリ此ノ分捕ニ關シアルゼリニ於テハ千八百四十一年四月二十六日ノ命令ヲ以テ此ノ分捕ヲ許シ分捕ニ關係シタル政府及軍隊及土人軍隊ノ間ニ於ケル分捕品ノ分配方法ヲ規定シタリ

土人ハ歐洲昔時ノ農民ノ如ク徭役ノ義務ヲ課セラレタルコトアリシ此ノ徭役ハ佛國政府ニ依テ命セラレ又部落ノ利益ノ爲ニ起工セラレタル土木事業ニアラサレハ之ヲ課セサルモノトス千八百六十五年四月二十九日ノ總督府令ハ町村土木事業ハ總テ土人町村又ハ土人部落ノ負擔トナシ其ノ町村又ハ部落ノ費用不足スルトキハ徭役ヲ課スルモノト定メタリ

徭役ハ四日以上ニ出テサルモノト定メラル所有者又ハ賃借人タルヲ問ハス十八年以上及五十五年以下ニシテ一家屋ニ住スル主人ハ何人タルニ關セス徭役ノ義務アリ徭役ハ金錢ヲ出シ以テ之ヲ贖フヲ得但シ徭役ノ半部ハ必ス之ニ服セサル可ラス又徭役ノ償金ハ毎年町村ニ於テ定メ師團司令官ノ認可ヲ受クルモノトス

徭役ヲ課セラレ之ニ服セサルモノハ二倍ノ役ヲ課セラル再犯ノ場合ニハ刑罰法ニ依リテ罰金及禁錮ノ刑ニ處セラル若シ軍政地方ヨリ民政地方ニ移轉シタル爲メ徭役ヲ果サス又ハ代人ヲ出サヽルトキハ總テ金錢ヲ以テ之ヲ徵收シ其ノ徵收ハ租稅徵收處分法ニ依ル

（八十六）　左ニ軍政地方ノ行政ニ必要ナル諸法規ヲ擧ク

○亞剌伯亞土人局組織ニ關スル省令（千八百四十四年二月一日）

第一章　組織及階級

第一條　アルゼリ各師團區司令官ノ下ニ亞剌伯亞土人局ヲ設ク

各旅團區司令官ノ下ニ土人課ヲ設ク但シ旅團區中ニ於ケル軍隊ノ占領地其ノ他必要ナル地ニハ更ニ之ヲ設クルモノトス

第二條　亞剌伯亞土人課ヲ二等ニ分ツ一等課ハ旅團區ノ首府ニ二等課ハ旅團區ノ首府以外ノ地ニ設クルモノトス

前項ノ土人課ハ其ノ所在地ヲ管轄スル陸軍分區司令官ノ下ニ屬ス

第三條　土人局及土人課ハ亞剌伯亞語ノ飜譯起草市場ノ監督其ノ他土人ニ關スル一切ノ事務及總督ニ提出スヘキ行政上政治上ノ狀況ニ係ル報告ノ起草ヲ任セラル

アルゼ府ニ於ケル土人局ハ其ノ局トシテノ事務ノ外ニヲラン州及コンスタンチーヌ州ノ土人局ノ事務ヲ總轄シ之ニ關スル書類ヲ輯集保存シ及陸軍大臣ニ提出スヘキ一般報告ノ起草ニ任ス依テアルゼ州ノ土人局ハ土人行政事務中央局ト稱ス

中央局ハ總督之ヲ直轄ス

第五條　土人事務ハ何ノ地タルヲ問ハス陸軍司令官ニ屬シ司令官ハ命令ヲ發シ之ニ署名スルノ資格ヲ有ス

○族團區司令官ノ下ニ民政事務官ヲ設クルノ總督府令

第一條　アルゼリ各族團區ニ於テハ事務ノ必要ニ依リ總督ノ指定スル所ニ從ヒ族團司令官ノ助役トシテ民政事務官ヲ設ク

第二條　民政事務官ハ司令官ノ直轄ノ下ニ置カレ民政事務就中左ノ事項ニ關シ之カ調査取扱ヲ命ス第一稅率及租稅ノ統計第二國有財產ノ管理第三土人邑ノ會計第四里道ノ開築及修繕ニ關スル徭役ヲ賦課第五山林及鑛山ノ收利及採堀第六水流使用方法及水力利用ノ特許第七殖民及土木事業ノ計畫第八土人ノ所有權及身分ノ取扱

第三條　民政事務官ハ本官及試補ニ分ツ師團司令官ノ提議ニ依リ民政及財務局長ノ報告ヲ經テ總督之ヲ任命ス

第四條　左ノ資格ヲ有セサレハ試補ヲ命セラルヽコトヲ得ス

一　二十二歲以上三十歲以下ノ佛國人

二　法學士

第五條　二年以上試補ヲ勤メ行政事務ヲ取ルニ充分ナル程度ニマテ亞剌伯亞語ヲ解スル者ニアラサレハ何人モ本官ニ任セラルヽコトヲ得ス

但シ曾テ特別及官立學校ノ生徒タリシ者及アルゼリ行政官ニシテ少クモ五年以上國庫ノ俸給ヲ受ケ且ツ亞剌伯亞語ニ通スル者ハ年齡ノ條件ヲ適用セス本官ニ任用スルコトヲ得

第六條　民政事務官試補ハ二千四百「フラン」ノ俸給ヲ受ク

第七條　民政事務官ノ進級及服務紀律ニ關シテハ千八百六十二年四月十六日ノ規則ヲ適用ス民政事務官ノ俸給ハ州廳官吏ノ本官及課次長ノ俸給ニ同シ

○行政ノ方針ニ關スルブユシヨー將軍ノ訓令（千八百四十四年九月十七日）

征伏後ニ於テ人民ニ對シ善良ナル行政ヲ施行スルコトハ戰勝者ノ第一ノ義務タルノミナラス又其ノ第一ノ利益ニシテ政略及仁愛ノ共ニ我々ニ嚴命スル所ナリ

右ノ點ニ付テハアルゼリノ征伏ハ歐洲ニ於ケル戰勝ノ結果ト異ナル所アリ歐洲ニ於テ一州ヲ取リ一縣ヲ略スルヤ其ノ地ニ新人民ヲ來往セシムルノ必要ナシ何トナレハ其ノ風俗宗教相異ナラサレハナリ何人モ異宗教異風俗ノ人民ニ與フル爲ニ他ノ土地ヲ畧取スルモノニアラサルナ

リ

之ニ反シテアルゼリニ於テハ土地ヲ略取スルト同時ニ新人民移植ノ路ヲ策セサル可カラス從テ各般ノ事業實ニ非常ニ困難ヲ顯ハサザルハナシ故ニアルゼリ行政ニ付テハ我々ハ尤モ愼重ヲ要シ尤モ不撓ニ活潑ナラサル可ラス又尤モ忍耐ニシテ厭倦ヲ生ス可ラス我々ハ彼土人ノ前支配者ヨリモ正義ヲ重シ又優勝ナル行政ノ能力ヲ有スル者ナルコトヲ彼等ニ例示スルノ目的ヲ以テ常ニ彼等ニ接シタリ我々ハ彼等ヲ以テ佛國ノ愛兒ノ如ク優遇スヘキコトヲ彼等ニ約シタリ又我々ハ彼等ノ法律所有權宗教習慣ヲ破壞セサルヘキコトニ付テ明確ナル保安ヲ與ヘタリ故ニ我々ハ彼等ニ對スルノミナラス我々自身ニ對シ我々ノ前約ヲ遵守スルノ義務ヲ負ヘルモノナリ

我々ハ既ニ我カ兵威武力ヲ十分ニ各部落ニ示シタリ我々ハ今後我カ厚意及我カ正義ヲ知ラシメ我カ政府ヲ信スルコト土耳古及アブテルカデルノ政府ヲ信スルヨリ大ニ厚カラシメサル可ラス故ニ始ハ彼等ヲシテ我カ政治ヲ以テ其ノ下ニ居ルニ堪ヘサルモノト爲サシメス次テ彼等ヲシテ我カ政治ニ慣レシメ終ニハ全ク我々ト共ニ佛國政府ノ一人民ト爲リ之ニ化同スルニ至ラシムルコトハ我々ノ今日ニ於テ希望スル所ナリ

強硬ニシテ又心切ナルコトハ善良ノ行政ニ欠ク可サルモノナリ然ヒ善良ナル行政ハ極テ希ナル

場合ニアラサレハ兵力ニ依ルノ必要ヲ生セサルノ利益ヲ有スルコトハ我々ヲシテ信シテ疑ハシメス

行政ノ主義方針ニ統一アルコトハ作戰上ニ統一ノ主義ノ必要アルカ如シ我々カアルゼリノ征伏ヲ致シタルハ其ノ功作戰ノ主義ニ歸ス我々ハ行政上ニ於テ善良ナル各地統一ノ主義ヲ採用シ以テ戰功ヲ以テ得タルモノヲ行政ヲ以テ失ハサルコトヲ勉メサル可ラス

何ノ地タルヲ問ハス警察刑罰租稅ハ同一ナルヲ要ス其ノ間決シテ差異アル可ラス之ヲ要スルニ各般ノ行政事務ハ各地盡一ノ制度ニ依ラサル可ラス

本訓令ノ目的ハ土人行政事務ヲ任セラレタル各將校諸士ノ行政方針就中左ノ諸點ニ於ケル注意ヲ喚起スルニ在リ

一　土人官吏

州及旅團區ノ最高行政權ハ之ヲ司令官ニ委シ下級ノ官吏ニハ土人ヲ採用シ以テ土人ヲシテ土人ヲ支配セシムルコトハ善良ナル行政ノ必要トスル所ナリ且ツ今日ノ狀勢ニ於テハ土人官吏ヲ採用スルコトハ事實上已ム可ラサル必要ナリ何トナレハ土人ノ言語風俗慣習ヲ知了セル土官ノ數乏シク各部落ノ酋長ニ代フルニ佛人ヲ以テスルニ至ルハ其期實ニ悠遠ナレハナリ

故ニ其ノ家柄ニ依リ又ハ其ノ軍事上若ハ行政上ノ行爲ニ依リ各部落ニ勢力ヲ有スル土人ヲ使用シテ我々行政上ノ補助ヲ爲サシムルコトハ今日ノ必要トスル所ナリ

土人中ニ於テ大勢力ヲ有スルハ家柄ナリ但タ土人任用上ニ於テハ家柄ヲ以テ唯一ノ標準ト爲ス可ラスト雖モ其ノ大ナル標準タルヲ失セサルナリ勢力アル家柄ニ權力ヲ與ヘサルコトハ危險ナル大敵ヲ作ルモノナリ故ニ之ヲ疎斥スルヨリハ之ヲ陣中ニ置クコト其ノ利益幾何ナルヲ知ラサルナリ

抑モ亞剌伯亞豪族ハ傲驕ニシテ且ツ自信ヲ有スルコト強シ故ニ人若シ之ヲ疎外シテ何等ノ職務ヲモ與ヘサランカ彼ハ其ノ宗教ノ爲及國ノ爲ニスルト稱シテ直ニ死ヲ忘レ激烈ナル反抗ヲ爲スニ躊躇セサルヘシ彼等ノ迷謬ヲ攪破シ又ハ多少之ヲ減少スルノ良法ハ彼等ヲシテ我用ヲ爲サシムルニ在リ故ニ土人官吏ノ任用ハ行政的ナルト同時ニ政略的ナラサル可ラス州師團司令官及旅團司令官諸士ハ任用ニ關シテハ十分土人ノ情勢ヲ熟知セラルヘシ故ニ土人ヲ任用スルニ際シテハ部落ノ傾向ヲ確ムル爲メ彼等ニ諮問スル等ノコトナカルヘシ又ナキコトヲ切望ス

一ノ部落中勢力アル土人ナク又行政ノ職ヲ充スニ足ル材幹アル土人ナキ場合アリ此ノ場合ニハ若シ其ノ部落ニシテ占領地中央部（全占領地ヲ數區ニ分チ各區ニ中央部ヲ設ケタルモノナリ）ノ近接ナルトキハ土人行政ニ適當ナル材幹アル佛國士官ヲ派シ以テ其部落ノ行政ヲ掌ラシムルヲ宜トス

右ノ處分ハ既ニ或ル地方ニ於テ施行シ良好ナル結果ヲ得タリ又各部落ノ土人酋長ニ對シ佛國行政ノ正シク且ツ規則アルコトヲ例示スルノ好法ナリ各部落ノ土人若シ佛國行政官ノ正義ニ富ミ秋毫モ犯スコトナキヲ見ハ其ノ行政官トシテ佛人ヲ推戴センコトヲ乞フニ至ルヘシ而シテ土人酋長ハ又遂ニ之カ爲ニ其位地ヲ失フノ危險ヲ感シ不正ナル行政ノ方針ヲ變スルニ至ルヘシ

土人中ヨリ善良ナル官吏ヲ擇任シ得タルヲ以テ事足レリト爲ス可ラス十分ニ之ヲ監督セサル可ラス又之ヲ指導シ之ヲ敎育シテ我カ風化ヲ受ケシメサル可ラス之ト同時ニ被治者ノ土人ヲシテ之ヲ尊敬セシメ又通常土人ニ對シテ其ノ品格ヲ保持セシムル爲ニ之ニ尊敬スヘキ位地待遇ヲ與ヘサル可ラス

土人官吏ニ對シテ訓諭ヲ發シ又ハ之ヲ譴責スヘキコトアルトキハ決シテ土人ノ前ニ於テ爲ス可ラス彼等ニ對シテ就中公衆ノ前ニ於テ激怒ノ擧動アル可ラス

土人官吏ニ對スル苦情告訴ハ決シテ容易ク之ヲ容ル可ラス權力ノ欲望嫉妬ハ官職ヲ有スル土人ニ對シテ讒誣ヲ來スコト多シ故ニ十分事實ヲ確メタル後ニアラサレハ土人官吏ニ對スル告訴ヲ容ル可ラサルナリ

善良ナル品行ヲ有セル酋長ニ對シテハ階級ノ高下ニ係ラス佛國士官ハ榮譽ト厚意トヲ以テ之ヲ優遇スベシ

土人ハ感情ニ厚シ故ニ少シノ優遇ニモ感スルコト甚タ深シ余ハ土人ノ待遇ニ付テハ是マテ頁果ヲ得サルコトナク心自ラ誇ル所ナキニアラス余ノ待遇ニ對シテ感激ノ情ヲ起サス背恩ノ行爲ヲナシタル者ハ多數ノ土人中僅ニ二三人ニ過キサルナリ

二　普通ノ土人

普通ノ土人ハ厚意正義仁愛ヲ以テ待遇セサル可ラス彼等ノ愁訴請求ハ之ヲ容レ十分ノ注意ヲ以テ之ヲ審査シ彼レ若シ理アラハ之ヲ採用シ理ナクンハ之ヲ罰スヘシ曾テアルゼリ大酋長アブデルカデルカ非常ナル勢力ト人望トヲ得タルハ全ク此ノ方法ニ賴ラスンハアラス彼ハ常ニ最モ微賤ナル土人ノ訴ヲ聽クニ勉メタリ

回教僧徒ハ事務ニ當ルノ器量アリ時トシテ彼等ニ與フルニ行政權ヲ以テスルヲ得ヘシ然レ𪜈

彼等ヲ遇スルハ尊敬ヲ以テシ我頁佐ト爲スコトニ勉メサル可ラス

三　租稅及罰金

主タル租稅ハ第一穀物十分一稅、第二獸畜稅第三各地ニ特別ナル生產物ニ課スルモノニシテ其ノ額少ナリトス

師團區及旅團區ノ將官諸君ハ土人行政事務ヲ管スル僚屬ヲ督シ他日稅法ヲ確立シ得ヘキ稅源ノ統計ヲ精確ナラシメ又租稅ハ兵力ヲ以テ部落ニ臨テ徵收スルヲ要セス自ラ進ンテ納稅スルノ風ヲシテ土人及酋長ノ間ニ生セシムルコトニ勉メテルヘシ而シテ收稅ノ爲メ兵力ヲ以テ部落ニ臨ムコトハ馬糧其他軍隊給養品ヲ徵發スルカ爲メ却テ土人ノ負擔ヲ增加スルコトヲ彼等ニ示シ彼等ニ感セシムルコトハ實ニ難キニアラサルナリ強制徵收ヲ廢シ自ラ進テ納稅スルノ慣習ヲ確立スルニ至リタルノ實例ハ甚タ多シ

從來徵收セシ市場稅ハ酋長ノ手當ニ支給セシモ爾今之ヲ國庫ノ收入ニ充テラルヘシ酋長ノ手當ハ千八百四十四年四月五日ノ訓令ニ規定セル所ニ從フ

或ル土地ニ於テハ是マテ結婚稅ヲ徵收シタリ此ノ稅ハ爾今全ク之ヲ廢止スルモノトス

前ニ擧ケタル租稅ノ外ハ總督ノ明許ナキ以上ハ如何ナル租稅モ之ヲ徵收スルヲ得ス新タニ租

稅ヲ課スル場合ニハ總督ハ大臣ノ命ヲ仰クヘシ

砂漠中ノ部落ハ穀物買入稅及商業稅ヲ從來ノ慣例ノ通リ徵收スヘシ

罰金ニ關スル法規ハ千八百四十四年四月五日ノ訓令ヲ以テ示シタリ此ノ罰金ノ制ニ付テハ司令官諸君及土人行政事務ニ任セル士官諸君ニ一言スルニ止ムヘシ此ノ制ヲ施行スルニ際シテハ能ク犯罪ノ大小ト其ノ犯罪ニ對スル土人ノ感情トヲ比較シ餘リ過刻ニ失スルナカランコトヲ希望ス又謀反ヲ除ク外ハ如何ナル場合ヲ論セス之ヲ施行スルニ當リ余カ先ニ示セル範圍ヲ超越スルナカランコトヲ望ム

四　犯罪ノ場合ニ於ケル部落ノ連帶責任

連帶責任法ニ付テハ余ハ訓令ヲ以テ諸君ニ詳述シタリ我々本國ノ如ク行政及司法ノ制度確立セサル地方ニ於テハ犯罪搜索ノ一良法トシテ此ノ恐ルヘキ連帶責任法ヲ設ケサルヲ得サルニ至リタルハ警察權ノ施行上誠ニ已ムヲ得サルモノアレハナリ故ニ政治上及公共ノ安寧上實ニ必要ナルコトヲ證明シ得ル場合アラサレハ之ヲ適用ス可ラス又之ヲ適用スル極テ寬容ナラサル可ラス

余ハ司令官諸君及土人行政事務ニ當ル士官諸君カ此ノ訓令ハ固ヨリ是マテ訓示セル土人行政ニ關スル訓令ノ精神ヲ十分ニ了解シテ違フ所ナカランコトヲ望ム

大將　ブユジョー

○土人刑罰法ニ關スル規則（千八百四十四年二月十二日）

是マテ專ラ戰爭ノ爲ニ勞シ土人行政ノ細微ニ入ルヲ得サリシト雖トモ今ヤ事平キ始テ行政事務ニ從事スルノ餘裕ヲ得ルニ至リタリ酋長ノ位地ニハ人民ノ財物ヲ掠奪スルノ權利ヲ付與セラレタルカノ如ク信スル酋長ニ向テ土人ノ行政ヲ永ク委任スルコトハ余カ欲セサル所ナリ吾人カ行政ノ發動力タル政略仁愛感情ハ此ノ弊害就中金錢物件ノ徵收物件ニ付テ現存スル弊害ヲ除却スヘキ規定ヲ設クヘキコトヲ我々ニ嚴命シテ止マサルナリ

酋長ノ財物掠奪ニ好辭柄ヲ與フルモノハ罰金ノ徵收ニ過クルナシ書狀配達費ノ負擔亦人民ヲ掠ムルノ良口實ヲ與フ故ニ規定ヲ定メ其ノ弊ヲ救濟スルノ急モ亦此ノ二者ニ存ス依テ余ハ左ノ規則ヲ制シ諸君ニ訓示ス諸君ハ土人酋長ヲ召集シテ能ク之ヲ說明セラルヘシ

千八百四十四年二月十二日アルゼ府ニ於テ

マレシャル、ブユビヨー

アルゼリニ於ケル罰金ノ適用及分配法ニ關スル規則

回教人ノ法制史ニ依レハ罰金ノ制ハ往古ヨリ適用セラル依テ秩序ヲ保持シ正義ヲシテ行レシムル爲ニ玆ニ其ノ罰金制度ノ原則及適用法ヲ採用シテ左ノ規則ヲ定メ義務者其ノ負フ所ヲ盡權利者其ノ要求ヲ達スルノ路ヲ得セシム

第一章　罰金ヲ科スヘキ所爲及罰金ノ額　罰金ヲ科シ得ヘキ權力ヲ有スルモノ罰金ヲ科シ及之ヲ徵收スル方法

第一條　第五級ノ酋長ハ如何ナル罰金ト雖モ之ヲ科スルノ權ヲ有セス

犯罪ノ所爲アルコトヲ知リタルトキハ第五級酋長ハ之ヲ第四級酋長ニ申告ス第四級酋長ハ規則ニ從ヒ刑罰ヲ宣告スヘシ

一　第四級（カイイ）酋長ノ命スル罰金

第二條　第四級酋長ハ左ノ犯罪人ニ付テハ二十五「フラン」以下ノ罰金ヲ科スルヲ得

一　被告人又ハ証人トシテ召喚（カ）セラレ之ヲ拒ミタル者

一　徭役輸送ノ命令ヲ受ケ之ニ從ハサル者

一　第五級酋長ノ命令ニ從ハサル者

一　官吏（土人ノ役員）ニ對シテ侮辱ヲナシタル者

一　公ニ道德ニ反シタル所爲ヲナシタル者

一　喧嘩爭鬪ヲ爲シタル者

一　官吏ニ對シテ其ノ威嚴ヲ損スヘキ讒謗誹毀ヲ爲シタル者

一　市場ニ於テ秩序ヲ紊シ騷擾ヲ釀シタル者

一　書狀配達賃ノ支拂ヲ拒ミタル者

一　旅人歡待ノ慣例ニ違背シタル者就中旅人ノ政府官吏タリシ場合ハ其罪寔ニ重シトス

一　佛國貨幣ヲ受取ルコトヲ拒ミタル者

一　土地ノ境界又ハ牧場權ニ付テ他人ノ權利ヲ犯シタル者

一　共同所有權ヲ害シタル者即チ果樹ヲ毀壞シ又ハ井ヲ不良ナラシメタル者等ノ如シ

第三條　第四級酋長ニ於テ前條ニ該當シ罰金ヲ科スヘキモノト決シタルトキハ判決書ヲ作リ犯罪ノ所爲罰金ノ額及罰金納付義務者ノ名ヲ記載シ之ニ捺印シ第五級酋長ニ送達スヘシ

第五級酋長ハ此ノ判決書ヲ受取リ罰金納付義務者ニ示シテ罰金ヲ徵收シ之ヲ第四級酋長ニ納付スヘシ第五級酋長ハ此ノ罰金ニ付テ利得スル所アル可ラス

第四級酋長ハ第二十二條ニ依テ保管スル帳簿ニ判決書及罰金ノ額ヲ記入シ毎月末ニ佛國陸軍司令官ニ之ヲ報告スヘシ

二　第三級酋長ノ命スル罰金

第四條　第三級酋長ハ左ノ犯罪人ニ對シテハ五十「フラン」以下ノ罰金ヲ科スルヲ得

一　租稅ノ不納又ハ延滯ヲ爲シタル者

一　佛官廳又ハ佛官吏ニ對シテ侮辱ノ言辭ヲ用ヰタル者

一　第四級酋長ノ裁判執行ヲ拒ミタル者

一　戰時召集ノ際故ナク不在セシ者

一　土人役員ニ對シ暴行ヲ爲シタル者

一　第八條及第九條ニ規定セル外ノ竊盜

一　贓物ノ受寄

一　他ノ部落ニ於テ騷動ヲ爲シタル者

第五條　第四級酋長ノ判決書ハ直ニ之ヲ第三級酋長ニ送リ第三級酋長ハ之ヲ陸軍司令官ニ進達シ司令官ハ尙ホ罰金ヲ科スルノ必要アルトキハ更ニ之ヲ增科スルコトアルヘシ

第六條　第四級酋長ノ課シタル罰金カ犯罪ノ重ニ比シテ輕キトキハ第三級酋長ハ罰金ヲ增加スルコトヲ得但シ罰金ノ合額五十「フラン」ヲ超越スルヲ得ス

第三級酋長若シ第四級酋長ノ罰スヘキ犯罪ノ所爲アリタルコトヲ認知シタルトキハ第四級酋長ニ送致セスシテ自ラ之ニ罰金ヲ課スルコトヲ得

第七條　第三級酋長罰金言渡ノ判決ヲ爲シタルトキハ判決書ニ犯罪ノ所爲罰金ノ額及罰金納付義務者ノ名ヲ記シ之ニ捺印シテ第四級酋長ニ送致スヘシ

第四級酋長ハ罰金納付義務者ニ判決書ヲ示シテ罰金ヲ徵收シ之ヲ第三級酋長ニ納付シ第三級酋長ハ他ノ罰金ト共ニ報告ノ手續ヲナスヘシ

三　第一級（カリファ）又ハ第二級（メタアガ）酋長ノ命スル罰金

第八條　第一級又ハ第二級酋長ハ左ノ犯罪人ニ對シ百「フラン」以下ノ罰金ヲ課スルコトヲ得

一　敵ノ役員又ハ間諜ニ宿舍恩惠ヲ與ヘタル者

一　犯罪人又ハ脫營兵ヲ宿舍セシメタル者

一　官ノ許可ナクシテ銃器火藥其ノ他軍用ニ供スル物品ヲ賣買シタル者

一　官ニ屬スル動產不動產ヲ故ナク所持スル者

一　土人軍隊ニ屬スル馬匹武器其ノ他ノ物品ヲ竊取シタル者

一　官ニ屬スル穀物獸畜ヲ竊取シタル者

本條ノ犯罪アリタルコトヲ認知シタルトキハ直ニ第四級酋長ニ申告スヘシ違フ者ハ本條ノ罰ヲ適用ス

第九條　第一級又ハ第二級酋長ハ第四級又ハ第三級酋長ノ言渡シタル罰金ヲ以テ犯罪ノ重ニ比例セサルモノト認定スルトキハ更ニ罰金ヲ增加スルコトヲ得但シ罰金ノ合額ハ百「フラン」ヲ超過スルコトヲ得ス

第一級及第二級酋長ハ犯罪ノ所爲アリタルコトヲ認知シタルトキハ其ノ犯罪ハ下級酋長ノ裁判權內ニ屬スルモノト雖モ之ニ罰金ヲ課スルコトヲ得

第十條　第一級及第二級酋長罰金ヲ課スル判決ヲ爲シタルトキハ其ノ判決書ニ捺印シテ之ヲ第三級酋長ニ送致シ第三級酋長ハ之ヲ第四級酋長ニ傳達シ第三條ノ手續ヲ行ハシム

四　佛國司令官ノ個人ニ命スル罰金

第十一條　佛國司令官ハ其ノ所轄地內ニ於ケル土人ニ對シ百「フラン」以上三百「フラン」以下ノ罰金ヲ課スル但シ軍法會議ニ付スヘキ性質ヲ有スルモノハ此ノ限ニアラス

一　謀反ヲナシ又ハ之ヲ敎唆シタル者

一　火藥ヲ製造シタル者

一　軍隊ニ屬スル獸畜馬匹武器其他ノ物品ヲ竊取シタル者

一　官廳ノ印判ヲ僞造又ハ竊取シタル者

一　詐僞ヲナシタル者

一　郵書ヲ竊取シタル者

一　貨幣ヲ僞造シ又ハ僞造貨幣ヲ行使シタル者

第十三條　謀反ヲ企ツル者敵人ト交通スル者殺人罪ヲ犯シタル者旅人又ハ隊商ヲ要擊シタル者貨幣ヲ僞造シ又ハ火藥ヲ製造シタル者路上ノ强盜持兇器又ハ家屋破壞ノ强盜ノ所爲アリタルコトヲ認知シ直ニ第四級酋長又ハ佛國官廳ニ申告セサル者ハ司令官ノ罰金ニ處セラル

ベシ

第十四條　殺人犯アリタルトキハ直ニ之ヲ司令官ニ通知シ司令官ハ成ルヘク詳密ニ犯罪ノ場所狀況ヲ臨檢セシムヘシ

土人ノ犯シタル殺人罪ニ課スル罰金ニ左ノ二種アリ

一　第四級酋長ノ殺人償金トシテ定ムル罰金

一　佛國司令官ノ命スル罰金但シ其ノ額ハ第四級酋長ノ定ムル殺人償金ノ三倍ヲ超過スルヲ得ズ

歐洲人ニ對スル殺人罪ハ軍法會議ニ於テ處分ス

第十五條　佛國司令官ハ不當ナリト認ムルトキハ土人酋長ノ課シタル罰金ヲ增加シ又ハ減額スルノ權ヲ有ス

第十二條及第十三條ニ示シタル如キ重大ナル性質ヲ有スル犯罪アリタルトキハ司令官ハ師團司令官ニ上申スヘシ師團司令官ハ軍法會議ノ裁判ニ付スヘキヤ否ヲ決ス

第十六條　陸軍司令官罰金ノ刑ヲ課スル判決ヲ下シタルトキハ其ノ捺印セル判決ノ書ヲ第三級酋長ニ送致ス第三級酋長ハ此ノ判決書ヲ其ノ騎兵ニ渡シテ罰金ヲ徵收セシメ之ヲ司令官

ニ納付スルモノトス

四　佛國司令官ノ部落ニ命スル罰金

第十七條　部落又ハ部落ノ一部ハ本法ニ規定セル犯罪ヲ共同シテ犯シタルトキ又ハ犯人ヲ佛國官廳ニ申告セス若クハ引渡サヽルル場合ニハ罰金ヲ課セラルヘシ

二部落ノ境上ニ於テ犯罪アリタルトキハ各部落ハ場合ニ依リ罰金ノ半部又ハ全部ヲ課セラルヘシ

部落内ニ於テ罪ヲ犯カシ犯人知レサル場合ニハ犯人ヲ發見シ佛國官廳ニ之ヲ引渡スノ時日ヲ有セシムル爲メ部落ニ向テ二ケ月ノ罰金徵收猶豫期限ヲ與フルモノトス

第十八條　部落全體又ハ一部ニ課スル連帶罰金ハ佛國官廳ニアラサレハ之ヲ宣告スルノ權ヲ有セス

前項ノ罰金ハ師團司令官ノ許可ノ後ニアラサレハ徵收スルヿヲ得ス

但シ緊急ノ場合ニハ旅團區以下ノ司令官ニ於テ連帶罰金ヲ課シ直ニ之ヲ徵收セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニハ徵收シタル罰金ハ收稅金庫ニ保管シ師團司令官ノ指揮ヲ得タル後ニアラサ

レハ國庫ノ收入ト爲スコトヲ得ス師團司令官ハ場合ニ依リ徵收シタル罰金ノ全額若クハ幾分ノ返却ヲ命スルコトアルヘシ

第十九條　部落又ハ部落ノ一部ニ課シタル罰金ハ左ノ方法ヲ以テ徵收セラル

司令官原簿ニ登記シタル後チ命令書ヲ作リ第一級酋長若クハ第二級酋長若クハ第三級酋長ニ送致ス命令書ヲ受取リタル酋長ハ之ヲ第四級酋長ニ傳達ス

第四級酋長ハ命令書ヲ傳達セラレタルトキハ罰金ヲ負擔スヘキ其ノ部落内各部酋長ヲ召集シ部落會議ヲ開テ命令書ヲ示ス集合シタル各酋長ハ公平ニ罰金ヲ各部ニ配賦シ各部ハ之ヲ各組ニ課シテ負擔セシム

右ノ手續終リタルトキハ第三級酋長ハ其ノ捺印シタル命令書ヲ其ノ騎兵ニ渡シテ罰金ヲ徵收セシム騎兵罰金ヲ徵收シタルトキハ之ヲ酋長ニ呈シ酋長ハ直ニ佛國司令官ニ之ヲ納付スルモノトス

第二十條　百「フラン」以上ノ罰金ハ總テ第三級酋長ノ騎兵ヲシテ徵收セシム騎兵ハ本會ニ規定スル所ニ依リ手當トシテ徵收シタル罰金ノ幾分ヲ給與セラルヘシ

第二章　帳簿、罰金ノ配分及國庫ノ納入

第一　帳簿

第二十一條　第四級酋長ハ第一號書式ノ帳簿ヲ製シ番號ノ順序ニ依リ之ニ罰金ヲ課シタル酋長ノ名、犯罪ノ名、犯罪人ノ名、及徵收シタル罰金ノ額ヲ記入スヘシ

第二十二條　毎月ノ終ニ第四級酋長ハ前條ノ帳簿及罰金ノ總額ヲ携帶シテ司令官廳ニ出頭スヘシ

司令官ハ第三級酋長ノ面前ニ於テ行政委員會ヲ開キ罰金ノ額及犯罪ヲ審査シ若シ正當ナリトスルトキハ帳簿ヲ確認シ罰金ノ配分及納入ノ手續ヲ了シタル後チ第三號書式ノ帳簿ニ記入スヘシ

第二十三條　陸軍司令官ハ左ノ二種ノ帳簿ヲ保管スヘシ

一　第一種ノ帳簿（第二號書式）ニハ司令官ノ命スル罰金ヲ記入ス

二　第二種ノ帳簿（第三號書式）ニハ第四級酋長ノ保管スル帳簿（第一號書式）ノ結果及司令官ノ保管スル帳簿（第二號）ノ結果並ニ酋長及國庫ノ間ニ罰金ヲ配分シタル事項ヲ毎月記入スルモノトス

第二　罰金ノ處分

第二十四條　佛國官廳及官吏ハ決シテ罰金ノ配分ニ與カルコトナシ
罰金ハ左ノ方法ニ依リ土人酋長及國庫ノ間ニ配分セラル

國庫			十分ノ二
百「フラン」以下ノ罰金	第一級又ハ第二級酋長		十分ノ二
	第三級酋長		十分ノ二
	第四級酋長		十分ノ三
	第五級酋長		十分ノ一
國庫			十分ノ七
百「フラン」以上ノ罰金	第一級又ハ第二級酋長		十分ノ一
	第三級酋長		十分ノ一
	第四級酋長		十分ノ一

前表ニ示セル酋長ノ設ケナキ場合ニハ其ノ酋長ノ所得額ハ之ヲ國庫ノ分配額ニ算入ス
第四級酋長ノ定ムル殺人償金ノ全額ハ被害者ノ遺族ノ所得ニ歸スルモノトス

第三　國庫ノ納入

第二十五條　前條ニ規定スル國庫納入ノ金額ハ毎月ノ終ニ於テ收稅金庫ニ納入セラルベシ
第二十六條　司法官ハ第一號第二號及第三號帳簿確定ノ後罰金ヲ各所有者間ニ配シタル差引金額ヲ記入シ其ノ月ノ月表ヲ作ラシムヘシ
第二十七條　前條ノ月表ハ二通ヲ作リ一通ハ收入官吏ニ交付シ一通ハ師團司令官ニ送致シ司令官ハ之ヲ纏メ總括表ヲ添テ總督ニ申達スヘシ
總括表ハ文庫ニ保存ス其ノ詳細ナル報告ハ總督ヨリ財務局ニ送付シ以テ會計監督ノ資料ニ供セシム

第三章　書狀配達費用

第二十八條　公用ニ關シテ第四級酋長ヨリ書狀ヲ受クル者ハ配達騎兵ニ二「フラン」ヲ拂フヘシ
公用ニ關シ第三級酋長ヨリ書狀ヲ受クル者ハ配達騎兵ニ四「フラン」ヲ拂フヘシ
公用ニ關シ第一級酋長又ハ第二級酋長又ハ佛國司令官ヨリ書狀ヲ受クル者ハ八「フラン」ヲ拂フヘシ

○刑罰委員ノ組織ニ關スル命令（千八百七十四年十一月十四日）

第一條　アルゼ府（總督ノ下ニ）及各旅團區、各大隊區若クハ各分隊區ノ首府ニ刑罰委員ヲ設ク

第二條　アルゼ府ニ設ケタル委員ハ佛公民ニ歸化セサル土人ノ高等刑罰委員ト稱ス

前項ノ委員ハ總督之カ議長トナリ委員ハ左ノ者ヲ以テ組織ス

一、民政及財務局長（副議長）

二、控訴院長

三、參謀長

四、海軍提督

五、工兵提督

第三條　議長（總督）及副議長（民政及財務局長）故障アルトキハ總督ハ委員中ヨリ議長ヲ指名スルモノトス

第四條　委員故障アルトキハ通常ノ場合ニ於テ其ノ職ヲ代理スル次席ノ官吏又ハ士官ヲシテ其ノ代理ヲ務メシム

第五條　代理委員ハ正委員ノ次席ニ列ス文官ハ其ノ代理スル正委員ノ位列ニ依リ武官ハ自己ノ位列ニ從フ

第六條　旅團區刑罰委員ハ旅團司令官（議長）檢事又ハ治安裁判官一人及司令官ノ指名スル士官二人ヲ以テ組織ス

第七條　大隊區又ハ分隊區ノ刑罰委員ハ其ノ司令官（議長）治安裁判官又ハ其ノ試補一人及士官一人ヲ以テ組織ス

第八條　旅團區ノ首府ニシテ同時ニ大隊區ノ首府タル地ニ於テハ刑罰委員ハ旅團區司令官ノ委任ヲ受ケタル佐官ヲ以テ議長ニ充ツ

第九條　犯罪地タル大隊區又ハ分隊區ノ土人事務ヲ任セラレタル者ハ犯罪事件ヲ豫審シテ上官ニ報告ス上官ハ其ノ地方刑罰委員ノ裁判權内ニアル事件ナルトキハ之ヲ其ノ地方委員ニ送付ス事件重クシテ上班刑罰委員ノ裁判權内ニ屬スルトキハ旅團區司令官ニ呈出ス

第十條　高等刑罰委員ニ於テハ總督ノ指名スル文官又ハ武官ヲ以テ報告員トナス

旅團又ハ大隊區又ハ分隊區ノ刑罰委員ニ於テハ土人事務ヲ取ル士官ヲ以テ報告員ト爲ス

第十一條　各委員ニ於ケル書記ノ職ハ議長ノ指名スル者ヲ以テ行ハシム

第十二條　各委員ニ於ケル事務ヲ取ラシムル爲メ議長ハ譯官ヲ命ス

第十三條　刑罰委員ハ佛公民ニ歸化セサル土人ニ依テ軍政地方ニ於テ犯サレタル犯罪ニシテ司法裁判所又ハ軍法會議ノ權內ニ屬セサルモノヲ裁判ス

但シ佛公民又ハ歐洲人又民政地方ニ住居セル土人ノ關係セル事件ニ付テハ刑罰委員ハ裁判權ヲ有セス

第十四條　高等刑罰委員ハ佛國支配權又ハ公共ノ治安ニ危險ナリト認ムル土人ニ對シ追放又ハ畫地幽閉ノ刑ヲ宣告シ又ハ第十六條列擧ノ刑ヨリ重キモノヲ命スルコトヲ得

第十五條　族團區大隊區又ハ分隊區ノ刑罰委員ハ左ノ罰ヲ課スルコトヲ得

一、土人監獄ノ禁錮

一、罰金

禁錮ノ期限ハ判決ノ日ヨリ起算シ總督ノ許可ヲ得テ確定スルマテ假執行ヲ爲ス

第十六條　刑ノ最上限ハ左ノ如シ

一、族團區刑罰委員ハ禁錮一年以下罰金千「フラン」以下

一、大隊區又ハ分隊區刑罰委員ハ禁錮二月以下罰金二百「フラン」以下

第十七條　族團區以下ノ首府ニ設ケタル刑罰委員ハ豫定ノ日ニ開會ス高等刑罰委員ハ必要アル

毎ニ議長之ヲ召集ス

第十八條　刑罰委員ハ委員三人ノ出席アルトキハ會議ヲ開クコトヲ得

高等刑罰委員外ノ刑罰委員ニ於テハ議長不在又ハ故障アルトキハ議長ハ委員ヲ指名シテ其ノ代理ヲ務メシム

士官ヲ指名スルトキハ其ノ位列高等ノ者ヲ選フモノトス

第十九條　被告人ハ自ラ刑罰委員ノ審庭ニ出席セサル可ラス

被告人ハ辯護人ヲ付スルコトヲ得又其ノ請求ニ依リ證人ノ召喚ヲ許可セラルヽコトアルヘシ

第一審後ニ族團區刑罰委員又ハ高等刑罰委員ニ送付セラレタル事件ニ付テハ議長ハ被告人ノ出庭審問ヲ要セス書類ノミニ付テ判決ヲ爲スヘキヤ否ヲ決ス

第二十條　裁判ハ多數ニ依テ決ス議長ハ最後ニ其ノ意見ヲ陳述スルモノトス

可否同數ナルトキハ委員ノ決議ハ被告人ニ最モ利益アル意見ニ從フ

第二十一條　刑罰委員ニ於テ其ノ審問ニ付セラレタル犯罪ノ刑罰ハ其ノ上級委員ノ權限ニ屬スルモノト認メタルトキハ調書ニ其ノ理由ヲ示シ且ツ其ノ事犯ノ處分ニ對スル意見ヲ付スヘシ

第二十二條　審問調書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一、出席委員ノ氏名及資格

二、被告人ノ名、年齢、職業、身分法上ノ位地、所屬部落、及其ノ部落ノ軍政地方ニ屬スルコト

三、出庭ノ理由ノ省略

四、有罪又ハ無罪ト認メタル決定及理由、刑罰又ハ事犯ノ處分方（上級委員ニ付スヘキモノト決シタル場合ノ如シ）

五、損害賠償ニ係ル意見

第二十三條　出席委員ノ署名シタル調書ハ報告其他ノ書類ト共ニ師團司令官及旅團司令官ノ意見ヲ求メタル後チ順序ヲ經由シテ總督ニ提出スヘシ

第二十四條　總督ノ認可ヲ得又ハ注意ヲ與ヘラレタル調書ハ順序ヲ經由シテ旅團區司令官、大隊區司令官若クハ分隊區司令官ニ送付セラルヘシ

第二十五條　通常裁判所軍法會議及刑罰委員ニ依ルノ外、佛公民ニ歸化セスシテ軍政地方ニ住スル土人ハ左ノ事項ニ付テハ陸軍司令官ニ依テ直接ニ處罰セラルヽコトヲ得

一、警察規則ノ違反

二、軍事又ハ行政事務ニ關シテ爲シタル事犯

三、不行爲又ハ行爲ノ事犯ニシテ其ノ損害五十「フラン」ヲ超過セサルモノ

第二十六條　前條ノ場合ニ於テ軍政地方ノ行政ヲ掌ル軍隊司令官ハ其ノ地方ノ佛公民ニ歸化セサル土人ニ對シ左ノ刑罰ヲ命スルコトヲ得

一、師團區司令官ハ禁錮二月罰金三百「フラン」

二、旅團區司令官ハ禁錮一月罰金百「フラン」

一、大隊區又ハ分隊區司令官ハ禁錮五日罰金五十「フラン」

一、大隊區又ハ分隊區司令官ハ其ノ土人課行政事務官又ハ前衛隊長ニ委任スルニ禁錮八日以下罰金三十「フラン」以下ノ刑罰權ヲ以テスルコトヲ得

但シ左ノ權限ハ大隊區又ハ分隊區首府外ニ出張シタル士官ニ限リ委任スルコトヲ得ルモノトス

第二十七條　何ノ階級ニ屬スルヲ問ハス土人酋長ハ總テ禁錮ノ刑ヲ宣告スルノ權限ヲ有セス

土人ノ酋長現行犯又ハ公共ノ治安ニ直ニ危害ヲ及ス犯罪アリタル場合ニ犯人ヲ逮捕スルトキハ直ニ佛國官廳ニ報告シ犯人ヲ之ニ交付スヘシ

佛國官廳ニ直接ニ隷屬セル土人酋長ハ警察規則ノ違反其ノ他微罪ニ付テ二十「フラン」以下ノ罰金ヲ課スルコトヲ得

土人酋長ノ課シタル罰金ハ其ノ所屬スル佛國官廳ノ許可ヲ經タル後ニアラサレハ之ヲ徴收スルコトヲ得ス

第二十八條　騷亂又ハ一揆ノ場合ニ於テハ旅團區、大隊區、分隊區司令官ハ師團司令官ノ命令ニ依リ刑罰委員ノ全權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニハ師團司令官ハ總督ニ其旨ヲ報告スヘシ

第二十九條　本令ニ牴觸スル規定ハ總テ之ヲ廢止ス

○亞剌伯亞土人課ノ職權ニ關スル總督ノ訓令（千八百六十七年三月二十一日）

千八百四十四年ニ定メラレタル亞剌伯亞土人課ノ組織ハ爾來多クノ經驗上ヨリ總督府令又ハ訓令トナリテ多クノ變更ヲ受ケタリ玆ニ此ノ夥多ナル法令中ヨリ要領ヲ摘記シ土人事務ノ行政上ニ便宜ヲ與フルコトハ必要ナリト信ス

總則

亞剌伯亞土人行政事務ハ總テ軍隊司令官ノ權内ニ屬スル故ニ司令官ハ土人事務ニ關シ命令ヲ發シ土人酋長ト往復スル然ル司令官ハ土人課長ニ其ノ權限ヲ委任シ命令ニ署名セシムルヲ得但シ酋長ト往復スルトキハ課長ハ司令官ノ命ニ依ルコトヲ明記スヘシ

土人課事務官ハ司令官ニ直隷スルコトヲ參謀士官カ師團司令官ニ對スル關係ト異ナラス彼等ハ司令官ノ命令ヲ執行ス然ル土人酋長ハ公務ニ關スル書面又ハ報告ハ土人課官吏ヲ經由セスシテ直接ニ司令官ニ提出ス

土人酋長ニシテ重要ナル權限ヲ委任セラレ又ハ高等ナル「レジヨンドノール」勳章ヲ附與セラレタル者アリ彼等ニ對シテハ其勳章又ハ委任權限ニ對スル尊敬ヲ致スコトヲ忘ル可ラス

○亞剌伯亞土人課ノ組織

土人ニ關スル行政事務ヲ扱フモノ左ノ如シ

一、政務局（總督府中ニ設ケタルモノ）

二、亞剌伯亞土人局（州廳ニ設ケタルモノ）

三、一等、二等亞剌伯亞土人課及大隊區ニ於ケル分課

大隊區ノ行政區域廣キニ失スルトキハ土人課ノ分課ヲ設ケ分課長事務官ハ大隊區司令長官ニ直隷ス

土人行政ニ任スル事務官ハ必要ナル場所ニ分遣セラルヽコトアルヘシ若シ分遣セラレタル使命

ハ一時ノ小事件ニ過キサル場合ニハ土人課長ノ指揮命令ヲ奉ス然ルニ特別ノ使命ヲ奉シ事重大ナル場合ニハ直ニ司令官ノ命令ヲ奉ス又其ノ分遣ハ永久駐在ナルトキハ司令官ニ直隷ス

職員

土人行政事務ノ職員左ノ如シ

一、事務官

一、事務官試補

一、主簿官(文事及軍事)

一、書記

軍隊通譯官及土人騎兵ハ事務ノ必要ニ依リ各土人課ニ分屬ス

土人課衛生事務ニ任セシムル爲メ醫員一人ヲ各地ニ置ク

一、事務官　事務官ハ本令ヲ以テ定メタル試補年限ヲ經過シ土人行政ニ適當ナリト認メラレタル後ニアラサレハ本官ニ採用セラルルヲ得サルモノトス

一、事務官試補　土人行政ノ事務ヲ任セラルルハ前ニ州廳土人局ニ於テ試補ヲ務メサル可ラス試補ノ年限ハ其ノ技量ニ依テ異ナリ試補中ハ本官ニ任シタル後チ土人行政ヲ取ルニ必要ナル各般

ノ事務ヲ練習スルモノトス

試補ハ軍器監督又ハ師團長ノ上申ニ依リ總督之ヲ任命ス試補ニハ定員ヲ設ケス必要ニ應シテ之ヲ命ス

試補ハ州土人局長ノ指揮命令ニ從フ彼等ハ亞剌伯亞語ヲ修習ス又土人局ノ事務ヲ命セラレ土人行政ノ事務ヲ練習ス又名簿順ニ依リ軍法會議ノ報告者ノ事務ヲ補助シ土人ニ關スル事件ノ審問ニ使用セラル

毎年土人課ノ檢閲ノ際ニハ成蹟ニ依テ試補ノ名銜ヲ調製ス欠員アル毎ニ成蹟表ノ順序ニ依リ二級事務官補ニ採用ス

事務ノ必要ニ依リ旅團區及大隊區ノ土人課ニ試補ヲ置クコトヲ得

一、列次　土人行政事務官ノ列次ハ左ノ如シ

第一　一等土人課長

第二　二等土人課長

第三　一級事務官補

第四　二級事務官補

土人行政ノ事務官ハ州司令官ノ上申ニ依リ總督之ヲ任命ス

一、土人課ノ組織　土人課ノ職員ハ左ノ如シ

旅團區土人課

一等土人課長一人

一級事務官補一人

二級事務官補一人

通譯官一人

書記二人

土人書記二人

一、進級　二等土人課長又ハ二級事務官補ニシテ其ノ年功ノ爲メ又ハ其ノ勤務成績ノ爲ニ進級セシムルノ必要生スルコトアリ此ノ場合ニハ旅團區土人課又ハ州廳土人局ニ於テ其ノ上官ノ扱フ事務ヲ扱ハシムルコトアルヘシ

一、轉任　州司令官（師團長）ハ已ムヲ得サル場合ニアラサレハ土人課長ノ交代轉任ヲ申立テサルヘシ土人ニ關セル行政々治ノ事務ニ直接ニ任セル土人課長ハ成ルヘク久シク其ノ位地ヲ保

タシメ十分ニ土人ノ事情ヲ熟知セシムルヲ要ス一級事務官補亦同シ

右ノ轉任ニ關スルコトハ一級ノ定則タルニ過キス然レ𪜈勤務ノ便宜事務官ノ利益亦考慮ノ中ニ容レサル可ラス二級事務官ハ之ニ反シテ數ヽ交代スヘシ就中試補ヨリ本官ニ移ルトキハ主トシテ交代セシムヘシ彼等ヲ交代セシムルトキハ成ルヘクアルゼリ各地ノ事情ニ通セシムル方針ヲ以テスヘシ土人行政事務官ノ轉任ハ總テ總督之ヲ行フ

一、通譯官　土人行政事務ニ任セラレタル軍隊通譯官ハ土人課長ニ屬ス土人課總テノ事務官カ不在又ハ故障アル如キ場合ニアラサレハ通譯官ハ飜譯又ハ通譯外ノ事務ヲ取ラサルコトヲ原則トス通譯官ハ行政事務官ヲ代理スル權利ヲ有スルコトナシ其ノ位列ハ二級事務官ノ次席トス

一、醫員　土人課衛生事務ニ任セラレタル醫員ハ其ノ勤務ニ付テハ土人課長ノ指揮命令ヲ受ク

一、主簿官　總督府政務課及三州ノ土人局ニ勤務スル主簿官ハ普通文官中ヨリ選任ス彼等ハ文書ノ保存編纂及十分一稅ノ會計ニ關スル事務ニ任ス

一、佛人書記　土人課書記トシテ任用セラルヽ下士官伍長兵卒ハ二級ニ分ツ彼等ハ旅團區司令官又ハ大隊區司令官ノ上申ニ依リ師團司令官之ヲ任命ス

一、土人書記　旅團區司令官又ハ大隊區司令官ノ上申ニ依リ師團司令官之ヲ任免ス

一、土人騎兵　各土人課ニ付屬スル騎兵分隊ノ人員組織ハ千八百六十二年五月一日ノ規則ニ依リ彼等ハ土人課長ノ命令ヲ受ク騎兵分隊長ハ總テノ行政事務騎兵ノ給養馬匹ノ監督ニ任セラル隊長ハ毎日土人課長ニ其ノ隊ノ總テノ狀況ヲ報告ス

騎兵ハ部落内ノ事務ニ從事スル場合ハ少シモ金錢ノ給與ヲ受ケス但シ官舍ニ於テ總テ給養セラレ常備騎兵ハ總テノ點ニ於テ優勝ナル騎兵中ヨリ選擢ス彼等ハ十分ニ道路地理ニ精通スルヲ要ス背徳ノ行爲ハ嚴ニ處罰シテ少シモ假借スルナキヲ要ス大隊區司令官ハ信用ナキ騎兵アルトキハ直ニ之ヲ免黜シテ他兵ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

職　權

土人課ノ職權ハ左ノ如シ

一、政治ニ關スル書類及往復文書ノ起草　一、土人行政ニ關スル政治上ノ組織　一、土人酋長ノ身分進退　一、土人酋長又ハ勢力アル土人家族ノ履歴其ノ他ノ注意　一、各部落ノ歴史ニ關スル書類　一、地理及風土ニ關スル事項　一、統計　一、稅率及賦課徵收法　一、部落ノ所有權ニ關スル事項　一、土人租稅及土人地方ニ於ケル國有財産　一、旅館

ニ於ケル邑道ノ開築修繕ニ關スル徭役　一、土人ノ軍政地方ニ於テ犯シタル罪及犯人ノ捜査ニ關スル事項　一、宗教々會ノ監督　一、刑罰委員　一、土人監獄　一、行政上及政治上ノ處分ヲ以テ拘留セル監禁者　一、部落内ノ教育　一、回教裁判事務　一、カビール地方ニ於ケル裁判事務

一、大隊區ノ土人課

大隊區ニ於ケル土人課ハ總テノ行政事務ニ關シ司令官ト人民トノ間ニ於ケル命令ノ傳達者ナリ土人課長ハ其ノ聞知シタル各般ノ事項ヲ司令官ニ報告シ土人ニ對シテハ上班ヨリ傳達セラレタル各般ノ命令ヲ執行ス其ノ職權ハ左ノ如シ

一、往復文書　土人行政ニ關スル司令官ノ發送接受シタル文書ノ起草編輯ニ關スル事務ハ土人課ニ於テ之ヲ扱フ

二、嘆願請求　司令官ハ嘆願又ハ請求ニ係ル書面ハ之ヲ土人課ニ送致シ土人課長ニ向テ其ノ願書ニ對スル意見ヲ下示ス又司令官ハ或場合ニ限リ右願書ニ對シ土人課長ヲシテ司令官ノ名ヲ以テ決定ヲ與ヘシムルコトヲ得

各土人課ニハ土人ノ提出スル請求書及願書ノ帳簿ヲ備フ而テ決定ヲ與ヘラレタル者ハ其ノ旨

ヲ記入ス土人ハ直接ニ司令官ニ請求書又ハ願書ヲ提出スルコトヲ得司令官ハ自ラ其ノ旨意ヲ聽キ又ハ土人課事務官ヲシテ代テ之ヲ聽カシムルコトアリ願書又ハ請求書ノ採否ハ假令ヒ代理者ヲシテ決定セシメシ場合ト雖モ司令官其ノ責ニ任ス

三、統計、租稅　土人酋長先ツ各小部落ノ部落會議ニ諮問シ課稅スヘキ科目ヲ定メタル後部落內ノ各部ニ於テ負擔者ヲ定メ之ヲ土人課長ニ提出ス課長ハ之カ監査ヲナス監査終リテ課稅ノ科目及負擔者足リタルトキハ司令官ハ此ノ課稅表ノ縱覽期限ヲ定メ異議アル者ハ異議ヲ申立テシムル異議ノ申立ハ土人課又ハ司令官ニ於テ之ヲ受クルモノトス

此ノ課稅表ハ全般ノ課稅表調査ノ資格ニ供スル爲メ之ヲ飜譯ス司令官ハ審査ノ上署名シテ師團司令官ニ申達ス師團司令官ハ之ニ依テ各種ノ徵稅名簿ヲ調製ス

徵稅名簿確定シテ徵稅ノ期達シタルトキハ土人課長ハ司令官ノ命令ニ依リ納稅ノ場所及時日ヲ示定ス部落內ノ各部毎ニ納稅命令書ヲ土人語及佛語ヲ以テ記載シ部落會議ニ於テ朗讀シタル後チ之ヲ各部長ニ送達ス此ノ命令書ハ司令官之ニ署名シ各納稅人ノ納稅高及各部ノ納稅總額ヲ記入ス

共同命令書ハ之ヲ市場ニテ廣告シ又土人課ノ門戶ニ揭示ス租稅ハ酋長徵收シテ之ヲ收入官吏

ニ納付ス

四、警察　司令官ノ命令ヲ受ケ土人課長ハ公共ノ治安ヲ保持シ道路ノ安全ヲ保チ旅券ヲ渡シ市場及隊商ヲ警視ス彼ハ部落內ニ於ケル總テノ出來事ヲ注意シ司令官ニ報告ス

土人行政事務官ハ千八百六十年三月十五日ノ勅令ニ依リ司法警察官ノ職務ヲ行フ

土人課長土人ノ犯罪アリタルコトヲ知リタルトキハ之ヲ司令官ニ報告シ自ラ實地ニ臨檢シ又ハ行政事務官ヲ派遣シテ豫審ノ取調ヲナシ證人ヲ審問シ犯人逮捕ノ手續ヲ行ハシム

司令官ハ順序ヲ經由シ審問調書及司法警察官ノ報告書ヲ師團司令官ニ提出セシム

土人課長ハ政治上ノ犯罪其ノ他通常裁判所ノ權限外ニ屬スル犯罪ハ總テ之ヲ司令官ニ報告スル後チ之ヲ各部長ニ送達ス此ノ命令書ハ司令官之ニ署名シ各納稅人ノ納稅高及各部ノ納稅總額ヲ記入ス

共同命令書ハ之ヲ市場ニテ廣告シ又土人課ノ門戶ニ揭示ス租稅ハ酋長徵收シテ之ヲ收入官吏

司令官此ノ報告ヲ受ケ其ノ犯罪ノ刑罰ハ自己ノ權限內ニ屬スト認ムルモノハ總テ之ヲ處分ス之ニ反シテ其ノ刑罰權ハ上級裁判權ノ權限內ニ屬スル場合ニハ土人課長又ハ土人行政事務官ヲシテ詳細ナル報告ヲ作ラシメ其ノ意見ヲ付シテ之ヲ旅團司令官ニ上申ス旅團區又ハ大隊區刑罰委員ノ會議ニ於テハ土人課事務官ハ報告員ノ職ヲ行フ

千八百六十年四月五日ノ省令ニ依ルトキハ土人課事務官ニ禁錮八日以下罰金二十五「フラン」以下ノ刑罰權ヲ委任スルコトヲ得此ノ刑罰權ノ委任ハ大隊區首府外ニ使命ヲ受ケテ出張

セル場合ニ限ルコトヲ要ス

土人課長ハ行政處分ヲ以テ囚禁シタル土人ノ囚人名簿ヲ作リ之ニ囚人ノ名其ノ所屬部落ノ名
收監ノ日出監ノ日及拘禁ノ事由ヲ記入スヘシ土人ノ拘禁ハ其ノ土地ノ陸軍監獄ニ於テ之ヲ行
フ行政處分ヲ以テ拘禁シタル土人ハ毎日一定ノ時間内司令官ノ定メタル定役ニ服セシム
土人課長ハ又一ノ帳簿ヲ作リ之ニ司令官若ク ハ其ノ代理官及刑罰委員及上級官廳ニ依テ宣告
セラレタル罰金ヲ記入ス罰金ニ關スル土人酋長ノ權限ハ千八百六十年四月五日ノ省令ヲ以テ
規定ス
罰金ハ土人酋長徵收シテ收入官ニ納付ス收入官ハ之ヲ國庫及徵稅者ノ間ニ分配ス土人課ハ之
ニ關係スルコトナシ
五、教育ニ教育ハ部落内ノ教育ト土人語兼佛語學校ノ事務ナリトス
六、宗教々會 宗教ノ事務ハ其ノ教會團體ヲ監督スルニ在リ
七、土人酋長ノ身分 酋長及著名ナル土人及有力ナル豪族ノ履歷及之ニ關スル諸般ノ注意ヲ怠
ル可ラス土人課事務官ハ土人酋長ハ固ヨリ其ノ他土人ノ重ナル者ノ身分ニ付テハ其ノ品行性
質材器等細大トナク十分ニ之ヲ熟知シ置ク コトニ勉ムヘシ若シ酋長任免ノ際ニ人物ノ良否ヲ

諸問セラルヽコトアラハ直ニ之ヲ答申スルニ躊躇スルコトナキ樣平常之ニ注意セサル可ラ
ス
八、地理 大隊區部落ノ地理歷史其ノ他風土ニ關スル事務
九、旅館 旅館ノ監督其ノ附屬品及圖書並ニ土人課記錄ノ保存及此等ノ物品目錄ノ調製
十、土人課附屬騎兵ニ關スル事務
十一、所有權ノ組成 各部落内ニ於ケル所有權ノ組成ニ關スル事務
十二、徭役ヲ以テ施行シタル土木事業 此ノ土木事業ノ指揮監督ハ千八百六十五年四月二十九
日ノ命令ヲ以テ其ノ條規ヲ定ム
十三、毎月報及毎三月報 大隊區ヨリ提出スル毎月報ハ總督ノ定ムル所ノ式ニ依ル報告ノ各般
ノ材料ハ土人課長之ヲ集輯シ司令官ノ指揮ヲ受テ之ヲ調製シ其ノ署名ヲ請フヘシ分隊區長ハ
其ノ分隊區内ニ於ケル必要ナル報告ノ材料ヲ大隊區司令部ニ送致ス報告ハ順序ヲ經テ總督ニ
提出スヘシ
十四、各種ノ報告 月報ト同一ノ手續ヲ以テ調製セラル
十五、例外ノ場合ニ於ケル土人兵員ハ土人酋長ノ指揮ノ下ニ置ク然ル戰時ノ

如キ特別ナル場合ニハ土人ノ事情ヲ熟知シ又地理ニ明ニ能ク土人ノ人物ヲ知リ其ノ經歷ニ依テ土人酋長ノ上ニ聲望アリ且ツ勢力アル士官ヲ以テ之ヲ統率セシムヘシ

十六、徵發、輸送　徵發物ノ集メ方及輸送ノ監督又戰時ノ偵察嚮導及敵地ノ狀況ニ關スル事務

十七、身分ノ取扱　各部落内ニ於ケル身分ノ取扱

十八、附加稅ノ會計

職員ノ處務

一、事務官　土人課長ハ毎日少クモ一回ハ司令官ニ面シテ二十四時間内ニ生シタル各般ノ出來事ヲ報告シ之ニ對シテ處分ヲ要スル事項アルトキハ其ノ指揮ヲ受クヘシ土人課長ハ司令官ノ命令及決裁ヲ記錄ス

課長ハ事務官其他職員ニ對シテ事務ノ分掌ヲ命シ其ノ執行ヲ監督ス事務官試補ハ其ノ故障アリ又ハ不在ナル場合ニ互ニ其ノ事務ヲ代理處辨スルニ差支ナカラシムル爲ニ各種ノ事務ニ渉ラシムヘシ

司令官ハ土人課長及民政事務官ニ數名ノ各部落ヲ巡回スヘキコトヲ命スヘシ司令官自ラ大隊區内ヲ巡閱スルトキハ課長又ハ民政事務官ヲ伴フコトアルヘシ此ノ場合ニ於テ隨行官ハ司令官ノ實

地處理シタル事件ヲモ記錄スヘシ

一、通譯官　通譯官ハ土人語ノ飜譯及土人語文書ノ起草ニ從事ス又土人犯罪人ノ豫審ニ列席シ及必要アルトキハ土人ノ請願請求ヲ聽キ取ル事務官ノ席ニ陪ス又必要アルトキハ司令官又ハ民政事務官ノ部落巡閱ニ隨行ス

一、醫員　衛生事務ヲ任セラレタル醫員ハ土人課職員及其ノ治療ヲ請求スル土人ヲ診察ス醫員ハ大隊區ノ首府内ニ住セル民政事務官、通譯官土人課員並ニ其ノ家族ノ疾病ハ其ノ住家ニ付テ診察スヘシ又陸軍病院ニ入院セル土人ハ數名之ヲ診察スヘシ又毎週一回若クハ必要アルトキハ數回拘禁囚人ヲ診察シ若シ獄中ニテ治療ナシ能ハサル程ノ病人アルコトヲ認メタルトキハ病院ニ入院ヲ命スヘシ

醫員ハ司法警察官ノ資格ヲ以テ職務ヲ行ヒ土人課事務官ノ職務ヲ補助スルコトアリ醫員ハ毎日其ノ職務執行上ニ生シタル事項ヲ土人課長ニ報告シ重要ナル事件ハ直ニ之ヲ報告スヘシ又其ノ職務上ニ關シ新ニ施設ヲ要スルコトアリト認ムルトキハ之ヲ土人課長ニ上申シ課長ハ司令官ノ指揮ヲ乞フヘシ

一、書記　佛人書記ハ土人行政事務ニ關スル總テ文書ノ事ヲ掌ル

一、土人書記　土人書記ハ特ニ土人トノ往復文書ニ關スル事ヲ掌ル

一、土人使丁　土人課内外ニ於テ郵書ノ受附發送、室内ノ洒掃其ノ他職員ノ給使ヲ爲ス

民政事務官、醫員ノ地方巡回

民政事務官醫員及通譯官ハ其ノ所管内ヲ巡回スルトキハ其ノ天幕荷物ノ運搬ノ爲ニ部落ヨリ駄馬又ハ駄馬二頭ヲ供給セシムルヲ得此ノ駄獸ハ毎日新ナルモノト取換ヘシム此ノ駄獸ヲ供給シタル土人ハ其ノ日數丈ケ道路ノ開築修繕ノ徭役日數ヨリ控除セラルヘシ

㊀土人酋長ノ任命ニ關スル總督府令（千八百四十四年一月十二日）

土人酋長ノ任免手續ヲ同一ニ出テシムル爲ニ余ハ玆ニ左ノ規定ヲ發ス

第四級酋長ハ第三級酋長ノ提出スル意見ヲ參照シテ上申セル旅團司令官ノ推選ニ基キ師團司令官之ヲ任命ス

第四級酋長ノ免職ハ旅團司令官ノ上申ニ基キ師團司令官之ヲ行ヒ直ニ余（總督）ニ之ヲ報告スヘシ

非常ノ場合例ヘハ第四級酋長謀反ヲ爲シ又ハ敵人ニ款ヲ通シタル場合ニ於テハ旅團司令官ハ直ニ之ヲ逮捕セシメ其ノ酋長ノ職務ハ他人ヲシテ代テ之ヲ行ハシムヘシ此ノ場合ニハ直ニ師團司令官

ニ報告シ司令官ハ此ノ有罪ナル四級酋長ニ對シテ本處分ヲ爲シ其ノ詳細ナル事ハ之ヲ余（總督）ニ報告スヘシ

制規ノ被服ヲ着クルハ土人ノ習慣ニ於テハ酋長ノ任命及就職ノ徴トスル所ナリ故ニ酋長ノ被服ヲ授與スルハ任命ノ大權ヲ有スル師團司令官ノ權内ニ屬ス師團長自ラ之ヲ授與スルヲ得サル場合ニハ旅團長ヲシテ代テ之ヲ授與セシムヘシ

教育ノ普及セサル人民間ニ於テハ印璽ハ酋長ノ就任ニ欠ク可ラサルモノトス故ニ此ノ印璽ハ師團長ノ明命ニ依ルニ非サレハ製造ヲ命スルコトヲ得ス印璽製造者ヲ精撰セサルヨリシテ印璽ノ僞造セラレ又ハ盜印セラレタル弊害アルコトハ余ノ既ニ數ヽ實見セシ所ナリ故ニ各師團區ニ於テハ信用アル技師各一人ヲ撰任シ印璽ノ製造ハ之ニ一任スヘシ而シテ同時ニ他ノ職工ニ對シテハ印璽ヲ僞造シタル場合ニハ重ク之ヲ懲罰スヘキコトヲ達シ置クヘシ印璽ノ製造費ハ就任者ヨリ支辨スルモノトス免職ノ場合ニハ印璽ハ直ニ之ヲ返納セシムヘシ

上級ノ酋長即チ第三級第二級及第一級酋長ニ付テハ欠位アルトキハ師團長ハ余（總督）ニ候補者ヲ申立ツヘシ余ハ之ヲ大臣ニ上申シ勅命ヲ仰クヘシ（今日ニ於テハ任命ハ總督之ヲ行フ千八百六十年十二月十日ノ勅令）

候補者ノ推撰ハ師團司令部諸君ニ委任スト雖モ人物ノ撰擇ニ就テハ族團長ノ狀報ヲ參酌スルコトヲ忘ル可ラス

多數ノ部落ノ上ニ立チ之レヲ行政スル任ヲ有スル第一級第二級及第三級酋長ノ任ハ實ニ重大ナルヲ以テ其ノ任命ヲ愼ムト同シク其ノ罷免ハ勅令ニ依ルニアラサレハ之ヲ行フコトヲ得ス

通常ノ場合ニ於テモ右等酋長ノ罷免ハ師團司令官ヨリ其ノ理由ヲ付シテ總督ニ提出シ總督ハ之ヲ大臣ニ申達スヘシ

緊急ニシテ處分ノ猶豫ハ不幸ヲ來スノ恐アル場合ニハ師團司令官ハ直ニ危險ナル酋長ノ逮捕ヲ命スルコトヲ得但シ其ノ旨ヲ直ニ報告セサル可ラス

第一級第二級及第三級酋長ヲ就任セシムルハ總督ノ權ニ屬スルヲ常則トス但シ土地遠隔ノ爲メ就任式ニ列スルヲ得サルコト多シ此ノ場合ニハ師團長代テ其ノ權ヲ行フ

第四級酋長ノ印璽ニ付テモ之ヲ適用ス

マレシヤルブユシヨー

◎禁獄囚徒費ニ係ル命令（千八百六十一年二月二十五日）

第一條　アルゼリニ於テ禁獄ノ刑ヲ宣告セラレタル土人ハ土人監獄ニ拘禁シ其ノ監獄ノ費用ヲ

以テ給養ス

第二條　土人監獄ノ設ナキ地方ニ於テ拘禁スルノ必要アル場合ニハ族團區又ハ大隊區ノ首府ニ於テ土人課ノ旅館ニ留置スヘシ

第三條　土人拘禁囚ノ費用ハ一日各五十「サンチーム」宛トス

第四條　土人拘禁囚ノ費用ハ其ノ土人所屬ノ族團區ノ附加稅豫算ヲ以テ支辨ス故ニ豫算中第一款第五項ニアルゼリ土人囚徒費ノ一項ヲ設ク

第五條　各族團區豫算ヲ調製スルトキアルゼリ土人囚徒費ノ一項ノ費額ヲ定ムルハ前數年度ニ於ケル囚徒ノ平均數ヲ取リ一日各五十「サンチーム」ノ割合ヲ以テ計算ス

第六條　囚徒費ハ三ケ月每ニ囚徒原籍所屬ノ族團區金庫ヨリ土人監獄又ハ土人課旅館ニ支拂フヘシ

二　民政地方

（八十七）　民政地方ニ於ケル土人ノ行政ハ大ニ軍政地方ノ行政ト同シカラス歐洲人ト混シ歐洲人ト交際ヲ爲シ其ノ生活、其ノ風俗ハ軍政地方ノ土人ヨリモ大ニ歐洲人ニ近似セルモノアリ故ニ宗教ニ關シ又ハ土人私權ニ關スルモノヽ外ハ各般ノ制度皆ナ歐洲人ト同一ノ規定ニ從ハシム例ヘハ

民政地方町村ニ於テハ土人部落ハ町村ノ區ヲ組織シテ町村ノ權利ヲ保有シ又其ノ特權及義務ヲ有スルコト歐洲人ト異ナラス又彼等ハ刑事ニ於テハ佛國裁判權ニ從ヒ敎育濟貧其ノ他ノ制度ニ於テモ佛國殖民ト同樣ナル保安ヲ有ス

彼等ハ歐洲人ト同樣ニ其ノ住居ノ町村制度ノ支配ヲ受ケ町村住民ノ負擔スル町村ノ義務ノ外ニ土人稅ヲ負擔ス故ニ彼等ハ歐洲人ヨリ此點ニ於テハ尤彼等ハ歐洲人ノ負擔スル町村ノ義務ノ外ニ土人稅ヲ負擔ス故ニ彼等ハ歐洲人ヨリ此點ニ於テハ酷遇セラルヽカ如シ然レトモ歐洲人ノ新ニ建築シタル家屋又ハ新ニ開墾セル土地ニ對シテ地租ヲ免除スルモ土人ノ土地建物ニ之ヲ課スル所以ハ歐洲人ノ開墾又ハ移住ヲ奬勵スル精神ニ出テタルモノナリ、天幕ニ住シ既ニ久シキ以前ヨリ開墾セル土地ヲ耕作スル土人ニ對シテ免稅スルノ理由ナキコトハ敢テ爭フヲ得サルモノナリ

千八百六十八年民政地方ノ土人ニ對シテ佛人ト同樣ノ民政ヲ施行スルニ當リ土人ニ對スル警察規則ハ佛人又ハ他ノ歐洲人ヲ支配スルモノト同一ニシテ十分ニ差支ヲ見サルモノト信シ同樣ノ警察規則ノ下ニ立タシメタリ然レトモアルゼリ征伏以來土人地方ニ於テ文化ノ著シキ進歩アリシニモ拘ラス土人ノ舊慣古習ハ容易ニ脫却セス彼等ハ歐洲人ト全ク同一ノ警察法ヲ以テ支配スルヲ得ス彼等ニ對シテハ遂ニ行政權ニ一種ノ權力ヲ附與セサルヲ得サルニ至リタリ是ニ於テ千八百七十四年

ノ勅令ハ州令ヲ以テ特ニ土人ニ對スル警察令ヲ定ムルコトヲ許シ禁錮罰金ノ二刑ヲ併課スルコトヲ得セシメ再犯ノ場合ニハ二倍ノ刑罰ヲ課スルモノト定メタリ

然レトモ此ノ規定ハ土人ニ對シテハ十分ノ効果ヲ生スルヲ得ス治安裁判所ノ數ハ甚タ少ナク且ツ其ノ管轄區域廣大ナリシヲ以テ治安裁判所ノ設置ナキ所ニ於ケル犯罪ハ全ク不問ニ付スルカ然ラサレハ隣接ノ裁判管轄區域ニ屬セシメサルヲ得ス之ヲ隣接ノ裁判管轄區域ニ屬スルトキハ實ニ其ノ區域廣漠ニ失シ裁判管轄區ノ實ヲ顯ハスコト能ハサルナリ是ニ於テカ千八百八十二年ノ法律ハ千八百七十四年ノ規則ヲ改廢シ土人ノ命令違反ノ行爲ハ之ヲ犯罪ト見做サス軍政地方ニ於ケル土人ト同シク裁判官ノ裁判ニ委セスシテ行政官又ハ町村長ニ懲罰權ヲ與フルニ至リタリ

（八十八）行政官又ハ町村長ノ懲罰シ得ヘキ行爲ハ州令ヲ以テ定メラレタル懲罰事項ヲ擧クレハ左ノ如シ

一、出生屆又ハ死亡屆ヲ怠リ若クハ屆書ノ期日ヲ遲クルヽコト八日以上ニ及ヒタル者

二、納稅規則又ハ徭役規則ヲ怠リタル者又收稅員ノ收稅ノ爲メ市場ニ出張セルトキ其ノ召喚ニ應シテ出頭セサル者

三、町村長又ハ町村委員ノ發シタル正式ノ手續ヲ履メル召喚ヲ受ケ之ニ應セサル者

四、官廳ノ許可ヲ得スシテ巡禮又ハ公同宴會ノ爲メ集會シタル者及許可ナクシテ男子二十五人以上集會シタル者及祭禮、婚禮、出生等ノ際烈火ヲ燃燒スル者

五、官吏ノ職務執行中ト否トヲ問ハス之ニ對シテ不敬ノ所爲又ハ侮辱ノ言辭ヲ用ヒタル者ハ普通刑法ノ官吏ニ對スル不敬誹毀ノ犯罪ヲ構成スルニ足ラサルモノト雖モ之ヲ罰ス

六、課稅物件調査ノ際脫稅スルノ目的ヲ以テ課說物件ヲ隱匿シタル者

七、納稅ノ義務ヲ終ラス旅券ヲ受ケス保安證ヲ有セスシテ其ノ所屬町村ヲ出發シタル者

八、官廳ヨリ特ニ命令セラレタル番衛巡邏ノ職ヲ拒ミ又ハ之ヲ行ハサル者、及番衛ノ位地ヲ離レ又ハ番衛巡邏ノ職ヲ怠リタル者

九、官吏、准官吏又ハ官廳ノ命令ヲ執行スル者町村ニ於テ定メタル定價表ニ基キ其ノ代價ヲ拂フテ糧食薪材運搬具等ノ供給ヲ求ムルニ當リ之ヲ拒絕シタル者

十、法律上ノ實地調查委員ガ利害關係人又ハ證人トシテ召喚シタルトキ之ヲ拒ミ若クハ之ニ應セサリシ者

十一、部落會議ノ諮詢ヲ經タル後チ定メラレタル土地ノ負擔ヲ守ラサル者

十二、數年來ノ習慣ニ依リテ通路トナリ居ル地ノ全部又ハ其ノ一部分ヲ耕作シタル者

十三、遊牧人民ノ移住規則ニ違背シタル者

十四、武器取締規則ニ違反シタル者

十五、酋長又ハ部落會議長又ハ邑長助役ニ屆出スシテ浮浪者、旅券ナキ者又ハ脫監人ヲ宿泊セシメタル者

十六、官廳ヨリ建設シタル道路標柱、境界標、測量標其ノ他地理的目標ヲ毀壞シ又ハ撤去シ又ハ移動シタル者

十七、土人役人ニ屆出スシテ迷フタル牛馬獸類ヲ二十四時以上留メ置キタル者

十八、飲水規則又ハ泉流使用ニ關スル地方慣例ニ違背シタル者

十九、人家ヲ距ル二百「メートル」以內ニ於テ又ハ規定ノ場所外ニ於テ獸類ヲ屠殺シ又ハ不潔物ヲ投棄シ置ク者又道路又ハ人家ヲ距ル五百「メートル」以內ニ於テ獸類ノ死屍ヲ放棄シ置ク者

二十、馬又ハ騾馬ノ尾毛ヲ竊取スル者

二十一、墓地外ニ於テ又ハ埋葬規則ノ規定セル深サヲ有セサル墓穴ニ死屍ヲ埋葬シ獸類ノ發掘ヲ招キ又ハ公衆衛生ニ危險ヲ及ス虞アルモノ

二十二、議捧ノ請求ヲ官廳ニ爲シタル者
二十三、一度處分ヲ受ケタル後チ同一ノ請求ヲ再ヒシタル者
二十四、疾病者、癈疾者ト雖ヒ許可ヲ得スシテ其ノ町村外ニ於テ乞食ヲ爲シタル者
二十五、佛國官吏又ハ官廳ノ威信ヲ毀損スルノ目的ヲ以テ公ノ場所ニ於テ演說又ハ談話ヲ爲シタル者
二十六、牝牛又ハ牝羊ヲ屠殺シタル者
二十七、佛國官吏又ハ官廳ヨリ請求セラレタル統計又ハ風土ニ關スル狀報ヲ呈スルコトヲ拒ミ又ハ其ノ報告中ニ虛僞ヲ用ヒタル者
二十八、社會ヨリ貸附シタル穀種ノ返納ヲ拒ミ又ハ怠リタル者
二十九、土人助役、部落會議長、部落內ノ組長ニシテ其ノ所轄內ニ犯罪アリタルトキ檢事又ハ治安裁判官ニ之ヲ告知セザル者
三十、豫審裁判ノ爲メ治安裁判官ヨリ口頭又ハ書面ヲ以テ召喚ヲ受ケ裁判所ニ出頭スルコトヲ拒ミタル者
三十一、犯罪ニ付テ其ノ犯人ノ探知ニ必要ナル狀報ヲ爲スコトヲ拒ミタル者

三十二、駱駝、難破、洪水、火災、流行病、兇徒襲來等ノ災難事件ニ際シテ救援ノ力ヲ貸サス又ハ防衛ノ事業ヲ取ルコトヲ拒ミ又ハ怠リタル者
三十三、結婚又ハ離婚屆ヲ町村役場ニ十日以內ニ差出サヽル者

第五　アルゼリ土人ノ身分

（八十九）アルゼリニ住スル人民ノ身分ニハ五種アリ第一佛國公民、第二歐洲ノ外國人、第三回敎ノ外國人、第四回敎ノ土人、第五猶太土人、
佛國公民ハ其ノ私法及身分法ハ本國ト同一ノ法規ニ從フヲ原則トス
アルゼリニ住スル歐洲ノ外國人ハ佛國ニ於ケルト同シク各〻其ノ身分法ニ從フ其ノ他ノ法權ニ就テハ其ノ本國人カ佛國ニ於ケルヨリ利益ヲ有スル所アリ卽チアルゼリニ於テハ住居ハ其ノ本籍ト同視セラル又彼等ノ利益ヲ目的トシテ設定セラレ諸種ノ利益ヲ特ニ彼等ニ與ヘタル法令少シトセス例ヘハ商法ニ於テ商業會議所員タルコトヲ許シ佛國船ノ船長タルコトヲ許シ又公法ニ於テハ町村選擧權及被選擧權ヲ彼等ニ付與シタル等ノ如シ
回敎外國人ノ身分ハ波斯又ハ土耳古又ハ突斯若クハマロック等其ノ所屬國ノ身分法ニ依テ支配セ

ラル

回教土人ノ身分ハアルゼリ投降條約ノ規定ニ依テ支配セラル此ノ國際條約ノ性質ヲ有スル約款ニ依レハ日ク宗教ノ信仰ハ自由タルヘシ總テノ人民ノ自由、宗教、所有權及其ノ商業工業ハ少シモ妨ケラルヽコト勿ルヘシト歐洲人民ノ國ニ於テハ宗教ト政治ハ全ク分岐シテ其ノ法制モ全ク相異レリ然ニ反シテ回教土人ニ於テハ全ク然ラサルナリ彼等ニ於テハ回教經典ハ諸法制ノ源ナリ然ニ經典ノ命スル所私法ニ關スルモノ甚タ少シ此ノ缺クル所ハ一ノ副經典トモ云フヘキ注釋ニ依テ補充セラル此ノ注釋ハ多クノ勢力アル高僧等カ相寄テ作ル所ニシテ教徒ノ爲ニ其ノ信仰ヲ受クルコト經典ニ異ナル所ナシ

土人ノ宗教ハ變更ヲ受クル所ナク從來ノ通リ存立スヘシト約款ニ規定セシヲ以テ彼等ノ經典及其ノ注釋中ニ存スル所ノ私法ノ原則ハ宗教ト共ニ其ノ生存ヲ同フセリ而テ經典中ニハ身分ニ關スルモノ、財産ニ關スルモノ及刑罰ニ關スルモノヽ總テ規定セラルヽアリ故ニ宗教ヲ尊敬スルト同時ニ此ノ法律ヲ破壞スルヲ得サルナリ

然ニ既ニ多クノ歲月ヲ經過シ又土人一揆ノ掃滅等ノ出來事ニ依テ千八百三十年ノ投降條約ハ殆ント其力ヲ失セントスルノ狀アリト雖ニ政略上及行政上ヨリシテ此ノ條約ノ効力ヲ存有セシメ彼等

ノ宗教ニ向テ妨害ヲ加ヘサルノ必要ハ今日ニ於テ全ク消失セサルナリ

（九十）回教土人ノ身分法上ノ位地ハ右ノ如クナルヲ以テ其ノ身分ニ關シ大ニ困難ト不都合ヲ生スルコト多シ回教徒ノ家族制ハ佛國家族制ト相異ナリテ總テ大ニ佛國ノ風俗慣習ニ牴觸スルモノナラサルハナシ其ノ相牴觸スル點ハ一夫多妻又ハ離婚ニ關スル制度ノミニ止マラス社會全體ノ組織一トシテ相衝突セサルモノナシ卽チ身分及財産ニ關シテ父子、夫妻、親戚ノ關係ニ霄壤ノ差アルカ如シ故ニ佛國ノ法理、風俗慣習上ヨリ觀察スルトキハ回教經典ノ適用ハ實ニ奇怪ノ結果ヲ生セサルハナシト雖佛國裁判所ハ又之ヲ認メサルヲ得サルノ究境ニ立テリ

然ニ土人身分法ハ彼等カ佛國法律ノ下ニ支配セラルヽヲ欲セサル場合ニ限リテ彼等ヲ支配スルニ止マル佛國法律ノ支配ヲ受ケ佛國裁判所ノ保護ヲ受ケント欲スルトキハ其旨ヲ宣言セハ以テ其ノ希望ヲ達スルヲ得

（九十一）刑法ニ於テハ土人ハ佛國刑法ノ重罪、輕罪、違警罪及アルゼリニ特ニ發布セラレタル刑罰法ニ付テハ佛國裁判所ノ下ニ立タサル可ラス是レ千八百五十九年十二月三十一日土人裁判所構成規則第三條ノ規定スル所ナリ

右ノ刑罰法ノ外ニ土人ハ土人刑法典ト稱スル刑罰法ヲ以テ支配セラル其ノ始ニ當テハ土人ノ犯罪

ハ土人裁判官即チ部落酋長ノ專斷ナル認定法ヲ以テ罰セラレタリ然ニ此ノ專擅ナル裁判法ヲ存續スル可ラサル弊害ヲ生シ此ノ如キ幼稚ナル裁判法ヲ存續スルコトヲ容ルサヽルニ至リタリブユジョー將軍ハ其ノ著名ナル訓令ヲ以テ土人地方ニ於ケル罰金ノ配分及適用ニ關スル規則ヲ制定シテ以テ此ノ酋長ノ專擅ナル刑罰法ノ弊ヲ救濟セリ其ノ訓令中ニ曰ヘルアリ「酋長ノ職ニ在ルハ被治者ノ財産ヲ劫掠スル權力ヲ得ンカ爲ニ外ナラスト信スルカ如キ酋長ヲシテ永ク土人ノ上ニ任意專斷ナル裁判權ヲ行ハシムルコト能ハス」ト又訓令ノ一節ニ曰ヘリ「回教土人ノ法制史ニ依ルトキハ罰金ノ制ハ既ニ古來ヨリ存立セリ社會ノ治安ヲ保持スル爲ニハ罰金制ノ原則及之カ適用ヲ存置スルノ必要アリ云々」此ノ訓令ハ行政處分的刑法ハ一種ヲ爲シ罰金ヲ以テ主タル刑ト爲シ場合ニ依テ罰金ハ個人的トナリ又部落ノ連帶責任トナルコトアリ此ノ制ハ爾後多クノ變更ヲ經タリト雖モ軍政地方ニ於テハ今日尚ホ施行セラル

土人ハ私法ニ於テハ其ノ身分ト所屬法律ニ依テ支配セラルト雖モ其ノ外國人又ハ佛國人トノ私法上ノ關係ニ於テハ普通原則ニ從ヒ佛國法律ニ從フ

回教土人ノ國民分限ニ付テハ佛國々民ナルヤ將タ如何ナル國民ノ分限ヲモ有セサルヤハ未定ノ問題ニ屬シ久シク決定ヲ經サリシアルセ府法院及巴里大審院ハ久シク躊躇シタル後チ遂ニ中間ノ身分ヲ有スルモノトノ決定ヲ與ヘタリ此ノ決定ニ依レハ土人ハ佛國公民ニアラサルモ佛國臣民ナリト此ノ決定ハ千八百六十五年七月十四日元老院令第一條ヲ以テ確認セラレタリ

回教土人外國ニ在ルトキハ佛國公民ト同一ノ名義ヲ以テ佛國公使及佛國外交官ノ保護ノ下ニ立ツ」

土人佛國本國ニ在ルトキハ總テ佛國法律ヲ以テ支配セラルヽコト佛人ニ歸化シタルモノト同シ然ニ其ノ外國ニ在ルトキハアルゼリニ在ルカ如ク其ノ身分ハ回教法ニ從フ

佛國臣民ニシテ佛國公民ノ資格ヲ有セサル回教土人ハ佛國臣民トシテ他ノ外國人ヨリ多ク利益ヲ占有セリ例ハ歸化法ハ其ノ條件他ノ外國人ヨリ容易ナリ又海陸軍々人トナリアルゼリノ官吏ト爲ルノ權利ヲ有セルカ如シ

第六　租稅

一、佛人及歐洲人ニ課スル國稅

（九十二）アルゼリ征伏ノ當初ニ於テ租稅ニ關シテハ一定ノ規則ナク又善良ナル方法ノ確立セラレタルモノナカリシ稅率及徵收方法共ニ各地其ノ撰ヲ一ニセス甲地ハ乙地ト其ノ種類ヲ異ニセリ千八百三十四年九月一日ノ省令ハ稅法ヲ定メタレ𪜈永ク行ハルヽヲ得サリシ

會計規則ニ關スル千八百三十九年ノ勅令ハ初テ稅率及徵收方法ヲ定メタリ此ノ規則ハ千八百四十五年一月十七日ノ勅令ヲ以テ改正セラレタリ此ノ勅令ハ後チ多少ノ變更ヲ經テ今日尙ホ未タ存立セリ

千八百八十一年八月二十六日ノ勅令ハアルゼリニ於ケル各行政事務ハ之ヲ各省ノ所管ニ歸セリ此ノ勅令以前ニ於テハアルゼリ總督府豫算ハ千八百七十六年五月六日ノ勅令ニ依テ內務省ノ所管ニ屬シ其ノ豫算ハ左ノ二部ニ大別セラレタリ

一、歲入　アルゼリニ於ケル收益及收入卽チ千八百七十四年設定ノ動產所得稅、部落財產ノ收入、アルゼリ會社ノ上納金、土人所有權組成費トシテ課スル附加稅

二、歲出　總督全般ノ行政事務ニ關スル經費

（九十三）　右ニ述ヘタル如ク千八百八十一年ノ勅令ト各般ノ事務ヲ各主務省ノ所管ニ歸シタルヲ以テ其ノ經費亦各省ニ所屬スルニ至レリ此ノ勅令以來總督ハ各省所屬經費ノ豫定書ヲ作リテ之ヲ高等行政會議ニ提出シ添フルニアルゼリノ收益及收入概算書ヲ以テスアルゼリニ於ケル收入ハ爾來國庫ノ一般歲入ニ編入スルモノトナル、行政會議ハ審査ノ上其ノ意見ヲ付シテ之ヲ各省豫算ト共ニ之ヲ提出ス

議院ニ於テハアルゼリノ經費ハ各省ノ經費ニ附帶シテ議決セラル然レ𪜈各議員ヲシテ此ノ經費全體ヲ了知スルニ便ナラシムル爲メ豫算委員ハ特別ノ報告委員ヲ選ビ特ニアルゼリニ關スル報告ヲ爲シ以テ各議員ヲシテ財政ノ一般狀況ヲ知ルニ便ナラシム

（九十四）　アルゼリニ於テ歐洲人ヨリ徵收スル國稅ハ之ヲ七種ニ區別ス

一、營業稅

二、登記稅、印紙稅、書記手數料及書入質稅

三、免許稅

四、佛國製大藥專賣稅

五、金銀ノ純質保證稅

六、度量衡檢定稅

七、關稅

地租ハ千八百六十四年七月二日ノ勅令ヲ以テ設定セラル然𪜈地積調查ノ事業數々企テラレタルモ其ノ功ヲ奏セス是レ爲地租ハ未タ國家歲入ノ重要ナル部分ヲ占ムルヲ得サルナリ

甲、營業稅及登記稅

（九十五）征伏ノ初（千八百三十年十二月七日）ニ當テ設定セラレタル營業稅ハ爾來多クノ變更ヲ經テ千八百四十七年一月三十一日ノ勅令ヲ以テ確定セラレタリ此ノ勅令ハ本國ニ施行セル千八百四十四年四月二十五日ノ法律ノ生タルモノヲ移シタルニ過キス後チ多クノ改正ヲ經過シ本國ニ發布セラレタル營業稅ニ關スル千八百八十年七月十五日ノ新法律ハ翌年十二月二十六日ノ勅令ヲ以テアルゼリニ公布セラレタリ故ニ現行ノ營業稅ニ關スル法規ハ本國ト相異ナルモノナシ

登記稅ハ千八百三十一年初テ不動產賣買ニ適用セラレ千八百三十年公正證書及裁判言渡書ノ謄本ニ適用スルモノト定メラレタリ次テ千八百四十一年ニ至リ本國ニ施行スル登記法ハ少部分ヲ除クノ外ハ之ヲアルゼリニ施行スルモノトセラレタリ

乙、免許稅其他雜稅

免許稅ハ免許稅ハ酒類其ノ他飲料ノ釀造及販賣者ニ課スルモノニシテ營業稅ニ異ナルモノトス佛本國ニ於テ煙草商亦免許稅ヲ負擔ス然モアルゼリニ於テハ煙草商ハ自由ナリトス

左ノ者ハ營業稅ノ外總テ免許料ヲ拂ヒ保證ヲ立テサル可カラス

一、酒精釀造人

二、酒精麥酒「シードル」及「ポワレ」ヲ混入スル飲料製造人但シ土地所有人ニシテ自家田園ノ

生產物ヲ販賣スルニ止ルモノハ此ノ限ニアラス

三、煙草製造人

四、前ニ示シタル酒類飲料品及煙草ノ卸商及小賣商

五、酒店、旅店、料理店、下宿屋、咖啡店其ノ他一日若クハ一月若クハ一年極メヲ以テ飲食セシムル店舖

免許稅ヲ課セラルヽ商業又ハ工業ヲ營マント欲スル者ハ開業以前十日內ニ最近ノ收稅署ニ其ノ旨ヲ屆ケ出サル可ラス彼等ハ每年一月十日マテニ營業繼續ノ屆ヲ爲サヽル可ラス屆書ニハ氏名商工業ノ種類及營業ノ場所ヲ記載セサル可ラス

營業免許ハ收稅署ニ屆出テタル後ニアラサレハ他人ニ讓リ渡スコトヲ得ス讓受人ハ讓渡人ノ未納セル稅額ヲ負擔スルノ義務アリ

營業取締法規ニ反シタルトキハ免許ヲ取消シ其ノ營業ヲ禁止スルコトヲ得

營業者ハ着板ヲ出シ又免許鑑札ヲ見易キ所ニ掲示セサル可ラス同一ノ場所ニ於テ數種ノ商工業ヲ爲スモノハ一ノ免許ヲ受ケ足ルモノトス此ノ場合ニハ數種ノ商工業中最高ノ免許稅ヲ課セラルヽモノトス此ノ規定ヲ適用スルハ二ノ入口ヲ有スル場所ニ於テ營業スルトキニ限ル多クノ入口ヲ有

スル商店ニ於テ入口毎ニ異ナレル商業ヲ爲ス場合ノ如キハ各商業ニ付免許稅ヲ課ス但シ一家中ノ數個ノ場所ニ於テ同一ノ商工業ヲ爲ストキハ一ノ免許稅ヲ以テ足ル營業ヲ廢止セントスル者ハ收稅署ニ屆出サル可ラス

免許ヲ受クルトキ保證人ヲ立サル可ラス保證人ハ罰金及訴訟費用ヲ保證シ且ツ租稅ヲ擔保セサル可ラス

免許ヲ受ケタル商人及工業人ハ收稅官ノ檢查ヲ拒ムヲ得ス免許ヲ受ケスシテ商工業ヲ營ム疑アル場合ニハ收稅官吏ハ警察官ト共ニ其ノ家宅ニ立チ入リ檢查ヲ爲スコトヲ得

收稅官ノ檢查ヲ拒ミタル者ハ五百「フラン」ノ罰金ヲ課ス但シ此ノ場合ニ於テ官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スルノ罪及暴行ノ罪アルトキハ普通刑法ニテ別ニ處罰セラルヘシ

營業廢止ノ屆出ヲ爲シタル後チ又ハ詐僞ノ屆出ヲ爲シ商工業ヲ營ミタル者ハ二百「フラン」以上五百「フラン」以下ノ罰金ニ處ス

再犯ノ場合ニハ二倍ノ罰金ニ處ス

犯罪ノ事實ハ官吏ノ調書ヲ以テ證據トス犯罪後二十四時間內ニ二人ノ官吏ニ依テ作ラレ三日內ニ確認セラレ四日內ニ登記セラレタル調書ハ公正證書ノ力ヲ得有スヘシ犯罪ハ輕罪裁判所ノ管轄ト

ス輕罪裁判所ノ設ナキ片ハ其ノ地ノ治安裁判官又ハ治安裁判官ノ職ヲ行フ官吏代テ之ヲ審理ス

裁判官ハ行政廳ノ利益ニ反シテ罰金沒收ノ言渡ヲ寬容シ又ハ罰金ノ使用ヲ命スルコトヲ得ス罰金及沒收物件ハ左ノ割合ヲ以テ分配ス

一、犯罪ヲ確認シタル役員及其ノ直屬長官　二分ノ一

二、退官恩給基金庫　四分ノ一

三、地方及町村ノ歲入　四分ノ一

火藥及硝石稅　火藥及硝石取締規則ハ本國法律ニ異ナル所ナシ

煙草稅　煙草ノ耕作及商業ハ自由ナリ然レ共佛國製造ノ煙草販賣ハ政府ノ獨占スル所ナリ火藥倉庫ノ設アル市府ニハ煙草倉庫ヲ置キ千八百七十三年三月十一日ノ勅令ヲ以テ定メタル價格表ニ依テ之ヲ公賣ス

金銀ノ純質保證稅　貴金屬保證ニ關スル共和第六年ブルユメール月十九日ノ法律ハ千八百五十七年ヲ以テアルゼリニ適用スヘキモノト定メラル爾來土人貴金屬試驗職人ハ全ク其ノ職ヲ失フニ至リタリ

度量衡檢定稅　千八百三十年クローゼル將軍ハアルゼ府ニ度量衡檢查員ヲ設ケ佛國度量衡ヲ檢定

セシムルノミナラス土人ノ度量衡ヲモ檢査セシメタリアルゼリニハ土耳古及亞剌伯亞制ノ度量衡行ハレ居タリ總督府ハ此ノ土人制ノモノト佛國制ノモノトノ關係割合ヲ嚴密ニ制定シタリ千八百四十二年ノ勅令ハ佛國度量衡法律ハアルゼリニ施行スヘキモノト定メタリ然ヒ唯タ民政地方ニ限リテ之ヲ施行シ軍政地方ハ從來ノ慣行ニ委セリ民政地方ニ於テモ土人ノ慣習ヲ尊敬スルノ精神ハ歐洲人ノ關與セサル土人間ノ取引ニハ土人度量衡ノ使用ヲ寬容スルニ至レリ

丙　關稅

（九十六）アルゼリ行政府ノ記錄ニ於テ關稅法制定アリタルノ事跡ヲ見サルナリ然ヒ關稅法ノ施行ハ千八百三十年八月九日即チアルゼ府降伏ノ後十日ヲ經テ顯ハレタリ總督ノ發シタル命令ニ曰ク翌八月十日稅關事務ハ稅關長ヨリ之ヲ市會ノ委員ニ引渡サルヘシト

九月八日稅關長ノ任命アリ同月二十二日ノ命令ヲ以テ輸入物品ノ海關稅船舶入港稅及普通ノ關稅ヲ稅關ヲシテ徵收セシムルコトヲ公布シタリ

當時ハ占領軍ノ司令官ハ稅關ニ關スル全權ヲ有シ稅關官吏ヲ任免シ及關稅率ヲ任意ニ定メタリ司令官ノ此ノ權力ハ千八百三十五年マテ繼續シタリ同年一ノ勅令ハ發布セラレ新ニ稅率ヲ定メ航海條規ヲ制シ佛國及アルゼリ間ノ航海貿易ハ佛國ノ占有ト定メタリ

千八百四十三年十二月十六日ノ新勅令ハ關稅及航海規則ヲ定メアルゼリノ物品ハ輸出稅ヲ免シ之ヲ佛國ニ輸入スルトキハ外國品輸入稅ノ半價ヲ課スルモノトシタリ

千八百四十六年十二月十三日ノ勅令ハアルゼリニ輸入スル外國品ハ佛國ニ於テアルゼリノ物品ニ課スルト同一ノ輸入稅ヲ課スルコトヲ規定シタリ此ノ時ヨリ佛國及アルゼリ稅關ヲ同一ノ所轄ニ置クノ必要生シタリ若シ兩所々轄ヲ異ニスルトキハ外國品ハ先ツアルゼリニ入リタル後チアルゼリノ物品トシテ佛國ニ輸入セラレアルゼリ物品ト同一ノ惠澤ヲ受クルノ恐アリシナリ故ニ千八百四十八年ニ至リ稅關ノ事務ハ大藏省ノ所轄ニ歸セシメタリ爾來アルゼリノ稅關ハ全ク本國ノ規模方法ニ從フニ至リタリ

千八百五十一年一月十一日ノ法律ハ關稅法ヲ改正シ外國物品ノ輸入稅ハ佛國ニ於ケルモノト同額ト爲シアルゼリ及佛國間ノ貿易ハ全ク自由ニセラレタリ

千八百六十七年七月十七日ノ法律ハ千八百五十一年ノ關稅法ヲ補足シアルゼリ物品ノ貿易ニ利益ヲ與ヘタリ佛本國ノ關稅ト同額ノ輸入稅ヲアルゼリニ於テ拂フタル外國品ハ更ニ佛國ニ輸入セラルルトキハ無稅トスアルゼリニ於テ拂フタル關稅ニシテ佛本國ニテ拂フ關稅ヨリ少額ナルトキハ佛國ニ輸入スルトキ更ニ其ノ差額ヲ追徵スルモノトス

外國品ノ輸入アルトキハ其ノ物品ハ佛國又ハアルゼリニ於テ關稅ヲ拂フタルコトヲ證明スルコトヲ要ス

佛國生產物又ハ製造品又ハ關稅ヲ拂フテ佛國ニ輸入セラレタル外國品ハアルゼリニ輸入スルトキハ無稅トス佛國ニ於テ一時ノ保管陸揚ケ中ニ製作ヲ加ヘラレ又ハ製造セラレタル物品ハ佛國品ト同視シ輸入ヲ無稅トス

佛國ノ締結セル通商航海條約ハ特別ノ規定ナキトキハアルゼリニ適用セラレサルモノトス此ノ特別ノ條約アルハ英國、白耳義、伊太利、瑞西、和蘭、瑞典、諾威、墺國、獨國、土耳古、葡萄牙、露國トスアルゼリノ港ニ於テハ積荷陸上稅ヲ徵收ス陸上稅ハ荷物ノ量及旅客馬匹車輛ノ數ニ依テ計算ス旅客一人ハ一噸馬匹一頭ハ二噸、二輪ノ車ハ三噸四輪ハ四噸ニ算ス

アルゼリニ向テ佛國港ヲ發シタル滊船ノ旅客ヲ乘船セシムル爲メ途中外國港ニ立寄リタル後チアルゼリニ着港シタルトキハ外國ヨリ乘船セシメタル旅客ノミニ付テ陸上稅ヲ拂ヒ其ノ他ニ付テハ無稅トス

アルゼリノ沿海貿易規則ハ佛國ト異ナル所ナシ然ニ總督府ノ令ニ依テ外國船モ亦沿海貿易ヲ許サルアルゼリ及佛國間ノ航海ハ外國滊船ニ對シテ自由ナリトス外國船ノ出港稅ハ佛國出港稅ノ半額

ナリトス

二 町村稅

（九十七）アルゼリノ町村ニテ徵收スル町村稅ハ佛國ニテ徵收スルモノト大差アルヲ見ス例ヘハ營業稅、屠獸稅、通行稅、街路露店稅、道路稅、徭役及犬稅ノ如キハ同一ノ規則ニ從フガ如シアルゼリニ於テハ度量ニ從テ課稅スルモノアリ此稅ハ市場港頭又ハ公ノ秤量所又ハ店舖內ニ於テスルニ拘ハラス規定ノ稅ヲ拂ハサル可ラス左ニ之ニ關スル規則ヲ擧ケン

第一條　アルゼリノ必要ナル各地ニハ秤量所ヲ設ク

第二條　內務局長ノ裁議ニ依リテ免許ヲ得又員實ニ其ノ職ヲ行フ旨ヲ宣誓シタル者ニアラサレハ秤量人タルコトヲ得ス

前項ノ宣誓ハ商事裁判所長又ハ治安裁判官ノ前ニ於テ之ヲ行フヘシ

第三條　警察ノ取締ヲ受クル市場、工場、港其ノ他公ノ場所ニ於テ度量衡ヲ以テ賣買スルトキハ秤量所ノ役員之ニ立合フヘシ

第四條　手秤ヲ以テ衡リ又ハ十「リートル」以下ノ量ヲ小賣ニテ取引スルトキハ前條ノ限ニアラス但シ賣買者双方ニ於テ役員ノ臨檢ヲ要スルトキハ此ノ限ニアラス

第五條　度量檢查員ハ家屋、店舗及私人ノ倉庫内ニ於テ賣買スル場合ニハ取引者双方ノ要求ナキトキハ臨檢スルヲ得ス

第六條　官ノ許可ヲ得サル者ニシテ他人ノ爲ニ秤量シタル者ハ其ノ用ニ供シタル度量衡ヲ沒收シ二十五「フラン」以上五十「フラン」以下ノ罰金ニ處ス

第七條　稅關官吏其ノ他ノ官吏カ收稅ノ爲メ秤量スル場合ハ前條ノ限ニアラス

第八條　檢查員ハ其ノ檢查シタル證トシテ割符證書ヲ渡スヘシ

第九條　檢查員ノ渡シタル割符ハ爭議アル場合ニハ裁判上ノ證據力ヲ有ス

第十條　不正ノ度量衡ヲ用キタル檢查員ハ刑法第四百二十三條ニ依テ罰セラル

第十一條　秤量所、商場港其ノ他公ノ場所又ハ店舗内ニ於テ度量衡ヲ以テ取引シタル物品ハ左ノ規定ニ依テ課稅スルモノトス

一、權衡ヲ以テスルモノハ貨物ノ種類ヲ問ハス毎百「キログラム」ニ二十「サンチーム」トス

一、尺度ヲ以テ取引スルモノハ貨物ノ種類ヲ問ハス毎一「メートル」ニ一「サンチーム」トス

一、容量ヲ以テ取引スルモノハ貨物ノ種類ヲ論セス毎十「リートル」ニ一「サンチーム」トス

一、立方量法ヲ以テスルモノハ毎一「メートル」立方ニ五「サンチーム」トス

一、量ヲ以テ取引スルモノハ毎百「リートル」ニ二十「サンチーム」トス

第十二條　度量ヲ以テ計算スルトキ課稅單位以下ノ分量ハ總テ切捨ヲ爲サス單位トシテ課稅ス但シ重量百「キログラム」ヲ以テ課稅單位トセル重量稅ハ一「キログラム」以上二十五「キログラム」以下ハ二十五「キログラム」ニ五十「キログラム」以下ハ五十「キログラム」ニ七十五「キログラム」以下ハ七十五「キログラム」ニ七十五「キログラム」以上百「キログラム」ニ付テハ一單位トシテ計算ス

第十三條　商人ノ自宅ニテ計ルモノハ第十條及第十二條ニ規定セル稅ノ二位トス

第十四條　五「サンチーム」以上ニ達セサルモノハ其ノ稅ヲ徵收セス

第十五條　稅ハ買受人及販賣人ニテ各〻其ノ半額ヲ負擔ス但シ双方ノ一稅ヲ納メサル場合ニハ他ノ一方ニテ之ヲ負擔スヘキモノトス

第十六條　稅ハ總テアルゼリ金庫ノ收入トス

第十七條　本法ノ徵稅ニ係ル細則ハ財務局之ヲ定ム

（九十八）　町村道路ノ開築修繕維持ニ付テ町村ノ收入足ラス又ハ豫算ニ不足ヲ生シタル場合ニハ徭役ヲ課シテ之ヲ補充スルコトヲ得徭役ハ町村會之ヲ議決ス戶主又ハ一戶ヲ構ヘタル主人及其ノ家內ニアル者ハ家屋ト雇人トヲ論セス十八歲以上五十歲以下ノ男子ハ總テ徭役ニ服スル義務ヲ有ス又其ノ町村內ニテ使用スル車輛、駄獸亦徭役ヲ課セラル

行政命令ヲ以テ徭役ヲ設ケタルコトニ付テハ立法權ノ行爲ヲ侵犯シタリトシテ非難ヲ試ムルモノアリタリ然ルニアルゼ府法院ハ町村稅賦課ノ事ハ既ニ立法權ノ規定スル所ナルヲ以テ此ノ徭役法ハ立法權ヲ以テ定メラレタル賦課法ナル原則ノ施行細則ニ過ギス故ニ行政命令ヲ以テ規定セシモ不法ニ非ストノ理由ヲ付シテ之ヲ維持シタリ

（九十九）　家屋稅ハ家賃ヲ基礎トシテ賦課シ總テノ住民ヨリ徵收ス但シ定制町村制ヲ施行スル地ニ限ル

アルゼリニ於ケル官吏ハ官舍ニ住ス町村ニ於テハ町村有ノ役宅アリ此ノ官舍役宅ニ住スル者亦家屋稅ヲ負擔ス但シ官舍中公用ニ供スル部分ハ稅ヲ免ス

陸海軍々人軍屬ニシテ兵營廄廨ノ爲メ營外ニ住スル者及官舍ニ住スル軍人ハ家屋稅ヲ免セラル

外國領事ハ互惠條約ノ明文ニ依ルニアラザレハアルゼリノ此ノ家屋稅ヲ免ルヽコトヲ得ス此ノ互惠條約ヲ有スルハ以太利、西班牙、瑞典、諾威及米國トス

家屋稅ノ賦課額ハ町村會議員中ヨリ五人ノ委員ヲ撰擧シテ之ヲ定メシム委員ハ徵稅名簿ヲ作リ各家屋ノ家賃額ヲ議定ス此會ハ町村長又ハ助役之カ議長トナリ收入役書記ヲ務メテ討議ニ與リ免稅ノ資格ヲ有スル者ヲ擧ケテ委員會ニ報告ス此ノ稅額ハ家賃ノ十分一ヲ超過スルヲ得ス

徵稅名簿ハ知事ノ認可ヲ經サレハ執行ノ効力ヲ有セス知事ノ認可アリタルトキハ各納稅人ニ通知シ又揭示廣告ス此ノ通知ニハ納稅額、稅ノ基礎トナリシ家賃價格、家賃ト稅額トノ割合納稅方法及之ニ對スル異議申立ノ期限及方法ヲ記載スヘシ

納稅人其ノ納稅額ヲ不當ト認ムルトキハ名簿廣告ノ日ヨリ三月以內ニ町村長ニ異議ヲ申立ツルヲ得町村長ハ其ノ意見ヲ付シテ知事ニ進達ス

（百）　關稅ハアルゼリ征伏ノ當初ヨリ施行セラレ佛國ノ關稅ト異ナル所ナシ其ノ異ナル所ハ二點ニ在リ卽チ町村的性質ヲ有シ又保護的性質ヲ有セサルニアリ定制町村及混制町村ハ關稅收入ノ配分ヲ受クルノ權ヲ有ス土人町村ハ此ノ外ト配分ハ人口ヲ標準トス定制町村ニ於テハ歐洲人一人ハ土人八人ニ算當シ混制町村ニ於テハ土人四十人ヲ以テ歐洲人一人ノ割合ニ當ツ

關稅收入ノ町村ノ有トナルヘキ部分ハ初ハ五分ノ三ナリシモ後ハ十分ノ七ト定メラレ殘餘ノ十分ノ一ハ病院費トシテ縣ノ收入ニ歸シ十分ノ二ハ公共營造物ノ費用ニ充ツ而シテ町村ノ部分タル十分ノ七ハ人口ヲ標準トシテ各町村間ニ分配ス千八百五十八年ニハ十分ノ八ニ增加セラレ遂ニ千八百七十四年ニ至リ總テ全額ヲ町村ノ收入トナスニ至リタリ

町村關稅ハ海上ヨリ輸入スルトキ課稅セラルヘキ突斯及マロツクノ物品ニ對シテ陸上境界ニ於テ課稅スルモノナリ

三　土人稅

(百一)　土人ノ負擔スル特別ノ租稅ハ其原ハアルゼリ征伏以前ニ於テ回教經典ノ教育ニ基キ行レタル租稅ヨリ來ル回教經典ハ各回教人ヲシテ濟貧ノ爲メ族人ノ爲メ奴隸賠償ノ爲メ及教旨普及ノ爲メ各其ノ收入ノ十分一ヲ納メシメタリ

征伏以前アルゼリ攝政ノ歲入ハ左ノ收入ヨリ成レリ

一、ヲラン及コンスタンチーヌ大酋長ノ納ル貢獻、大酋長ハ其ノ領內ノ部落ニ賦課シテ之ヲ徵收セリ其ノ徵收ノ方法及賦課額ハ大酋長ノ任意ニ定ムル所ナリ

二、アルゼ政府ノ七酋長ノ納ル貢獻

三、ヲラン大酋長カ領地ノ爲メ及ヲラン港ノ特權ノ爲メニ納付スル年賦金

四、小麥二十萬包及大麥二萬包小麥ハ部落酋長之ヲ納メ大麥ハコンスタンチーヌ及ヲランノ大酋長ノ納ムル所ナリ

五、アルゼ國有領地ノ收入

六、罰金及沒收、犯罪ノ處罰ニハ沒收ハ當然附隨スルモノナリ

七、正當ノ相續人ナキ相續ヨリ生スル收入

八、首府ノ市場及港ニ於テ消費物品ニ賦課スル稅

九、獸毛爛獸皮及鹽ノ特權ヨリ生スル收入

十、海關稅

十一、猶太人ノ人頭稅、家長ハ其ノ家屬ノ爲ニ各都ニ在ル猶太人ノ酋長ハ其ノ人民ノ爲ニ二倍ノ人頭稅ヲ拂フ

十二、回教人ノ組合會員ノ人頭稅

十三、公娼稅

十四、珊瑚採取ノ特權ヲ得ル爲メ佛國ヨリ拂フ年貢

十五、歐洲各國ヨリ納ル貢獻

佛國政權ノ行ハルヽニ及ヒ右ニ列記シタル財源ノ中佛國政府ノ採用シ得ルモノハ實ニ少數ニ過キサリシ是ニ於テ新ニ稅ヲ起シ又舊稅法ヲ廢止變更シタルモノ多シ

猶太人ノ人頭稅及歐洲國民ノ貢獻ハ廢止セラル組合團體ノ稅ハ營業稅ニ改メラレ其ノ他ノ租稅ハ征討軍ノ繼續セシ間ハ能フ丈ケ徵收セラレタリ然ヒ征討軍ノ終ルヤ新ニ租稅制度ヲ確定セサルヲ得サル狀況ニ至リタリ土人ノ舊慣ニ關スル事ハ非常ノ愼重ヲ以テセサレハ之ニ觸ルヽヲ得ス回敎經典ハ實ニ最上ノ法典ナリ新ニ行政ヲ爲スニ當リ此ノ法典ニ何ノ規定モ見サル場合アリ然ヒ是レ果シテ經典ノ全ク言及セサルモノナルヤ否ヲ確知スル能ハス故ニ此ノ場合ニハ政府ハ實ニ小心ヲ以テ土人ノ感觸ヲ害セサルノ程度ニ於テ必要ナル施設ヲ爲シタリ之ヲ要スルニアルゼリノ行政ハ十分土人ノ舊慣ヲ尊敬シ之ヲ改ムルニ愼重ヲ以テシ又急遽ニ出テサルヲ以テ大原則トナシタリ此ノ原則ハ土人ノ稅法ニ於テ遵守セラレタリ

（百二）土耳古政府ノ治下ニ在ルトキハ租稅ハ物品納メト金納トノ二種アリシ金納稅ハ全ク專斷的ニ之ヲ定メ貢獻物トシテ徵收セラレタリ土人酋長ハ其ノ自家ノ需要ト自家ノ貪欲心トニ依テ貢獻ノ額ヲ定メタリ其ノ專橫ニシテ人民ヲ虐制セシコト想見スルニ餘マリ上大酋長ヨリ下徵收員ニ達スル間ニ稅額ハ順ヲ逐フテ增進シ納稅者ハ大酋長トノ間ニ多クノ役員ノ手ヲ經ル程其ノ割合ニ多額ノ租稅ヲ負擔セリ是レ全ク中間ノ吏員カ私スル所多ケレハナリ

佛國政府ニ至リ數種ノ貢獻物ハ之ヲ是認シタリ第一ハ酋長登位ノ節各部落ヨリ獻納スルモノナリ此ノ獻上物ハ騎兵用ニ供スル軍馬一頭宛トス此ノ貢獻ノ事ハ千八百四十四年二月五日ノ令ヲ以テ定メラレタルモ後チ千八百五十年二月ニ至リテ廢止セラレタリ第二ハマグザン地方部落ヨリ納ムル任意ノ貢獻ナリ第三ハ定期ニ沙漠地方部落ヨリ納ムル金錢ノ貢獻ナリ

（百二）物品ヲ以テ納メシムル租稅ハ數種アリ

第一ハ獸畜稅ナリ其ノ原ハ回敎經典ニ依テ設定セラレタル回敎地方ニ於ケル唯一ノ租稅ニシテ獸畜ニ課スルモノナリ此ノ租稅ハ經典ノ所謂ル眞ノ十分一稅ナリシ

數十年以來全ク專占所有セラルヽ駱駝、牛、羊、山羊ノ群ニ對シテハ左ノ標準ヲ以テ課稅セリ

駱駝ノ稅

一、五頭以下ハ無稅

一、五頭以上二十四頭マテハ牝羊一頭若ハ滿二歲ノ羊一頭

一、二十五頭以上三十五頭マテハ駱駝ノ牝一頭若ハ滿二歲ノ駱駝一頭

一、三十六頭以上四十五頭マテハ滿二歳ノ駱駝ノ牝一頭

牛ノ税

一、三十頭以下ハ無税

一、三十頭以上三十九頭マテハ滿二歳ノ牡牛一頭

一、四十頭以上五十九頭マテハ滿三歳ノ牝牛一頭

一、六十頭以上六十九頭マテハ二歳ノ牝牛

羊及山羊ノ税

一、四十頭以下ハ無税

一、四十頭以上百十九頭マテハ羊若ハ山羊一頭

一、百二十頭以上百九十九頭マテハ羊若クハ山羊二頭

一、百九十九頭以上二百九十九頭マテハ羊若ハ山羊三頭

右獸群税ハ初夏未タ牧場ニ放養セサル前ニ徴收ス

第二ハ穀物税ニシテ土地ノ生産物ニ課スルモノナリ即チ穀物野菜果物等ノ生産物ニ課ス生産物重量十五キンタトル」以上ニ達スルトキ初テ其ノ十分一税ヲ課ス凶作ノ年ハ其ノ半額ヲ徴收ス

此ノ穀物税ハ夏時生熟シタル時ニ徴收ス未タ耕作セラレサル土地ニハ租税ヲ課セサルコトハ回教ノ主義トスル所ナリ

右ノ二税ハ純然タル回教地方ニ行ハルヽモノナリ回教人ノ征伏シテ其ノ領地トセシ他地方部落ニ向テハ收獲ノ額ニ應シテ其ノ十分一ヲ課税スルニアラスシテ土地ノ廣狹ニ準シテ豫メ税額ヲ定メ之ヲ賦課セリ此ノ地方亦金納ト物品納トノ二種存セリ

(百四) 土耳古政府ノ下ニ在リシ時ハ前ニ述ヘタル税法ハ有名無實タルニ過キサリシ租税ハ酋長等ノ需要貪欲ニ依テ任意ニ賦課徴收セラレ部落ノ兵力ノ强弱ト部落地方ノ便否トニ依テ自由ニ増減セラレタリ

佛國政權ノ行ルヽニ及ヒ政府ハ租税ノ制度ヲ定メタリ即チ穀税ニ付テハ種子ノ費用ヲ除キタル純收獲ノ十分一ヲ課シ獸畜税ニ付テハ左ノ標準ヲ定メタリ

一、牛三十頭ニ付テハ　牛一頭

一、駱駝四十頭ニ付テハ　駱駝一頭

一、羊百頭ニ付テハ　羊一頭

一、山羊百頭ニ付テハ　山羊一頭

純然タル回教地方ニアラサル部落卽チ回教人ノ征伏シタル地方ニ於テハ舊來ノ通リノ稅法ヲ施行セリ但シ稅額ヲ輕減シタリ其ノ制度ニ至テハ異ナル所ナシ

佛軍占領ノ當初ニハ總テ右等ノ物品稅ヲ徵收セリ其ノ方法ハ大隊區司令官ハ行政委員會ニ付シテ各部落ノ納付スヘキ獸類ノ數及小麥大麥ノ額ヲ定メ同時ニ其ノ代價ヲ附記シタリ代價ヲ附記シタルハ各部落ニ於テ物品ヲ納メス代價ヲ以テセンコトヲ請願スルトキノ用ニ供スルカ爲ニ過キサルナリ

（百五）　土人ハ土地ノ地積ヲ計ルニ一車ヲ以テス其ノ一車ノ廣サヲ「ゼブダ」ト稱ス卽チ二頭ノ牛ヲ附シタル農車カ耕作ノ一期節ニ耕作シ得ル廣サヲ云フ此ノ廣サハ區々均一ナラス七「エクタール」ヨリ十「エクタール」ニ至ル然ルニ一「ゼブダ」卽チ一車十「エクタール」ヲ以テ算ス

穀物十分一稅ノ徵收ヲ簡易ナラシムルカ爲ニ土人慣用ノ反別ヲ採用シ其ノ土地ノ肥否ニ依テ之ヲ數等ニ分チ各等ニ付テ穀稅金納稅ノ額ヲ定ム是レ千八百五十八年以來施行スル所ナリ

毎一車ノ土地ノ等位ヲ分チ其ノ收獲高ヲ評定スルコト左ノ如シ

一等地	麥二十「ケンタール」ヲ產ス	
二等地	麥十五「ケンタール」ヲ產ス	
三等地	麥十「ケンタール」ヲ產ス	
四等地	麥五「ケンタール」ヲ產ス	
五等地	收獲高ヲ評定セス	

右各地ノ稅ハ左ノ標準ヲ以テ之ヲ定ム

一等地	小麥二「ケンタール」若クハ大麥四「ケンタール」	
二等地	小麥一「ケンタール」五十若クハ大麥三「ケンタール」	
三等地	小麥一「ケンタール」若クハ大麥二「ケンタール」	
四等地	小麥半「ケンタール」若クハ大麥一「ケンタール」	
五等地	無稅	

右ノ稅法ヲ定ムルト同時ニ佛政府ハ原品納ヲ金納ニ改メ物品稅ヲ金額ニ換算スルノ標準ヲ定メタリ物品ハ交通ノ不便貿易機關ノ完全ナラサルヨリシテ各地其ノ代價ヲ異ニセルヲ以テ各地一定ナラシムルヲ得ザリシ然ルニ今日ニ於テハ各地全ク一ニ出ツルニ至レリ此ノ換算表ハ千八百七十八年ヨリ左ノ如ク一定セラレタリ卽チ小麥一「ケンタール」ハ二十二「フラン」ニ大麥一「ケンタール」ハ十一「フラン」ニ換算ス

獸畜稅ノ換算ハ一層容易ナリシ然ヒ其ノ初ニ當テハ各地一定セサリシモ千八百六十三年以來一定スルニ至リタリ其ノ價格ハ毎年總督之ヲ定ム千八百七十七年以後ハ左ノ規定ヲ設ケラレタリ

一、駱駝一頭　四「フラン」

一、牛　一頭　三「フラン」

一、羊　一頭　二十「サンチーム」

一、山羊一頭　二十五「サンチーム」

右獸類ノ稅率ハアルゼリニ於ケル獸類ノ平均代價ヲ標準トシテ割リ出シタルモノナリ卽チ駱駝ハ平均二百「フラン」牛ハ百二十五「フラン」羊ハ十四「フラン」山羊ハ十二「フラン」ノ價格ヲ有ス羊ノ稅額ノ比較的ニ低下ナルハ是レ他ニ比シテ其ノ農事經濟上ニ不利ナルモノノレハナリ

（百六）　アルゼリ征伏以前ヨリ山間地方及沙漠地方ノ部落ハ全ク租稅ヲ負擔セサルモノアリタリ征伏以前ノ政府ハ山間地方ノカビール人ニ對シテハ徵收員ヲ派スルヲ得ス又兵力ヲ送遣スルコトヲ敢テセサリシ又沙漠地方ノサハラ人ニ對シテハ土地餘リニ茫漠ニ失スルヲ以テ當時ノ政府カ之ヲ強制スルニ困難ヲ感シタルハ彼等ヲシテ租稅ノ負擔ヲ免カレシメタル原因ナリ

佛軍ノ征討ヲ終リアルゼリ全地ニ政權ヲ確立スルニ及ンテハ土人ヲシテ其ノ負擔ニ輕重偏頗アラシムルコトヲ容サス町村ノ義務ヲ負擔セシムル爲メ其ノ慣習風俗ニ基テ稅法ヲ制定施行スルニ至リタリ

千八百五十八年總督ランドン將軍ハカビール人ノ人頭稅ヲ制定シタリ將軍ハ先ツ健全ニシテ武器ヲ持スルニ堪フル人民ヲ四級ニ分チタリ

第一等　富者

第二等　稍々餘裕アル者

第三等　少額ノ收入アル者

第四等　全ク收入ナキ者

右第四等ノ人民ハ總テノ租稅ヲ免シ第三等以上ハ毎年左ノ人頭稅ヲ賦課シタリ

第一等ノ人民ハ十五「フラン」

第二等ノ人民ハ十「フラン」

第三等ノ人民ハ五「フラン」

サハラ人ニ對スル租稅ハ沙漠中ノ「ナアジ」（沙漠中ノ林泉ニ在ル地）カ佛國政權ノ下ニ歸スルニ隨ヒ漸次ニ設定セラル沙漠人民ニ課スル稅ニ二種アリ一ハ椰子樹下ニ課スルモノナリ此ノ稅ハ歲

ニ依テ差異アリ其ノ額ハ二十五「サンチーム」ヨリ五十「サンチーム」ニ至ル此ノ稅ヲ課スルヨ當リテハ土地ノ良否就中灌漑ノ便否ヲ觀察セサル可ラス土地ノ良否ニ依テ椰子樹ノ果實ヲ結ブニ大差アレハナリ

他ノ一種ノ租稅ハ五年乃至十年間据置不變ノモノニシテ椰子樹及獸畜ノ數ヲ參酌シテサハラ沙漠中ノ部落ニ命スル貢獻ナリトス

（百七）土人ノ租稅ハ今述ヘ來リタルガ如キヲ以テ佛國租稅法ノ精神ヲ以テ之ヲ規スルコトヲ得サルナリ回敎經典ノ主義ニ依ルトキハ租稅ハ社會ノ利益ノ爲ニ各個人カ義務トシテ出スモノニアラスシテ宗敎上ノ十分一稅又ハ戰勝者ニ對スル貢獻ナリ故ニ二者共ニ强制的ニ命セラレ之ヲ爭フコトヲ得ス卽チ一ハ宗敎上ノ威力ニ依テ嚴命セラレ一ハ生殺ノ大權ヲ有スル戰勝者ノ政權ニ依テ威壓セラレ回敎人ノ獸畜稅穀稅ハ十分一稅ニシテカビール人ノ人頭稅及サハラ人ノ椰子樹稅及部落ノ貢獻ハ戰敗者ノ貢獻ナリ

右ノ如キ性質ナルヲ以テ直ニ左ノ如キ法理上ノ結果ヲ生ス卽チ宗敎上ノ十分一稅ハ回敎經典ヲ信仰シ其ノ敎旨ノ支配ヲ受クル者ニアラサレハ之ヲ負擔スルノ義務ナシ又戰敗者ノ貢獻タル租稅ハ戰敗ノ結果服從シタル人民ニアラサレハ賦課スルノ理由ナシ此ノ法理論ノ結果ハ佛國法理論ト

シテハ奇怪ナルカ如シト雖モ回敎裁判所ハ之ヲ確認セリ佛國參事院モ亦數ヽ之ヲ適用セリ故ニ此ノ法理論ノ結果トシテ佛國人及佛國公民ニ歸化シタル土人ハ土人稅ヲ負擔スルノ義務ナキモノトナレリ

（百八）アルゼリ領地內ニ於ケル土人稅ノ調査徵收ハ其ノ始ハ陸軍々政ノ司トル所ナリシ然ルニ民政地方ト軍政地方ノ設置アリテヨリ軍政ノ所轄ハ軍政地方ニ止ルニ至リタリ唯タ其ノ下調査ハ常ニ土人酋長ノ手ヲ借ラサルハナシ

軍政地方ニ於テハ納稅名簿ヲ作リ納稅者ノ名並ニ課稅スヘキ物件ノ種類及高ヲ記入ス地方ニ依リ收獲ノ高ヲ記入スル所アリ每年春ノ初ニ於テ酋長ハ其ノ所轄內各部落ニ於ケル耕地ノ反別及獸類ノ數ヲ調査シタル名簿ヲ提出ス此ノ名簿ハ旅團區ノ諮問委員ニ付ス委員ハ調査ノ上徵稅名簿ヲ定ム徵稅名簿ノ定マルヤ獸畜稅ノ徵收簿ハ直ニ土人課ヨリ各酋長ニ送付シテ徵收セシム穀物稅ハ收獲後ニ之ヲ徵收ス收稅官ノ徵稅令書ヲ發スルハ各納稅人ニ宛テスシテ部落全體ニ宛ツ而テ部落酋長ハ各納稅人ニ對シテ徵稅令書ヲ發ス

民政地方ニ於テハ每年春ノ初ニ當リ收獲員ハ町村助役及土人ノ田野看守人ヲ從テ各部落ニ至リ各個人ヲシテ課稅物件ヲ申立テシメ之ヲ徵收簿ニ記入ス時トシテ隣人ノ申立ヲ聞キタルトキハ參考

ノ爲メ並ニ之ヲ記入ス後日ニ至リ時機ヲ見テ不意ニ部落ニ出張シテ實地臨檢ヲ爲シ以テ前日ノ申立ノ確實ナルヤ否ヲ檢査ス

右ノ檢査法ハ或ル地方ニ於テハ十分ノ効果ヲ奏スト雖モ或ル地方ニ於テ二回ノ不意檢査ヲ爲シ就中一回ハ收穫期ニ迫リタル時期ニ於テセサレハ確實ナル調査ヲ成シ得サルモノアリ此ノ如クシテ調査シ終リタルトキハ之ヲ帳簿ニ記入シテ收稅局長ニ提出シ收稅局長ハ確定徵稅名簿ヲ作リ又租稅物品ノ換算金額表ヲ定ム徵稅名簿ノ製定終ルトキハ之ヲ揭示廣告スルト同時ニ各納稅人ニ佛文及土人語ヲ以テ各其ノ納稅額ヲ通知ス土人ハ常ニ自ラ其ノ課稅物件ヲ隱蔽スルノミナラス隣保ノ爲ニ之ヲ蔽フノ習ヒアリ故ニ財務官ハ常ニ之ニ注意セサルヲ得ス千八百七十四年以來ハ隱蔽ヲ以テ一ノ犯罪トナシ刑法第四百六十五條ヲ以テ處罰スヘキモノト定メタリ

軍政地方ニ於テハ租稅ノ徵收方法ハ土人酋長ニ委任ス徵收手數料トシテ徵收總額ノ十分一ヲ酋長ニ支給ス然ルニ政略上ノ都合ニ依リ或ル二三地方（南方沙漠接近地方ニシテ十分政化ノ及サル地方）ニ於テハ多額ノ手數料ヲ支給スルコトアリ卽チウーアルグラ地方ニ於テハ徵收額ノ三分一ヲ給スルカ如シ

ビスクラ地方ノ混制町村ニ於テハ十分ニ土人町村ニ於テハ十分一或ハ三分一ヲ給與スルコトアリ

其他チユツギユル外四五ノ地方亦同シ

租稅ノ賦課ニ付テ免除又ハ輕減ノ理由アリトスルモノハ異議ヲ申立ツルヲ得此ノ訴願ハ縣參事會ニ於テ裁決ス

直稅事務署ハ軍政地方ニ於テ租稅ノ賦課ニ關シ團體ヨリ提出スル請求ノ審査ニ與リ又民政地方ニ於テ提起セラルヽ總テノ請求ノ審判ニ關與ス軍政地方ニ於テ一個人ヨリ提出スル請求ニ付テハ軍政官ハ民政財務官ノ補助ヲ借ラスシテ之ヲ審判ス

徵收シタル租稅ハ酋長ニ給與スル十分一ヲ除キ餘ハ皆ナ國庫及縣經濟ニテ各〻一半ヲ收入ス

右ノ租稅ヲ課スルドキ附加稅ヲ賦課徵收スルコトヲ得此ノ賦課稅ハ左ノ費目ニ充用ス

一、收入官吏ノ廳費及俸給

二、各部落ニ於ケル里道ノ開築修繕

三、各部落ニ於ケル司令官舍、成隊旅人ノ驛傳同教寺院、學校、井、泉流、其ノ他町村事業ノ性質ヲ有スルモノヽ建設及修繕

四、初等教育、宗教及裁判所（修繕費下等官吏員ノ俸給及時トシテハ上級吏員ノ俸給ヲ補足ス）

五、附加稅ヲ以テ其ノ修繕費ヲ支辨スヘキ道路修繕人ノ俸給

六、看守人又ハ警察ノ職ニ任セラレタル吏員ノ俸給

七、醫學校、師範學校其ノ他教育上ノ建設物ニ於ケル生徒ノ修養費
八、植物及種苗園
九、醫藥分配費及救恤費
十、各族團區內ニ於ケル各部落ノ公益ニ關スル費用
十一、警察、道路監視、公文書往復監視ノ任ヲ有スル徒歩及騎馬番衛費
十二、官有伐採留木ノ買入費
十三、警察及交通事務ノ爲ニスル驛傳馬匹ノ買入及飼養費
十四、種子買入ノ爲ニスル借入費

附加稅ノ額ハ總督之ヲ定ム未タ完制町村ニ於テ施行スル町村稅賦課法ノ行レサル混制町村及土人町村ノ利益ノ爲ニ徵收スル附加稅ハ每一「フラン」ニ付十八「サンチーム」ノ割トス

附加稅ノ實地使用方法ハ附加稅委員ノ意見ヲ聞キ各族團區每ニ總督之ヲ定ム附加稅委員ノ組織ハ左ノ如シ卽チ第一族團區司令官（議長）第二大隊區司令官第二兵站監第四工兵科長第五國稅收入官第六以上ノ委員ト同數ナル著名ノ土人此ノ委員ハ師團區司令官之ヲ任命ス第七土人課長（書記官ノ職ヲ取ラシム）

委員ハ歲出ヲ分テ既定歲出ト自由歲出ノ二トス既定歲出ニ屬スルモノハ一事業ニ關スルモノ二行政費及徵收費三救恤費四宗教ニ關スルモノ五裁判所費六部落ノ伐採留木ノ買入及保存費、其ノ他ノ經費ハ總テ自由歲出トス

第七　土地所有權

（百九）回教國ニ於ケル所有權ノ組織ハ歐洲各國ノ法制ト大ニ異ナル所アリ是レ回教國ノ所有權ハ回教經典及其ノ註釋ニ於テ規定セラルレハナリ

土地所有權ニ付經典ノ教旨ニ依テ之ヲ觀ルニ回教法ハ土地ヲ二種ニ分ツ第一ハ耕地又ハ生產地第二ニハ死地又ハ不毛地トス

耕地ハ必ス十分一稅又ハ貢獻ヲ負擔ス經典ノ所謂十分一稅ヲ課セラルヽ土地ハ其初ハ回教人ノ土地ニ限レリ然ルニ征伏ノ當時ニ戰勝兵士ノ所有トナリ又回教ニ改宗セシ者ノ所有地トナリシモノハ十分一稅ノ土地ト見做サレタリ

貢獻地ハ回教人ノ征伏シタル地ニシテ回教ニ改宗セサル征伏人ノ耕作スル所ナリ此ノ土地ハ神聖ニシテ神又ハ之ヲ代表スル宗教ノ大首長者卽チ回教國王ノ所有ニ屬ス

死地卽チ不毛地ハ初テ之ヲ開拓スル先占者ニ屬ス先占者回教人ナルトキハ十分一稅ノ地トナル經典註釋者曰ク死地ヲ活シタル者ハ其ノ土地ハ他人ニ屬セス其ノ專占所有ノ權ハ先占者ニ屬スヘシト其ノ死地ヲ活スノ方法ハ種々アリ第一用水路ヲ作テ灌漑スルコト第二地上ノ建設物ヲ爲スコト第三樹木ヲ栽種スルコト第四開墾スルコト第五叢藪ヲ刈リ取ルコト第六巖石ヲ破碎シ若クハ土地ヲ平坦ニスルコト

アルゼリノテル地方ハ殆ト總テ耕地ニシテ高原地方及サハラ地方ハ殆ト總テ死地ニ屬ス

回教法ハ右ノ如ク生地及死地十一稅地及貢獻地ト土地ヲ區別スルノ外尙外ニ種々ノ區別アリ

（百十）回教法ハ又土地ヲ分テ神聖地、非神聖地ノ二トナス

神聖地ハ回教國王ノ沒收シ得サルモノニシテ非神聖地ハ何時ニテモ其ノ任意ニ沒收シ得ヘキモノナリ何人モ土地所有者ハ其ノ土地ヲ神聖地ト爲スコトヲ得神聖地ト爲スハ其ノ土地ヲ神又ハ神社ニ獻上スルニ在リ神聖地トナリタル後モ其ノ地ノ享有權ハ前所有者之ヲ失ハス其ノ權利ハ其ノ欲スル人ニ讓與スルヲ得此ノ權利ニ付テハ回教ノ相續法ニ依ラサルモノトス アルゼリニハ又共同所有地アリ又個人所有地アリ

故ニアルゼリノ土地ハ左ノ數種ノ區別ニ分タル第一死地又ハ無主地第二十一稅地第二貢獻地第四

國王領地卽チ戰勝ノ權利ニ依リ又ハ沒收ニ依リ又ハ回教經典ノ敎示ニ依テ國王ノ領ニ歸シタルモノ第五宗敎團體ノ土地第六神聖地

（百十一）佛軍ノアルゼリヲ占領スルヤ占領軍司令官ハ國王諸酋長、國外ニ出タル土耳古人及メッカ府並メヂーヌ府ノ宗敎敎會ニ屬スルモノハ總テ國有財產ト宣告シタリ

然ルニ國王諸酋長土耳古人及宗敎敎會ニ屬セシ財產ハ如何ナルモノナリシカ土耳古人ノ國ヲ去ルニ當テヤ一ノ吏員ヲ留メス又公文書ノ如キハ一モ之ヲ見出スヲ得サルナリ加之ナラス回敎法ニ依ルトキハ時效ニ依テ財產ヲ獲得スルコト甚タ容易ナリ又所有權ノ移轉ハ口頭ヲ以テ證明スルコトヲ許セリ故ニ土耳古ノ官人カアルゼリヲ去ルヤ土人ハ爭フテ國有財產ヲ分領シタリ酋長ノ役所及回敎ノ神殿內ニ所有權獲得ノ僞造證書ノ存セシコト幾何ナルヲ知ラス故ニ軍司令官ハ國有財產ノ宣言ヲ爲シタルモ回敎法ニ暗カリシヲ以テ遂ニ土耳古人ノ欺騙スル所トナリ從來ノ國有財產ハ土人ノ分取スル所トナレリ國有財產ノ處分ニ付テハ如何ニ困難ヲ感セシヤ今日ヨリ想起スルニ足ル

民政官ハ是ニ於テ國有領地ニ屬スル不動產ノ賣買ヲ總テ禁止シ次テ或ル地方ニ於テハ歐洲人及土人間ニ不動產ノ賣買移轉ヲ禁止シタリ若シ此ノ禁制ノ嚴正ニ施行セラレタルアラハ占領當初ノ狀

勢ヲ保持シ其ノ間ニ各所有地ニ付テ調査ヲ爲シ以テ適當ナル處分ヲ爲スコトヲ得タルヘシ然ルニ歐洲人ハ征討軍ト共ニアルゼリニ來リテ切ニ土地ノ買得ヲ請求シテ止マス是カ爲ニ土地ノ賣買禁止ハ或ハ解除セラレ或ハ其ノ施行ヲ寬恕セラレタリ是ニ於テ土地ノ賣買ハ極テ容易ナル手續ヲ以テ行レ都會又ハ原野ノ土地ヲ問ハス或ハ精確ナル境界ヲ定メス或ハ地積ノ廣狹ヲ確メス或ハ甚シキニ至テハ空想的ノ地所サヘモ賣買取引セラルヽニ至レリ賣買取引ヲ證スヘキ證據文書ノ如キ固ヨリ確實ナルモノヽ存スルコトナシ

此ノ如キ狀況ヲ以テ土地ノ賣買移轉行レタルカ爲メ土地行政上ニ紊亂ヲ生シタルコト幾何ナルヲ知ラス遂ニ千八百四十四年之ヲ救濟スル爲ニ政府ハ勅令ヲ發スルニ至リタリ此ノ勅令ハ過去ニ係ル土地ノ賣買ハ總テ其ノ取得方法ヲ追認シ將來ニ關シテハ官吏及陸海軍士官ノ許可ヲ得スシテ土地ヲ買得スルコトヲ嚴禁シタリ且ツ同時ニ殖民地ニ供スヘキ土地ノ境域ヲ定メ其ノ區域外ニ於ケル土地ハ其ノ賣買移轉ヲ禁シタリ此ノ勅令ノ第一ノ目的ハ多クノ困難ヲ經テ達セラレタリ其ノ取得方法ヲ調査シテ之ヲ追認スルニ當リ調査ニ付シタル土地ノ十二分ノ九ハ一ノ土地ニ付テ數多ノ所有者併出シテ各其ノ所有權ヲ爭フタリ第二ノ目的タル將來ノ暫時ノ禁止ハ全ク行ルヽコトヲ得サリシ右ノ勅令ハ土人及歐洲人間ノ土地賣買ヲ禁止シ當時ノ土地ノ有樣ヲ保持セシモアルセリノ土地所

有權ノ性質ヲ定ムルコトヲ忘レタリ故ニ回敎地ノ土地所有權ノ性質ニ付テハ回敎經典ノ主義ニ依リアルゼリハ征伏地タルヲ以テ總テ國有ノ領地ナリトシ一ハ國有領地タルヘキモノハ經典ノ明ニ國王ノ所領ト定メタルモノニ限ラサル可ラスト

立法議會モ亦土地所有權ニ付テハ其ノ性質ヲ明ニ議定シ能ハサリシ千八百五十一年六月十六日ノ法律ヲ以テ議會ハ左ノ決定ヲ爲セリ卽チ土地ノ所有權ハ土人又ハ佛人又ハ他ノ歐洲人ノ手ニ在ルモノヲ問ハス總テ犯ス可ラサルモノトス一個人又ハ部落又ハ小部落ニ屬スル所有權ハ征伏後佛國政府ノ認メタル狀態ノ通リタルヘク佛國政府ニ依テ認メラレサリシモノハ征伏ノ當時ニ存立セシ狀態ノ通リニ確認セラルヘシ

（百十二）アルゼリ政府ハ回敎法ノ區別ニ依ラス土地ヲ三種ニ區別シタリ第一ハ一個人ノ爭フ可ラサル私有土地第二ハ部落又ハ豪族ノ共同所有地第三ハ國有領地トス第一ノ私有土地ニ付テハ政府ハ之ヲ犯スノ權利ナシ第二ハ自由ニ之ヲ處分スルノ權利ヲ有ス第二ニ付テハ所有者ト協議シテ公益ノ爲ニハ其ノ一部ヲ割カシメ又殖民事業ノ爲ニ之ヲ處分スルコトヲ得ル權利アルモノト政府ハ信シタリ

此ノ如ク土人ノ土地所有權ノ性質確定ナラサルヲ以テ當時ノ行政官ハ第一種（爭フヘカラサル私

有地）外ノ土地ニ付テハ法律ヲ以テ其ノ性質ヲ確定スルノ必要アリト信シタリ土人部落ノ土地ハ其ノ需要ノ程度ヲ超テ廣漠ニ失ス故ニ其ノ一部ヲ削減スルモ彼等人民ノ利益ヲ害スルコトナシ且ツ之ニ報スルニ從來ノ不確實ナル權利ヲシテ鞏固ナラシムルヲ以テ敢テ正理ニ反スルニアラス又彼等ニ不利ヲ來スニアラスト是レ當時ノ行政官ノ取リシ所ノ意見ナリ此ノ意見ニ基キ部落有ノ土地ニ付テ土人ト和解的ノ約束ヲナシタリ即チ回教法ニ依レハ占領地ハ總テ政府ノ所有權ニ屬シ部落ハ賃借人ニ過キス然ルニ行政府ハ部落ニ對スル此ノ回教法ノ權利ヲ放棄セシ代リニ殖民上ノ必要アル場合ニハ其ノ土地ヲ自由ニ處分スルヲ得ルノ權利ヲ取得シタリ

右ノ主義ヲ法律ト爲シ公布スル前ニ政府ハ試驗ノ名義ヲ以テ或ル部落ニ之ヲ實施シタリ其ノ實施ハ良好ナル結果ヲ得タリ行政府ハ此ノ如クシテ十六部落ニ之ヲ施行シ其ノ總面積三十四萬三千三百八十七「エクタール」ノ中殖民地畫地ニ六萬千「エクタール」ノ地ヲ得タリ各部落ハ此ノ處分ヲ甘受シ敢テ不平ヲ唱フルモノナカリシ此ノ如クニシテ此ノ部落所屬地ノ處分ハ全アルゼリニ施行セラレントシタリ然ルニ拿破崙三世アルゼリノ巡幸ヲ企テ其ノ結果アルゼリ行政ニ大改革ヲ來シ是カ爲メ部落地ノ處分遂ニ中止セラルヽノ不幸ニ陷リタリ

拿破崙三世カアルゼリヲ以テ一ノ王國ト爲スノ意見ハ既ニ同地巡幸前ニ懷抱セシモノナルカ將タ

世人ノ論スル如クメチジヤ原頭ニ於ケル土人カ帝ノ爲ニ催セシ盛大ナル歡迎祭ニ眩惑シテ此ノ思想ヲ起シタルカ是レ著者ノ問フ所ニアラス然ルモ帝ハ巡幸ヨリ歸ルヤ歐洲人ヲ殖民スルコトハ之ヲ第二策トシテ先ツアルゼリノ耕地ハ總テ之ヲ耕耘スル土人部落ノ所有ニ歸スヘキモノトノ意見ヲ發表シ有名ナル勅書ヲ以テ其ノ意見ヲアルゼリ總督ニ通シタリ此ノ勅書ノ大意ハ部落又ハ小部落カ占有セル土地ハ總テ其ノ所有權ヲ與ヘテ犯ス可ラサルモノト爲シ其ノ名義ノ何タルヲ問ハス其ノ土地ニ付テハ傳來ノ享有權アルモノト云フニ在リ

（百十三）皇帝ノ右ノ勅書ノ結果トシテ千八百六十三年四月二十三日ノ元老院令ハ公布セラレタリ

元老院令ノ規定セシ大綱ハ左ノ如シ

アルゼリ部落及小部落ハ如何ナル名義ヲ以テセシニ拘ハラス其ノ永久ニ又傳來的ニ享有セシ土地ハ總テ其ノ奪フ可ラサル所有權ニ屬ス政府及土人ノ間ニ施設セラレタル土地ノ分配及土地所有權ノ區別ニ關スル處分ハ從來ノ通リ變更セラルヽコトナシ各部落所屬地ノ境界ヲ定ムルコト又部落ノ土地ヲ其ノ各小部落間ニ分配スルコト及小部落内ニ於ケル共同所有地ヲ設定スルコトハ行政府ニ於テ之ニ任セサル可ラス

元老院令ハ土人ノ有セル土地ノ權利ノ性質ニ決定ヲ與ヘシト同時ニ爾後此ノ土地ヲ支配スヘキ

土地ノ制度ニ付テハ回教法律ニ從フヘキモノト爲セリ回教法律ハ大ニ佛法典ト其ノ制ヲ異ニシ又箇明精確ナラス擇テ以テ遵依ノ規則ト爲スニ足ラス故ニ元老院令ヲ改ムルコトナク直ニ之ヲ施行スルニ足ラス土地制度上ニ非常ナル亂雜ヲ生シ却テ元老院令ノ發布前ヨリ甚シキ困難ニ遭遇セシナラン

共同所有權ハ部落ノ常狀ナリ部落內ノ所有權ハ總テ共同ナラサルハナク個人ノ所有權ハ殆ト見ルコトヲ得サルナリ故ニ所有權ニ付テハ常ニ面倒ヲ起サヽルハナシ此ノ共同所有ノ制ヲ止メテ個人ノ所有權ヲ確立シ或ハ之ヲ一家ノ所有權ニ定メ所有權ノ主格ヲ個人又ハ一家族ニ限リ之ト同時ニ部落有ノ所有權ヲ確立スルコトハ土人土地ノ賣買移轉ヲ確實簡易ナラシメ彼ノ困難ナル土人所有權ノ難問題ヲ決定スルニ大益ヲ與ヘタリ幸ニモ元老院令ハ此ノ規定ヲ設ケタリ

（百十四）千八百七十年ノ國難後ハアルゼリヲ土人ヨリ成レル一ノ附庸王國トナス拿破崙三世ノ意見ハ廢止セラレ政府ハアルゼリヲ以テ佛國ノ一部トナシ之ニ總テ佛國ノ制度文明ヲ移植スル昔日ノ政策ニ復循シタリ故ニ千八百七十三年七月廿六日ノ不動產ニ關スル法律亦此ノ精神ヨリ出タリ卽チ此ノ法律ハ土地不動產ハ土人又ハ佛人ノ所有ニ係ルヲ問ハス總テ佛國不動產法ニ依テ支配スルモノト爲セリ故ニ回教法ニ依テ認メラレタル地役契約解除條件等佛國法ノ認メサル

モノハ總テ廢止セラレ又千八百五十五年不動產ノ登記ニ關スル佛國法ハ之ヲアルゼリニ適用スヘキモノト爲シ所有權ノ確定スルハ先ツ部落共有權ノ組織セラレタルトキハ其ノ證券ヲ各所有者ニ渡ス其ノ個人所有權ハ事實上占有セル土地面積ヲ限リテ部落ノ各個人ニ付與シ其ノ事實上占有セサル地ハ町村ノ區有財產トナシ又ハ無主地トシテ國有財產ニ編入ス

部落ノ共有權組成セラレス又行政府若クハ公證人ニ依テ認メラレタルモノナキ場合ト雖モ事實上私有權ノ認メラレ居ル場合ニハ所有者ニ權利ノ證券ヲ渡ス

又部落若クハ小部落ニ於テ數多ノ人民ノ共有セル土地モ亦所有權ノ組織及認定ノ手續ヲ經サル可ラス

千八百七十三年ノ法律ハアルゼリ土地所有權ノ組成ヲ終リ土地制度ニ於テ一大進步ヲ顯ハシタリ

○アルゼリ土地所有權ニ關シ拿破崙三世ノアルゼリ總督ペリシエ將軍ニ與ヘタル書

アルゼリノ一般組織ノ大本ニ付テハ余ハ不日元老院ノ諮詢ニ付スルモノアラントス然ニ余ハ元老院ノ議事ヲ俟ツコトヲ得ス土人土地所有權ノ性質ニ付テ生セル世論ノ一大疑問ヲシテ速ニ其

ノ終結ヲ得セシムルコトハ實ニ必要ナリト信ス是レ良心ノ命スル所ノ義務ナルノミナラス亦我々ノ利益ノ關スル所ナリ

千八百三十年當時ノ王朝カアルゼリテ征伏スルヤ亞剌伯亞土人ニ對シ其ノ宗教ヲ敬シ其ノ所有權ヲ保安スルコトヲ誓約セリ此ノ誓約ハ今日尚ホ我々ニ對シテ其ノ効力ヲ失ハス高貴高尚ノ精神ヲ以テ我々ノ前政府カ執行セシ此ノ誓約ハ余カ亦名譽ニ賭テ遵依セサルヲ得サル所ナリ

又假令法理ノ命セサル場合ニセヨアルゼリノ治安及隆昌ノ爲ニハ土人ノ土地ハ現占有者ノ所有權ニ屬スルモノト確認スルコトハ必要ニシテ避ク可ラサルモノト余ハ信スルナリ過半ノ人民其ノ所有財產ニ付テ不安ノ念慮ヲ懷クアラハ如何ニシテ其ノ國ノ平靜治安ヲ保持スルヲ得ヘキカ其ノ所有ノ土地ハ自由ニ處分スル權利ナク之ニ對スル確實ナル信用ノ缺クルアラハ如何ニシテ社會ノ富盛ヲ期スルコトヲ得ヘキカ此ノ如クシテ財產ノ一タル土地ノ價格カ日ニ低下スルニ至ラハ如何ニシテ國家ノ收入ヲ增加スルヲ得ヘキカ

余ハ今事實ヲ陳センアルゼリニ於テハ土人ハ三百萬人ノ多キアリ歐洲人ハ其數二十萬人ニシテ佛人ハ其中十三萬人ニ過キステルノ地方ハ其ノ面積千四百萬「エクタール」ニ上ル而シテ二百萬「エクタール」ハ土人ノ耕ス所ナリ政府ノ領有地ハ二百六十九萬「エクタール」ニシテ內八十九萬

「エクタール」ハ耕作ニ適當ノ地、百八十萬「エクタール」ハ山林地ナリ歐洲人ノ殖民地ニ供スルモノハ四十二萬「エクタール」ニシテ其ノ他ノ土地ハ總テ池沼河川牧野及叢蘇ノ原野ナリ

歐洲人ノ殖民地タル四十二萬「エクタール」ノ土地ノ中其ノ大部分ハ土人ニ轉賣セラレ或ハ土人ニ小作セシメ其ノ餘ハ全ク放棄セラル

右ニ示シタルモノハ固ヨリ概數ニシテ精確ナラサルモノアルヘシト雖モ歐洲殖民者ノ熱心ト進歩トハ稱揚スヘキモノアルニ拘ハラス其ノ事實上ニ着手セシ部分ハ甚タ少ナキコトハ十分之ヲ認ムルニ足ル

右ノ如キ狀況アルニ當リ歐人ノ殖民地域ヲ廣大ニスルカ爲ニ土人部落地ヲ創滅シ之ヲ分地スルノ利益ハ何ノ邊ニ存スルカ彼ノ分地處分ハ此ノ狀況ノ前ニ於テハ何人モ之ヲ贊成スルヲ得サルヘシ

故ニ部落分地處分法案ハ全會一致ヲ以テ撤回セラレタリ今日ニ於テハ佛國ノアルゼリヲ領有セルハ決シテ彼等土人ヲ虐制シ其ノ財產ヲ奪掠スルカ爲ニアラス文明ノ惠澤ヲシテ一ニ彼等ノ上ニ光被セシムルカ爲ニ外ナラサルコトヲ一層彼等ニ例示スヘキ時期ナリトス而シテ文明社會ノ第一要素ハ各人權利ノ尊重ニアリ既ニ文明ノ施政ヲ爲スト稱ス各人ノ權利ヲ尊重セサルノ理ア

ルヘケンヤ

人或ハ曰ン亞剌伯亞土人ハ我々ニ對シテ權利ヲ有セス何トナレハ征伏以前ノアルゼリハ總テ王土ニシテ個人ノ所有權ナルモノハ一モ認メラレタルモノナシ而シテアルゼリ國王ハ戰敗シテ總テ其ノ土地ヲ我カ國王ニ致シタレハナリト土地ノ占有者ヨリ土地ヲ收奪スルニハ其ノ土地ヲ支配セシ回敎法ヲ引用シ既ニ佛國ノ領有ニ歸セシ土地ニ付テハ回敎國王ノ壓制ナル法理ヲ適用セントスルハ奇怪ナリト云ハサル可ラス回敎法ノ下ニ立チシヲ以テ回敎法ヲ引用ストセハ佛國領有ト爲リ佛國法ノ下ニ立ツ土地ニ對シテ回敎ノ法理ヲ適用スルハ豈ニ論理ニ反セルモノニアラスヤ故ニ反對者ノ土人ニ土地所有權ナシトスルハ實ニ背理ノ甚シキモノト云ハサル可ラス若シ反對者ノ論理ヲ貫徹セムトセハ土人ハ總テ之ヲ沙漠地方ニ驅逐シ北亞米利加土人ノ如キ運命ニ陷ラシメサル可ラス是レ實ニ不仁ノ極豈ニ行フヘキモノナランヤ

英敏ニ傲強ニ又武勇ヲ愛シ耕農ヲ重スルハ土人ノ特性ナリ此ノ尙フヘキ人種ヲシテ各其ノ地ニ安セシムルノ方法ヲ講スル是レ我々ノ職分ナリ千八百五十一年ノ法律ハ征伏ノ當時ニ存在セシ所有權及享有權ヲ確認セリ然ルニ權利ノ定義明晰ヲ缺キ從テ權利ノ存立ヲ確實ナルヲ得サラシメタリ之ヲ確實ナラシムルハ今日ノ時期ナリ一度確認セラレタル部落ノ土地ハ之ヲ小區ニ分割

シ以テ他日個人的所有權ヲ確立スルノ發意ヲ行政府ヲシテ取ラシムルノ便ニ供スヘシ既ニ一度ヒ奪フ可ラサル土地ノ所有者ト認メラルヽトキハ土人ハ之ヲ處分スルノ自由ヲ得從テ土地所有權ノ移轉モ亦ニ彼等土人間ノミニアラス歐洲人トノ間ニ於テ頻繁トナリ土人ヲシテ我カ文明ノ德澤ニ浴セシムルニ一層ノ効果ヲ顯スニ至ルヘシ

アルゼリノ地ダル廣ク發達スヘキ事業亦豐富ナリ故ニ歐洲人及土人ヲ問ハス又政府ト人民トヲ問ハス各々其ノ需要ニ依リ又其ノ風俗習慣ニ依リ十分ニ活潑ナル事業ヲ爲サシムルノ餘裕アリ故ニ土人ニハ牧畜農耕ノ業ヲ奬勵シ歐洲人ハ山林ノ繁殖鑛山ノ採掘疏水灌漑ノ業ヲ起シ及改良農法ヲ採用シテ農業ノ進步發達ヲ計ルヘシ而シテ政府ハ敎育ヲ擴張シテ精神上ノ發達ヲ計リ土木事業ヲ施設シテ有形上ノ幸福ヲ增進スルコトヲ務ムヘシ無益ナル法令ヲ廢止シテ商業ニ完全ナル自由ヲ與ヘ歐洲大資本家ノ會社ノ創設ヲ奬勵スヘシ政府自ラ殖民ノ企業者トナリ多クノ恵與ノ爲ニ誘引セラレテ渡航スル無資產ノ移住者ヲ自ラ給養スルニ困ム如キコトハ務メテ之ヲ避クヘキモノナリト

是レアルゼリノ施政上ニ洪行セントスル余ノ方針ナリ余ハ之ヲ復言スアルゼリハ純然タル殖民地ニアラスシテ亞剌伯亞王國ナリ土人ハ殖民者ト同樣ニ余カ保護ヲ受クルノ權利ヲ有ス余ハ佛

人ノ皇帝タルト同時ニ亞剌伯亞人ノ皇帝タリ

余カ右ニ示シタル意思ハ足下ノ意思タルヘシ陸軍大臣及其ノ地ノ征戰ニ從軍シ土人ニ對シテ同情ヲ有シ又其ノ將來ニ信用ヲ措ク所ノ者モ其ノ意思又外ニ出テサルナリ余ハ大將ランドンニ任シテ元老院令ノ草案ヲ起サシム其ノ案ノ大旨トスル所ハアルゼリ部落及小部落ハ如何ナル名義ヲ以テセシニ拘ハラス其ノ永久ニ又傳來的ニ享有セシ土地ハ總テ其ノ奪フヘカラサル所有權ニ屬ス

此ノ處分法ハ既往ニ及フノ効力ヲ有セサルヘシ又土地收用法ニ變更ヲ及スナキヲ以テ公益事業ノ施行ヲ妨クル恐アルコトナシ此ノ元老院ノ採用セル主義ノ參考ニ供スヘキ統計ノ材料ハ總テ之ヲ余ニ致サルヘシ

佛國新領地アルゼリニ於ケル行政 畢

人ノ皇帝タルト同時ニ亞剌伯亞人ノ皇帝タリ

余カ右ニ示シタル意思ハ足下ノ意思タルヘシ陸軍大臣及其ノ地ノ征戰ニ從軍シ士人ニ對シテ同情ヲ有シ又其ノ將來ニ信用ヲ指ク所ノ者モ其ノ意思又外ニ出テサルナリ余ハ大將ランドンニ任シテ元老院令ノ草案ヲ起サシム其ノ案ノ大旨トスル所ハアルゼリ部落及小部落ハ如何ナル名義ヲ以テセシニ拘ハラス其ノ永久ニ又傳來的ニ享有セシ土地ハ總テ其ノ奪フベカラサル所有權ニ屬ス

此ノ處分法ハ既往ニ及フノ効力ヲ有セサルヘシ又土地收用法ニ變更ヲ及スナキヲ以テ公益事業ノ施行ヲ妨クル恐アルコトナシ此ノ元老院ノ採用セル主義ノ參考ニ供スヘキ統計ノ材料ハ總テ之ヲ余ニ致サルヘシ

佛國新領地アルゼリニ於ケル行政 畢

拿破崙

最近エルザス、ロートリンゲンノ制度要領

獨逸エルザス、ロートリンゲン制度要領

緒言

此エルザス、ロートリンゲン制度要領ハ千八百七十一年六月九日ヨリ千八百七十二年二月中旬迄ノ法律規則ヲ編纂セルモノナリ

佛國割讓地卽チエルザス、ロートリンゲンヲ永久獨逸ノ版圖ニ入ルヽ事ハ千八百七十一年六月九日ノ帝國法律ヲ以テ規定シタリ

該新領地ニ於ケル法令公布式ハ千八百七十一年七月三日ノ法律ヲ以テ定メタリ卽チ左ノ如シ

第一條　エ、ロニ向テ發セラルヽ法律及勅令ハエ、ロ法令集ヲ以テ公布スルコトニ依テ効力ヲ生ス、知事ハ必要ノ場合ニ限リ該法律及勅令ノ佛譯文ヲ縣ノ公報ヲ以テ告示スルコトアルヘシ

第二條　公布サレタル法律ニ於テ其ノ効力ヲ生スヘキ期日ニ付特別ノ規定ヲ爲サヽルトキニ限リ其ノ登載サレタル法令集カ伯林ニ於テ發刊サレタル日ヨリ十四日ノ後始メテ効力ヲ生スルモノトス

本法ハ公布ノ日ヨリ効力ヲ有ス

第一　行政組織一斑

（一）官吏宣誓ノ事ハ千八百七十一年九月二日ノ法律ヲ以テ之ヲ定メ同月廿六日ヨリ施行セリ

（法律略ス）

（二）保證金ノ事ハ千八百七十一年十二月十一日ノ法律ヲ以テ千八百六十九年六月二日ノ帝國官吏ノ保證金ニ關スル法律幷ニ之ニ附屬スル千八百六十九年六月二十九日、千八百七十一年七月五日及十四日ノ勅令ヲ準用スル旨ヲ規定セリ

（三）エ、ロノ立法事業ニ於テ先ツ其ノ一段落ヲ告ケタルハ千八百七十一年十二月三十日ノ行政組織法ナリ其ノ法文ハ左ノ如シ

行政區劃

縣

第一條　エ、ロハ左ノ二縣ニ分タル

第一　下エルザス

第二　上エルザス

第二　ロートリンゲン

郡

第二條　縣ハ郡ニ分タル

第一　下エルザス縣ハ左ノ八郡ヲ包括ス

（郡名略ス）

第二　上エルザス縣ハ左ノ六郡ヲ包括ス

（郡名畧ス）

第三　ロートリンゲン縣ハ左ノ八郡ヲ包括ス

（郡名畧ス）

第三條　勅令ヲ以テ縣及郡ノ境界ヲ變更シ又郡ヲ合併シ及郡ヲ新ニ置クコトヲ得

邑（カントン）ノ區劃ハ邑ノ合併幷邑ノ新置ハ帝國宰相ノ掌ル所トス

法律ニ「デパルトマン」「アロンヂスマン」トアルハ縣、郡ト心得ヘシ

總督

第四條　エ、ロニ於ケル至高行政府ヲ總督トス、總督ノ所在地ハストラースブルグトス

總督ハ帝國宰相ニ直隷ス

總督ハ差支アル場合ニ帝國宰相ノ訓令ニ基キ代理ヲ任命ス

第五條　總督ハ地方行政官廳幷之ニ附屬シ隷屬スル官吏ヲ監督ス

總督ハ法律及勅令幷帝國宰相ノ命令ノ公平ニ實行セラルヽ事ニ注意シ又行政ノ規則正シク且一樣ノ原則ニ依テ管掌セラルヽ事ニ注意スヘキモノトス

總督ハ其ノ直接下級ノ官廳カ共同管轄ノ事項ニ付テ互ニ見解ヲ異ニスルトキ之ヲ裁決ス

總督ハ官廳ニ對スル抗告及官廳ノ裁決ヲ審査シ且之ニ付第八條ニ依テ裁決ノ與ヘラレサルトキハ自ラ之ヲ裁決シ若クハ帝國宰相ノ裁決ヲ求ムヘキモノトス

總督ハ毎年立法手續ニ於テ定メラルヽ歳入歳出豫算ノ調製ヲ管掌シ之ヲ豫算年度ノ始マル前ニ帝國宰相ニ提出スヘキ義務アリ

第六條　左ノ諸件ハ總督ノ直轄ニ屬ス

第一條　數縣ニ交涉シ縣ノ境界ニ依テ分割スヘカラサル事項ニシテ帝國宰相ノ直轄セサルモノ

第二　數縣ノ爲メニ設ケラレタル公共ノ營造物

第三　ライン河、モーゼル河幷舟ヲ通シ得ヘキ運河ノ工事但帝國宰相ニ於テ特ニ縣廳ノ管轄ニ屬セシメタル場合ハ此ノ限ニアラス

第四　軍政民政兩廳ノ管轄若クハ利害ニ關係シ軍政ノ方ニ在リテハ司令官ノ所管ニ屬スル總テノ事項

其ノ他從來佛蘭西法律ニ依リテ各省ノ行使シタリシ職務ノ全部若クハ一部ヲ帝國宰相ニ於テ總督ニ委任スルコトヲ得

第七條　總督ニハ其ノ命ヲ奉シテ事務ヲ管掌スル參事官及補員ノ必要ナル員數ヲ附ケラルヽモノトス

帝國參事會

第八條　法律ニ依リ國家參事會ニ屬セシメタル職務ニシテ訴訟事件ニ於ケル縣參事會ノ裁決ニ對スル上訴ニ關スルモノヲ處理スル爲メ總督府ノ參事官ヲ以テ一ノ合議體ヲ組織シエルザス＝ロートリンゲン帝國參事會ト稱ス

裁決ニハ少クモ五名ノ評定官ノ出席アルヲ要ス

裁決ハ確定裁決トス

總督ハ會長ニ任スト雖他人ヲシテ代理セシムルコトヲ得、會長ハ可否同數ノ場合ニ於テ裁決權ヲ有ス

審判ハ公開トス、其ノ他帝國參事會ノ事務手續、檢事局交涉ノ規則、當事者ニ代理ヲ許スノ條件及費用規則ハ帝國宰相之ヲ定ム

第九條　千八百〇二年四月八日ノ寺院法及其ノ附屬法律ニ依テ國家參事會ノ所轄ニ屬セシメラレタル宗教上ノ事項ニ於ケル越權處分取消ノ上訴ニ付テハ自今聯邦參議院、國家參事會ノ地位ニ代ハリテ司法委員會ノ諮問ヲ經テ之ヲ裁決ス

司法官廳ト行政官廳トノ間ニ生スル權限爭議ノ裁決ニ付テハ別ニ定ムル所アルヘシ

國家參事會ノ行政事務ニシテ法律ニ依リ他ノ官廳ノ所管ニ屬セシメサルモノニ限リ總督之ヲ管掌ス

第十條　公安ノ妨害ニ付總督ハ之ヲ除クニ必要ナリト認メタル總テノ處置ヲ直ニ決行スルコトヲ得殊ニ公安妨害ノ虞アル縣內ニ於テ、千八百四十九年八月九日ノ法律第九條カ戒嚴ノ場合ニ軍政廳ニ與ヘタル權力ヲ行用スルノ權アリ、總督ハ此等ノ處分ヲ爲シタルトキ速カニ帝國

宰相ニ報告スヘシ

警察上ノ目的ノ爲メ殊ニ又前項ノ職務ヲ行ハンカ爲メ總督ハエルザス、ロートリンゲンニ駐在スル軍隊ノ援助ヲ求ムルコトヲ得

縣知事

第十一條　各縣ニ行政長官トシテ縣知事一名ヲ置ク、縣知事ハ從來「プレフェクト」（譯者曰ク佛蘭西政府ノ縣知事）ニ屬シタル職權ヲ行フ、從來ノ法律ニ依リ各省ノ直轄ニ屬シタル職權モ亦帝國宰相ノ命令ヲ以テ縣知事ニ委任スルコトヲ得、下エルザスノ縣知事ハストラースブルグヲ、上エルザスノ縣知事ハコルマールヲ、ロートリンゲンノ縣知事ハメッツヲ職務上ノ所在地トス

縣知事ニハ其ノ命ヲ奉シテ事務ヲ取扱フ參事官及補員ノ必要ナル員數カ附ケラルヘシ（モノトス）

收稅長ハ縣知事ノ指揮ヲ受ケテ縣ノ直稅及收稅帳簿ニ關スル事務ヲ管掌ス、收稅長ハ其ノ所管ニ屬スル事項ニ付縣知事ト見解ヲ異ニシタル場合ニ於テ總督ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得

縣知事ハ裁決ニ至ルマテ假リニ必要ノ處分ヲ爲スノ權アリ

縣知事ハ差支アル場合ニ總督ノ許可ヲ得テ代理者ヲ定ム